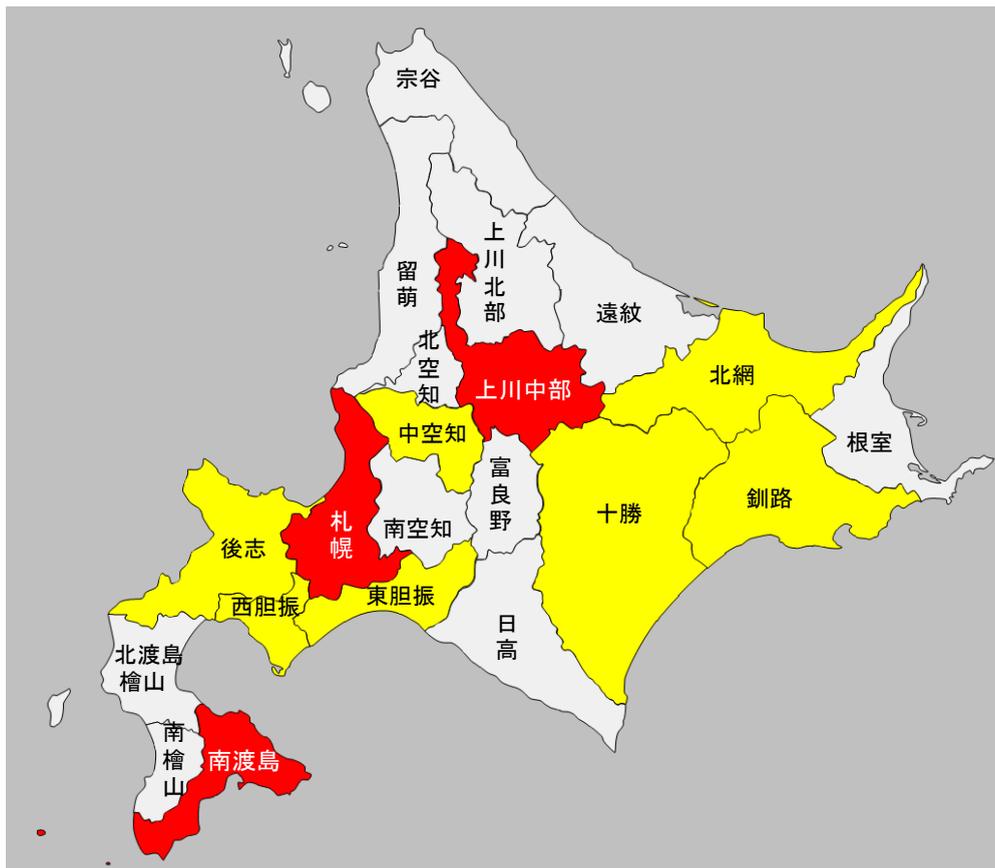


1. 北海道



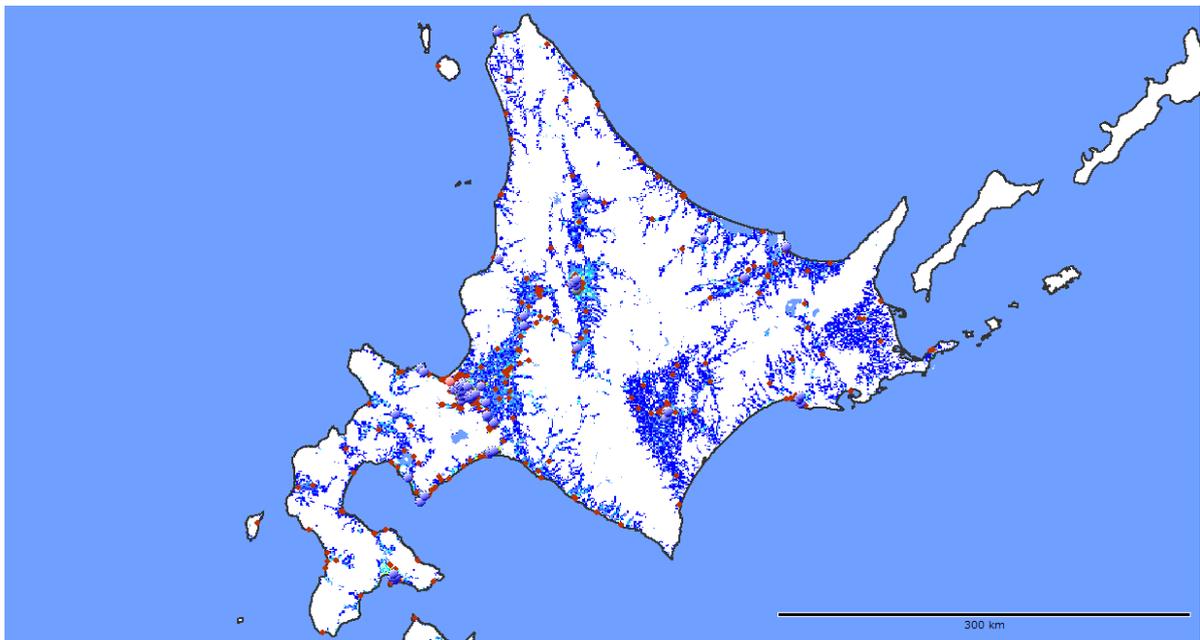
1. 北海道（2016年版）

目次

北海道	1 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	1 - 8
1. 南渡島医療圏	1 - 43
2. 南檜山医療圏	1 - 48
3. 北渡島檜山医療圏	1 - 53
4. 札幌医療圏	1 - 58
5. 後志医療圏	1 - 63
6. 南空知医療圏	1 - 68
7. 中空知医療圏	1 - 73
8. 北空知医療圏	1 - 78
9. 西胆振医療圏	1 - 83
10. 東胆振医療圏	1 - 88
11. 日高医療圏	1 - 93
12. 上川中部医療圏	1 - 98
13. 上川北部医療圏	1 - 103
14. 富良野医療圏	1 - 108
15. 留萌医療圏	1 - 113
16. 宗谷医療圏	1 - 118
17. 北網医療圏	1 - 123
18. 遠紋医療圏	1 - 128
19. 十勝医療圏	1 - 133
20. 釧路医療圏	1 - 138
21. 根室医療圏	1 - 143

1. 北海道

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（北海道） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北海道は、総人口約5361千人（2015年推計）、面積78459km²、人口密度は68人/km²である。

***人口の将来予測：** 北海道の総人口は2025年に4960千人へと減少し（2015年比-7%）、2040年に4190千人へと減少する（2025年比-16%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の784千人が、2025年にかけて1024千人へと増加し（2015年比+31%）、2040年には1050千人へと増加する（2025年比+3%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北海道の一人当たり医療費（国保）は360千円（偏差値60）、介護給付費は240千円（偏差値46）であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北海道の一人当たり急性期医療密度指数²は1.41、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.64で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が49（病院医師数52、診療所医師数42）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北海道の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、89513人（75歳以上1000人当たりの偏差値59）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が45815床（偏差値49）、高齢者住宅等が43698床（偏差値61）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、60959人（75歳以上1000人当たりの偏差値51）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム49、軽費ホーム58、グループホーム63、サ高住63である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、10644人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北海道医療圏の総人口は、2005年5627737人が、2015年に5361296人と5%減少し、2025年の人口が4959984人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

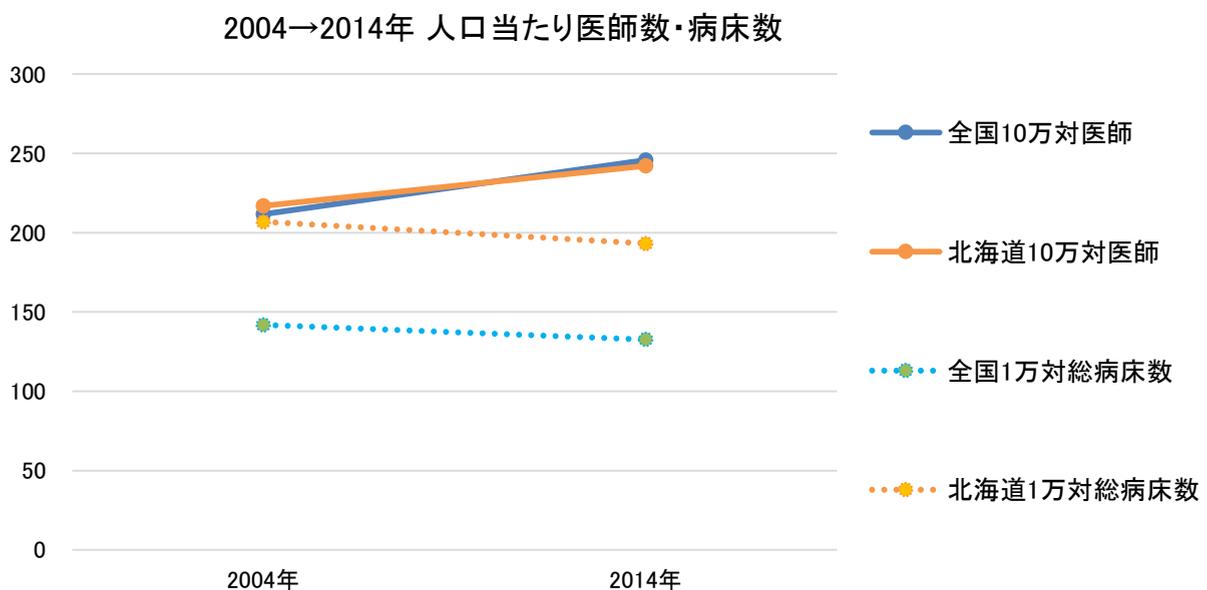
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が627(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に569(人口10万人当たり10.6病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で58病院が減少した。

2004年の診療所数が3364(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に3377(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値42)と、13診療所が増加した。

2004年の総病床数が116436床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に103524床(人口1万人当たり193(全国平均133)偏差値61)と、12912床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

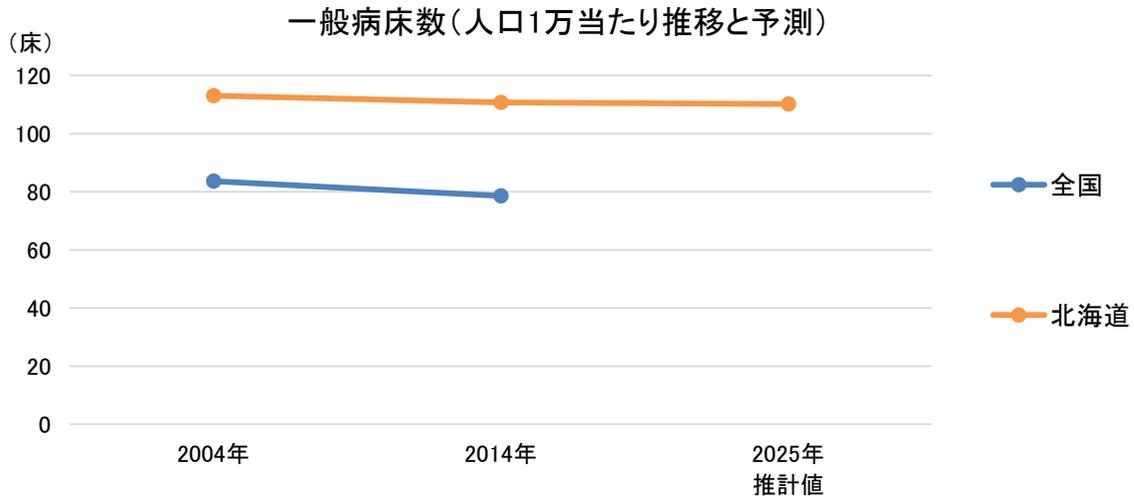
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が12201人(人口10万人当たり217人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に12987人(人口10万人当たり242人(全国平均246人)偏差値50)との増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

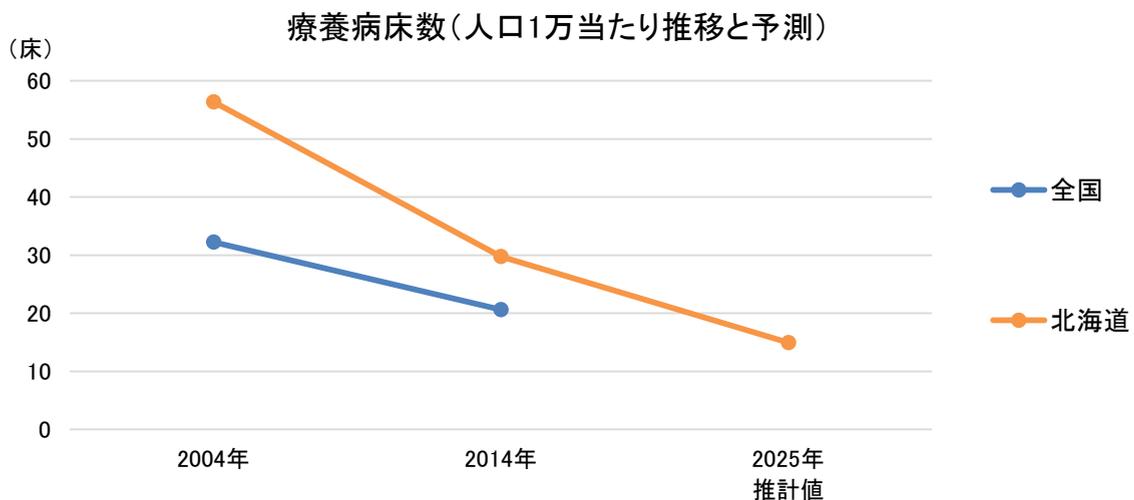
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が63648床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に59375床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、4273床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には54676床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



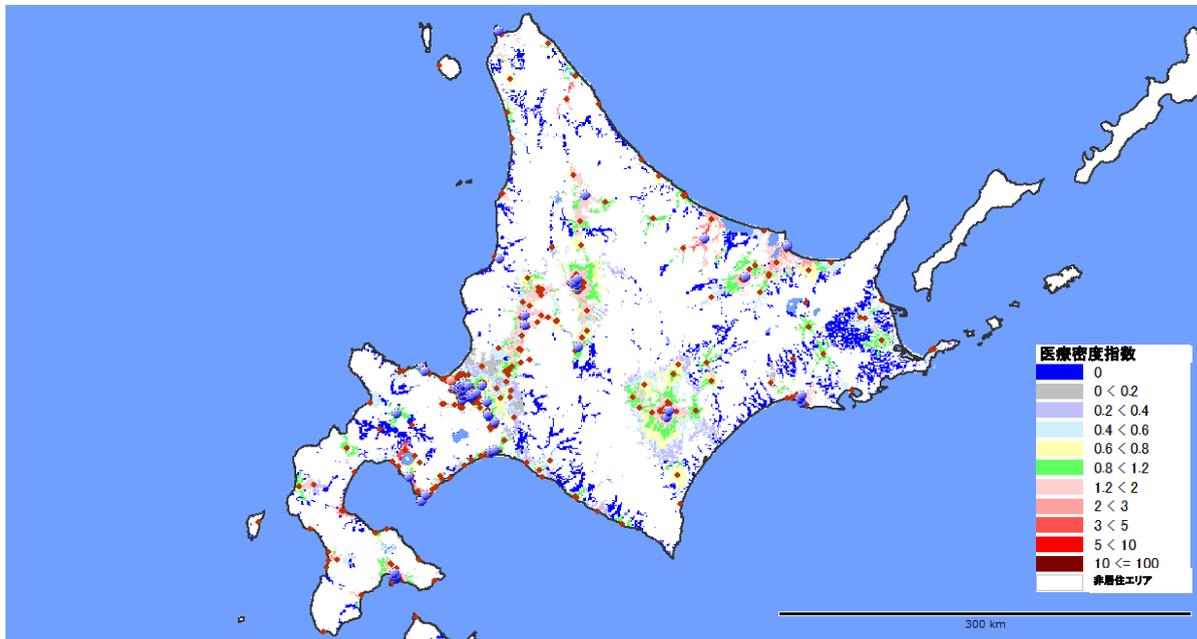
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が30622床(75歳以上1000人当たり56(全国平均32)偏差値64)であったが、2014年に23328床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、7294床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には15306床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

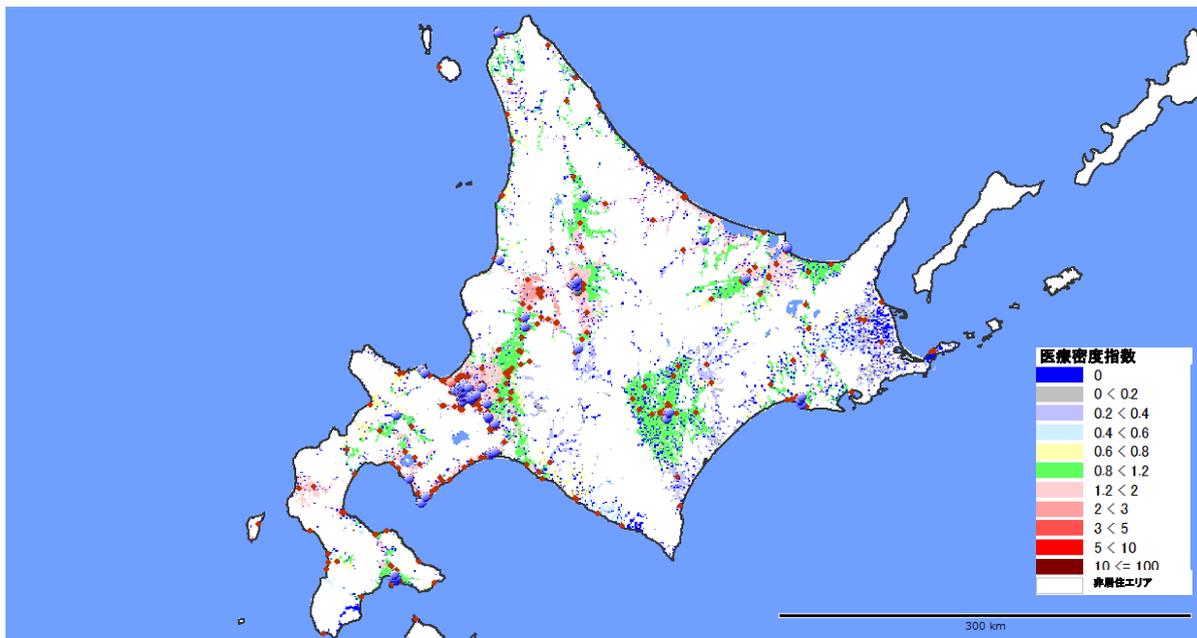


3. 医療密度⁵

図表1-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-2 慢性期医療密度指数マップ



1. 北海道 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 1-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
北海道	5,361	8位	78,459	1位	68.3		29%	4,960	4,190	784	1,024	1,050	-7%	-16%	31%	3%
南渡島	380	7%	2,670	3%	142.3	地方都市型	32%	333	260	61	72	65	-12%	-22%	18%	-10%
南檜山	24	0%	1,423	2%	16.6	過疎地域型	38%	19	13	5	5	4	-21%	-32%	0%	-20%
北渡島檜山	38	1%	2,474	3%	15.3	過疎地域型	35%	32	25	7	8	7	-16%	-22%	14%	-13%
札幌	2,357	44%	3,540	5%	665.9	大都市型	26%	2,293	2,067	289	430	497	-3%	-10%	49%	16%
後志	216	4%	4,306	5%	50.1	地方都市型	35%	184	137	40	44	37	-15%	-26%	10%	-16%
南空知	169	3%	2,563	3%	66.1	過疎地域型	35%	145	109	32	36	33	-14%	-25%	13%	-8%
中空知	109	2%	2,161	3%	50.5	過疎地域型	38%	92	67	22	24	20	-16%	-27%	9%	-17%
北空知	33	1%	1,067	1%	30.7	過疎地域型	41%	27	19	7	8	7	-18%	-30%	14%	-13%
西胆振	191	4%	1,356	2%	140.8	地方都市型	34%	170	137	33	40	33	-11%	-19%	21%	-18%
東胆振	211	4%	2,342	3%	90.2	地方都市型	28%	197	169	28	37	38	-7%	-14%	32%	3%
日高	70	1%	4,812	6%	14.6	過疎地域型	31%	61	46	12	13	12	-13%	-25%	8%	-8%
上川中部	390	7%	4,238	5%	91.9	地方都市型	32%	354	288	63	82	78	-9%	-19%	30%	-5%
上川北部	67	1%	4,197	5%	16.1	過疎地域型	34%	59	47	13	14	12	-12%	-20%	8%	-14%
富良野	44	1%	2,184	3%	19.9	過疎地域型	30%	39	32	7	8	8	-11%	-18%	14%	0%
留萌	48	1%	3,446	4%	14.1	過疎地域型	37%	40	29	10	10	9	-17%	-28%	0%	-10%
宗谷	69	1%	4,625	6%	14.9	過疎地域型	30%	60	47	11	12	12	-13%	-22%	9%	0%
北網	224	4%	5,542	7%	40.4	地方都市型	31%	202	164	36	45	44	-10%	-19%	25%	-2%
遠紋	71	1%	5,148	7%	13.8	過疎地域型	35%	61	46	13	15	13	-14%	-25%	15%	-13%
十勝	341	6%	10,828	14%	31.5	地方都市型	29%	317	272	51	65	68	-7%	-14%	27%	5%
釧路	233	4%	5,997	8%	38.8	地方都市型	30%	204	158	35	43	41	-12%	-23%	23%	-5%
根室	77	1%	3,540	5%	21.8	過疎地域型	27%	70	58	10	13	13	-9%	-17%	30%	0%

出典

<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 1-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
北海道	1.41	1.64	-12.5%	-15.3%
南渡島	1.77	1.29	2.9%	12.0%
南檜山	0.98	1.89	19.3%	33.7%
北渡島檜山	1.43	2.45	17.1%	26.5%
札幌	1.36	1.63	-36.5%	-57.9%
後志	0.88	1.89	14.4%	29.2%
南空知	0.80	1.30	9.8%	19.1%
中空知	1.48	2.77	16.2%	30.9%
北空知	1.34	4.15	17.4%	32.5%
西胆振	1.81	2.91	-3.7%	14.0%
東胆振	1.13	1.34	-4.6%	-5.2%
日高	0.56	1.52	-19.2%	-10.1%
上川中部	1.90	1.61	-15.2%	-10.2%
上川北部	1.41	1.82	4.3%	17.9%
出典	<p><一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。</p> <p><75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。</p>			

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
北海道	360	60	1.156	240	46
南渡島	376	64	1.142	258	51
南檜山	362	61	1.050	274	55
北渡島檜山	399	70	1.228	245	48
札幌	353	58	1.105	229	43
後志	412	73	1.190	274	56
南空知	391	67	1.141	246	48
中空知	430	77	1.189	238	46
北空知	391	68	1.118	228	43
西胆振	424	75	1.173	202	36
東胆振	353	58	1.069	234	45
日高	324	51	1.059	227	43
上川中部	372	63	1.111	277	56
上川北部	371	63	1.061	238	46
富良野	340	55	1.050	238	46
留萌	424	75	1.196	241	47
宗谷	334	54	1.048	235	45
北網	337	54	1.048	246	48
遠紋	339	55	1.036	205	37
十勝	321	51	1.022	247	48
釧路	354	59	1.064	237	45
根室	277	40	0.980	201	36
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 1-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
北海道	569	6.7%	10.6	59	3,377	3.4%	63	42
南渡島	36	6%	9.5	57	291	9%	77	49
南檜山	5	1%	21.1	85	14	0%	59	40
北渡島檜山	7	1%	18.5	79	16	0%	42	31
札幌	238	42%	10.1	58	1,539	46%	65	43
後志	24	4%	11.1	61	161	5%	75	48
南空知	19	3%	11.2	61	106	3%	63	41
中空知	17	3%	15.6	72	61	2%	56	38
北空知	5	1%	15.3	71	23	1%	70	45
西胆振	21	4%	11.0	60	113	3%	59	40
東胆振	16	3%	7.6	52	112	3%	53	37
日高	8	1%	11.4	61	46	1%	66	43
上川中部	43	8%	11.0	61	274	8%	70	45
上川北部	8	1%	11.9	63	40	1%	59	40
富良野	5	1%	11.5	62	25	1%	57	39
留萌	7	1%	14.5	69	38	1%	78	50
宗谷	9	2%	13.1	66	42	1%	61	41
北網	26	5%	11.6	62	107	3%	48	34
遠紋	13	2%	18.4	78	28	1%	40	30
十勝	33	6%	9.7	57	206	6%	60	40
釧路	22	4%	9.4	57	110	3%	47	34
根室	7	1%	9.1	56	25	1%	32	26
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

1. 北海道 (2016年版)

資_図表 1-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,461		79	(19.5)			73	(19.0)			6.6	(6.6)
北海道	3,377	3.4%	63	42	2,921	3.2%	54	40	456	5.5%	8.5	53
南渡島	291	9%	77	49	254	9%	67	47	37	8%	9.7	55
南檜山	14	0%	59	40	10	0%	42	34	4	1%	16.9	66
北渡島檜山	16	0%	42	31	15	1%	40	33	1	0%	2.6	44
札幌	1,539	46%	65	43	1,351	46%	57	42	188	41%	8.0	52
後志	161	5%	75	48	127	4%	59	43	34	7%	15.7	64
南空知	106	3%	63	41	84	3%	50	38	22	5%	13.0	60
中空知	61	2%	56	38	52	2%	48	37	9	2%	8.3	52
北空知	23	1%	70	45	23	1%	70	49	0	0%	0	40
西胆振	113	3%	59	40	103	4%	54	40	10	2%	5.2	48
東胆振	112	3%	53	37	94	3%	45	35	18	4%	8.5	53
日高	46	1%	66	43	42	1%	60	43	4	1%	5.7	49
上川中部	274	8%	70	45	228	8%	59	43	46	10%	11.8	58
上川北部	40	1%	59	40	36	1%	53	40	4	1%	5.9	49
富良野	25	1%	57	39	22	1%	51	38	3	1%	6.9	50
留萌	38	1%	78	50	34	1%	70	49	4	1%	8.3	52
宗谷	42	1%	61	41	39	1%	57	42	3	1%	4.4	47
北網	107	3%	48	34	86	3%	38	32	21	5%	9.4	54
遠紋	28	1%	40	30	24	1%	34	30	4	1%	5.6	49
十勝	206	6%	60	40	178	6%	52	39	28	6%	8.2	52
釧路	110	3%	47	34	98	3%	42	34	12	3%	5.2	48
根室	25	1%	32	26	21	1%	27	26	4	1%	5.2	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 1-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
北海道	96,574	6.2%	1,801	61	6,950	6.2%	130	54	103,524	6.2%	1,931	61
南渡島	7,321	8%	1,927	64	604	9%	159	57	7,925	8%	2,086	63
南檜山	443	0%	1,872	63	59	1%	249	65	502	0%	2,121	64
北渡島檜山	1,074	1%	2,834	82	19	0%	50	46	1,093	1%	2,884	78
札幌	41,839	43%	1,775	61	2,796	40%	119	53	44,635	43%	1,894	60
後志	4,354	5%	2,016	65	513	7%	238	64	4,867	5%	2,254	66
南空知	2,909	3%	1,717	60	333	5%	197	60	3,242	3%	1,913	60
中空知	3,163	3%	2,900	83	139	2%	127	54	3,302	3%	3,027	80
北空知	1,186	1%	3,623	97	0	0%	0	42	1,186	1%	3,623	91
西胆振	5,298	5%	2,775	81	146	2%	76	49	5,444	5%	2,852	77
東胆振	2,788	3%	1,320	52	322	5%	152	56	3,110	3%	1,472	53
日高	939	1%	1,340	52	59	1%	84	50	998	1%	1,424	52
上川中部	7,582	8%	1,946	64	697	10%	179	59	8,279	8%	2,125	64
上川北部	1,013	1%	1,503	55	67	1%	99	51	1,080	1%	1,602	55
富良野	646	1%	1,485	55	48	1%	110	52	694	1%	1,595	55
留萌	809	1%	1,670	59	62	1%	128	54	871	1%	1,798	58
宗谷	822	1%	1,196	49	57	1%	83	49	879	1%	1,279	49
北網	3,485	4%	1,556	56	329	5%	147	55	3,814	4%	1,703	57
遠紋	1,272	1%	1,796	61	62	1%	88	50	1,334	1%	1,883	60
十勝	4,831	5%	1,419	54	406	6%	119	53	5,237	5%	1,538	54
釧路	4,011	4%	1,722	60	185	3%	79	49	4,196	4%	1,801	58
根室	789	1%	1,022	46	47	1%	61	47	836	1%	1,083	46
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
北海道	53,107	5.9%	991	62	22,646	6.9%	422	58	20,484	6.1%	382	55
南渡島	4,241	8%	1,116	68	1,242	5%	327	53	1,792	9%	472	59
南檜山	265	0%	1,120	68	126	1%	532	63	48	0%	203	47
北渡島檜山	608	1%	1,604	89	362	2%	955	83	100	0%	264	50
札幌	23,870	45%	1,013	63	9,373	41%	398	57	8,486	41%	360	54
後志	1,854	3%	859	57	1,109	5%	514	62	1,372	7%	635	67
南空知	1,339	3%	790	54	718	3%	424	58	836	4%	493	60
中空知	1,077	2%	987	62	851	4%	780	75	1,225	6%	1,123	89
北空知	266	1%	813	55	407	2%	1,243	97	509	2%	1,555	109
西胆振	2,018	4%	1,057	65	1,708	8%	895	80	1,544	8%	809	75
東胆振	1,412	3%	669	48	629	3%	298	52	743	4%	352	54
日高	411	1%	586	45	246	1%	351	54	278	1%	397	56
上川中部	4,607	9%	1,182	71	1,738	8%	446	59	1,211	6%	311	52
上川北部	663	1%	984	62	291	1%	432	58	55	0%	82	42
富良野	332	1%	763	52	140	1%	322	53	170	1%	391	56
留萌	466	1%	962	61	240	1%	495	61	99	0%	204	47
宗谷	548	1%	798	54	170	1%	247	49	100	0%	146	44
北網	2,240	4%	1,000	63	718	3%	321	53	523	3%	233	48
遠紋	676	1%	954	61	457	2%	645	68	135	1%	191	47
十勝	3,282	6%	964	61	1,018	4%	299	52	511	2%	150	45
釧路	2,502	5%	1,074	66	964	4%	414	57	531	3%	228	48
根室	430	1%	557	43	139	1%	180	46	216	1%	280	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 1-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
北海道	3,113	4.4%	58	51	1,812	5.0%	34	50
南渡島	322	10%	85	56	246	14%	65	56
南檜山	0	0%	0	38	0	0%	0	43
北渡島檜山	0	0%	0	38	0	0%	0	43
札幌	1,429	46%	61	51	674	37%	29	49
後志	174	6%	81	55	162	9%	75	58
南空知	44	1%	26	44	59	3%	35	50
中空知	60	2%	55	50	89	5%	82	60
北空知	0	0%	0	38	0	0%	0	43
西胆振	194	6%	102	60	48	3%	25	48
東胆振	142	5%	67	52	46	3%	22	47
日高	0	0%	0	38	0	0%	0	43
上川中部	251	8%	64	52	193	11%	50	53
上川北部	28	1%	42	47	49	3%	73	58
富良野	0	0%	0	38	0	0%	0	43
留萌	35	1%	72	54	0	0%	0	43
宗谷	0	0%	0	38	0	0%	0	43
北網	23	1%	10	40	56	3%	25	48
遠紋	0	0%	0	38	10	1%	14	46
十勝	271	9%	80	55	33	2%	10	45
釧路	140	4%	60	51	147	8%	63	56
根室	0	0%	0	38	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
北海道	33,362	26,295	3,794	62,329	26,394	18,662	49.9%	49	16.9%	53
南渡島	3,656	3,055	505	3,655	1,176	737	72.2%	58	40.7%	64
南檜山	383	265	66	60	0	60	100.0%	70	52.4%	69
北渡島檜山	900	554	242	174	54	120	91.1%	66	66.9%	75
札幌	7,922	7,034	232	33,623	16,742	9,008	29.6%	41	2.5%	47
後志	1,572	1,046	242	2,725	782	867	57.2%	52	21.8%	56
南空知	1,776	1,224	312	1,133	208	313	85.5%	64	49.9%	68
中空知	1,217	884	199	1,946	193	652	82.1%	62	23.4%	56
北空知	420	199	137	699	0	270	100.0%	70	33.7%	61
西胆振	1,517	931	378	3,781	1,071	1,346	46.5%	48	21.9%	56
東胆振	480	476	0	2,308	945	620	33.5%	42	0.0%	46
日高	475	284	137	478	126	134	69.3%	57	50.6%	68
上川中部	3,063	2,644	42	4,372	1,922	1,690	57.9%	52	2.4%	47
上川北部	799	545	195	214	108	106	83.5%	63	64.8%	74
富良野	334	274	56	312	58	84	82.5%	62	40.0%	63
留萌	558	466	88	251	0	152	100.0%	70	36.7%	62
宗谷	712	498	110	110	50	60	90.9%	66	64.7%	74
北網	1,809	1,324	208	1,553	793	510	62.5%	54	29.0%	59
遠紋	666	540	122	560	136	337	79.9%	61	26.6%	58
十勝	2,857	2,039	460	1,876	1,164	558	63.7%	55	45.2%	66
釧路	1,846	1,636	44	2,163	866	918	65.4%	55	4.6%	48
根室	400	377	19	336	0	120	100.0%	70	13.7%	52
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 1-10 全身麻酔件数、分娩件数 (年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
北海道	180,324	6.4%	3,363	61	41,280	4.0%	770	49
南渡島	13,296	7%	3,500	62	2,748	7%	723	47
南檜山	216	0%	913	38	0	0%	0	22
北渡島檜山	372	0%	981	38	216	1%	570	42
札幌	95,136	53%	4,036	67	20,040	49%	850	51
後志	5,100	3%	2,362	51	984	2%	456	38
南空知	3,228	2%	1,905	47	780	2%	460	38
中空知	3,984	2%	3,652	63	864	2%	792	49
北空知	528	0%	1,613	44	60	0%	183	28
西胆振	6,924	4%	3,627	63	1,380	3%	723	47
東胆振	4,392	2%	2,079	49	2,004	5%	949	55
日高	480	0%	685	36	132	0%	188	28
上川中部	17,376	10%	4,460	71	3,720	9%	955	55
上川北部	1,308	1%	1,941	47	444	1%	659	45
富良野	588	0%	1,351	42	228	1%	524	40
留萌	408	0%	842	37	168	0%	347	34
宗谷	684	0%	996	38	444	1%	646	44
北網	4,836	3%	2,159	49	1,620	4%	723	47
遠紋	1,116	1%	1,576	44	336	1%	474	38
十勝	10,524	6%	3,090	58	2,676	6%	786	49
釧路	9,096	5%	3,904	66	1,956	5%	840	51
根室	732	0%	948	38	480	1%	622	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-11 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
北海道	13,737	4.0%	256	49	9,540	4.5%	178	52	4,197	3.2%	78	42
南渡島	925	7%	244	47	596	6%	157	49	330	8%	87	45
南檜山	40	0%	169	39	27	0%	114	42	13	0%	55	35
北渡島檜山	67	0%	177	40	58	1%	152	48	9	0%	25	26
札幌	7,091	52%	301	53	4,910	51%	208	56	2,181	52%	93	47
後志	484	4%	224	45	290	3%	134	45	194	5%	90	46
南空知	313	2%	185	41	195	2%	115	42	118	3%	70	40
中空知	276	2%	253	48	225	2%	206	56	52	1%	47	33
北空知	67	0%	205	43	47	0%	143	47	20	0%	61	37
西胆振	469	3%	246	47	345	4%	181	52	124	3%	65	38
東胆振	392	3%	186	41	261	3%	124	44	131	3%	62	37
日高	109	1%	155	38	72	1%	102	40	37	1%	53	35
上川中部	1,309	10%	336	57	973	10%	250	63	335	8%	86	45
上川北部	145	1%	216	44	112	1%	165	50	34	1%	50	34
富良野	78	1%	179	40	50	1%	115	42	28	1%	64	38
留萌	91	1%	188	41	54	1%	111	42	37	1%	76	42
宗谷	92	1%	134	35	66	1%	96	40	27	1%	39	30
北網	414	3%	185	41	289	3%	129	44	125	3%	56	36
遠紋	131	1%	186	41	105	1%	148	47	26	1%	37	30
十勝	684	5%	201	43	464	5%	136	46	220	5%	65	38
釧路	472	3%	203	43	340	4%	146	47	132	3%	57	36
根室	87	1%	113	33	64	1%	83	38	23	1%	30	28
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 1-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
北海道	508	3.2%	9.5	46	488	3.9%	9.1	48	371	3.6%	6.9	47
南渡島	23	5%	6.1	41	27	6%	7.1	44	22	6%	5.8	44
南檜山	0	0%	0	32	2	0%	8.5	47	1	0%	4.2	40
北渡島檜山	1	0%	2.6	36	2	0%	5.3	40	0	0%	0	28
札幌	316	62%	13.4	52	262	54%	11.1	53	223	60%	9.5	53
後志	10	2%	4.6	39	12	2%	5.6	41	5	1%	2.3	35
南空知	22	4%	13.0	51	9	2%	5.3	40	3	1%	1.8	33
中空知	7	1%	6.4	41	7	1%	6.4	42	5	1%	4.6	40
北空知	2	0%	6.1	41	4	1%	12.2	55	0	0%	0	28
西胆振	9	2%	4.7	39	12	2%	6.3	42	11	3%	5.8	44
東胆振	8	2%	3.8	37	15	3%	7.1	44	12	3%	5.7	43
日高	2	0%	2.9	36	1	0%	1.4	32	1	0%	1.4	32
上川中部	49	10%	12.6	50	69	14%	17.7	67	41	11%	10.5	56
上川北部	4	1%	5.9	40	5	1%	7.4	45	5	1%	7.4	48
富良野	1	0%	2.3	35	2	0%	4.6	38	2	1%	4.6	40
留萌	4	1%	8.3	44	1	0%	2.1	33	0	0%	0	28
宗谷	2	0%	2.9	36	4	1%	5.8	41	4	1%	5.8	44
北網	14	3%	6.3	41	13	3%	5.8	41	11	3%	4.9	41
遠紋	4	1%	5.6	40	5	1%	7.1	44	4	1%	5.6	43
十勝	22	4%	6.5	41	22	5%	6.5	43	14	4%	4.1	39
釧路	5	1%	2.1	35	8	2%	3.4	36	4	1%	1.7	33
根室	3	1%	3.9	37	6	1%	7.8	45	3	1%	3.9	39
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
北海道	244	4.6%	4.6	52	339	3.6%	6.3	47	309	4.1%	5.8	49
南渡島	18	7%	4.7	53	16	5%	4.2	40	18	6%	4.7	46
南檜山	0	0%	0	30	0	0%	0	27	0	0%	0	27
北渡島檜山	0	0%	0	30	0	0%	0	27	0	0%	0	27
札幌	144	59%	6.1	59	209	62%	8.9	55	164	53%	7.0	54
後志	3	1%	1.4	37	11	3%	5.1	43	9	3%	4.2	43
南空知	4	2%	2.4	42	5	1%	3.0	36	8	3%	4.7	46
中空知	5	2%	4.6	52	5	1%	4.6	41	4	1%	3.7	41
北空知	0	0%	0	30	2	1%	6.1	46	1	0%	3.1	39
西胆振	7	3%	3.7	48	13	4%	6.8	48	11	4%	5.8	49
東胆振	5	2%	2.4	42	9	3%	4.3	40	15	5%	7.1	55
日高	1	0%	1.4	37	2	1%	2.9	36	1	0%	1.4	33
上川中部	26	11%	6.7	62	35	10%	9.0	55	40	13%	10.3	67
上川北部	1	0%	1.5	37	2	1%	3.0	36	4	1%	5.9	50
富良野	0	0%	0	30	1	0%	2.3	34	1	0%	2.3	36
留萌	0	0%	0	30	1	0%	2.1	33	1	0%	2.1	35
宗谷	2	1%	2.9	44	1	0%	1.5	31	2	1%	2.9	39
北網	6	2%	2.7	43	7	2%	3.1	37	6	2%	2.7	38
遠紋	3	1%	4.2	50	1	0%	1.4	31	2	1%	2.8	38
十勝	9	4%	2.6	43	11	3%	3.2	37	13	4%	3.8	42
釧路	8	3%	3.4	47	7	2%	3.0	36	9	3%	3.9	42
根室	2	1%	2.6	43	1	0%	1.3	31	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 1-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
北海道	351	4.2%	6.5	50	830	4.1%	15.5	49	669	4.4%	12.5	51
南渡島	19	5%	5.0	46	60	7%	15.8	50	51	8%	13.4	53
南檜山	0	0%	0	31	2	0%	8.5	39	1	0%	4.2	32
北渡島檜山	0	0%	0	31	4	0%	10.6	42	1	0%	2.6	29
札幌	193	55%	8.2	55	430	52%	18.2	53	352	53%	14.9	56
後志	9	3%	4.2	43	34	4%	15.7	50	21	3%	9.7	45
南空知	15	4%	8.9	57	20	2%	11.8	44	23	3%	13.6	53
中空知	18	5%	16.5	78	15	2%	13.8	47	8	1%	7.3	39
北空知	3	1%	9.2	57	3	0%	9.2	40	2	0%	6.1	37
西胆振	10	3%	5.2	46	26	3%	13.6	47	20	3%	10.5	46
東胆振	10	3%	4.7	45	21	3%	9.9	41	18	3%	8.5	42
日高	0	0%	0	31	5	1%	7.1	37	3	0%	4.3	33
上川中部	24	7%	6.2	49	87	10%	22.3	59	77	12%	19.8	67
上川北部	1	0%	1.5	36	8	1%	11.9	44	6	1%	8.9	43
富良野	3	1%	6.9	51	4	0%	9.2	40	6	1%	13.8	54
留萌	3	1%	6.2	49	2	0%	4.1	33	4	1%	8.3	41
宗谷	1	0%	1.5	36	5	1%	7.3	38	3	0%	4.4	33
北網	6	2%	2.7	39	16	2%	7.1	37	12	2%	5.4	35
遠紋	1	0%	1.4	35	11	1%	15.5	49	5	1%	7.1	39
十勝	17	5%	5.0	46	48	6%	14.1	47	30	4%	8.8	43
釧路	15	4%	6.4	50	20	2%	8.6	39	22	3%	9.4	44
根室	3	1%	3.9	42	9	1%	11.7	44	4	1%	5.2	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-15 専門医数（泌尿器科、脳神経外科、放射線科）

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
北海道	286	5.0%	5.3	54	368	5.8%	6.9	58	161	3.0%	3.0	46
南渡島	21	7%	5.5	55	24	7%	6.3	55	11	7%	2.9	46
南檜山	1	0%	4.2	49	0	0%	0	29	0	0%	0	36
北渡島檜山	0	0%	0	28	0	0%	0	29	0	0%	0	36
札幌	141	49%	6.0	57	202	55%	8.6	65	97	60%	4.1	50
後志	9	3%	4.2	48	16	4%	7.4	60	7	4%	3.2	47
南空知	5	2%	3.0	42	3	1%	1.8	36	2	1%	1.2	40
中空知	7	2%	6.4	59	8	2%	7.3	60	3	2%	2.8	45
北空知	3	1%	9.2	73	2	1%	6.1	55	2	1%	6.1	56
西胆振	10	3%	5.2	54	10	3%	5.2	51	3	2%	1.6	41
東胆振	11	4%	5.2	53	10	3%	4.7	49	2	1%	0.9	39
日高	0	0%	0	28	0	0%	0	29	0	0%	0	36
上川中部	35	12%	9.0	72	28	8%	7.2	59	23	14%	5.9	56
上川北部	1	0%	1.5	35	6	2%	8.9	66	0	0%	0	36
富良野	3	1%	6.9	62	0	0%	0	29	0	0%	0	36
留萌	1	0%	2.1	38	2	1%	4.1	46	0	0%	0	36
宗谷	1	0%	1.5	35	2	1%	2.9	41	0	0%	0	36
北網	6	2%	2.7	41	13	4%	5.8	53	1	1%	0.4	37
遠紋	1	0%	1.4	35	1	0%	1.4	35	0	0%	0	36
十勝	17	6%	5.0	52	22	6%	6.5	56	6	4%	1.8	42
釧路	13	5%	5.6	55	18	5%	7.7	61	4	2%	1.7	42
根室	0	0%	0	28	1	0%	1.3	34	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 1-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
北海道	382	5.8%	7.1	56	59	3.8%	1.1	49	142	4.3%	2.6	50
南渡島	26	7%	6.8	55	2	3%	0.5	43	10	7%	2.6	50
南檜山	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	1%	4.2	59
北渡島檜山	1	0%	2.6	42	0	0%	0	37	1	1%	2.6	50
札幌	225	59%	9.5	64	37	63%	1.6	54	82	58%	3.5	55
後志	8	2%	3.7	45	2	3%	0.9	47	3	2%	1.4	43
南空知	4	1%	2.4	41	1	2%	0.6	43	1	1%	0.6	38
中空知	5	1%	4.6	48	1	2%	0.9	47	1	1%	0.9	40
北空知	2	1%	6.1	53	0	0%	0	37	0	0%	0	35
西胆振	11	3%	5.8	52	4	7%	2.1	59	6	4%	3.1	53
東胆振	10	3%	4.7	49	1	2%	0.5	42	0	0%	0	35
日高	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上川中部	46	12%	11.8	71	7	12%	1.8	56	14	10%	3.6	56
上川北部	2	1%	3.0	43	1	2%	1.5	53	1	1%	1.5	44
富良野	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	1%	2.3	48
留萌	1	0%	2.1	40	1	2%	2.1	59	1	1%	2.1	47
宗谷	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	1%	1.5	43
北網	6	2%	2.7	42	0	0%	0	37	3	2%	1.3	43
遠紋	1	0%	1.4	38	0	0%	0	37	2	1%	2.8	51
十勝	19	5%	5.6	51	0	0%	0	37	8	6%	2.3	49
釧路	13	3%	5.6	51	2	3%	0.9	46	6	4%	2.6	50
根室	2	1%	2.6	42	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
北海道	91	4.6%	1.7	51	91	3.8%	1.7	49
南渡島	7	8%	1.8	52	4	4%	1.1	44
南檜山	0	0%	0	37	0	0%	0	36
北渡島檜山	0	0%	0	37	0	0%	0	36
札幌	55	60%	2.3	56	60	66%	2.5	55
後志	4	4%	1.9	52	4	4%	1.9	50
南空知	1	1%	0.6	42	2	2%	1.2	45
中空知	1	1%	0.9	45	1	1%	0.9	43
北空知	0	0%	0	37	0	0%	0	36
西胆振	2	2%	1.0	46	2	2%	1.0	44
東胆振	2	2%	0.9	45	2	2%	0.9	43
日高	0	0%	0	37	0	0%	0	36
上川中部	7	8%	1.8	52	12	13%	3.1	59
上川北部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
富良野	0	0%	0	37	0	0%	0	36
留萌	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宗谷	0	0%	0	37	0	0%	0	36
北網	2	2%	0.9	44	1	1%	0.4	39
遠紋	0	0%	0	37	0	0%	0	36
十勝	9	10%	2.6	59	2	2%	0.6	40
釧路	1	1%	0.4	41	0	0%	0	36
根室	0	0%	0	37	1	1%	1.3	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 1-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
北海道	61,973	5.6%	1,156	60	52,616	5.8%	981	61	9,356	4.7%	175	53
南渡島	4,897	8%	1,289	65	4,264	8%	1,122	67	633	7%	167	51
南檜山	202	0%	854	49	174	0%	734	51	28	0%	120	45
北渡島檜山	516	1%	1,362	67	486	1%	1,282	74	30	0%	80	40
札幌	27,533	44%	1,168	60	23,392	44%	992	62	4,141	44%	176	53
後志	2,508	4%	1,162	60	2,006	4%	929	59	502	5%	232	60
南空知	1,679	3%	991	54	1,343	3%	793	53	336	4%	198	56
中空知	1,686	3%	1,545	73	1,511	3%	1,385	78	175	2%	160	51
北空知	524	1%	1,599	75	460	1%	1,405	79	64	1%	195	55
西胆振	2,707	4%	1,418	69	2,389	5%	1,252	72	318	3%	167	51
東胆振	2,147	3%	1,017	55	1,661	3%	786	53	487	5%	230	60
日高	496	1%	707	44	385	1%	549	43	110	1%	157	50
上川中部	5,401	9%	1,386	68	4,662	9%	1,197	70	739	8%	190	55
上川北部	722	1%	1,071	57	624	1%	925	59	98	1%	145	49
富良野	411	1%	944	53	343	1%	788	53	68	1%	156	50
留萌	455	1%	940	52	359	1%	740	51	97	1%	200	56
宗谷	533	1%	776	47	434	1%	632	47	99	1%	145	49
北網	2,293	4%	1,024	55	1,923	4%	859	56	369	4%	165	51
遠紋	714	1%	1,008	55	634	1%	895	58	80	1%	113	44
十勝	3,375	5%	991	54	2,775	5%	815	54	600	6%	176	53
釧路	2,683	4%	1,152	60	2,373	5%	1,018	63	310	3%	133	47
根室	491	1%	636	42	420	1%	543	43	72	1%	93	42
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
北海道	6,312	5.3%	118	55	10,803	3.7%	201	47
南渡島	480	8%	126	56	772	7%	203	48
南檜山	3	0%	13	34	22	0%	93	36
北渡島檜山	38	1%	100	51	52	0%	137	41
札幌	3,162	50%	134	58	5,671	52%	241	51
後志	283	4%	131	57	471	4%	218	49
南空知	123	2%	73	46	251	2%	148	42
中空知	96	2%	88	49	203	2%	186	46
北空知	21	0%	64	44	41	0%	125	40
西胆振	362	6%	190	68	336	3%	176	45
東胆振	204	3%	97	50	306	3%	145	42
日高	22	0%	32	38	101	1%	144	41
上川中部	516	8%	132	57	866	8%	222	49
上川北部	48	1%	71	45	86	1%	128	40
富良野	29	0%	67	45	59	1%	136	41
留萌	38	1%	78	47	79	1%	163	43
宗谷	31	0%	45	40	87	1%	127	40
北網	227	4%	101	51	316	3%	141	41
遠紋	20	0%	28	37	74	1%	104	37
十勝	358	6%	105	52	539	5%	158	43
釧路	229	4%	98	51	403	4%	173	44
根室	22	0%	28	37	68	1%	88	36
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 1-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
北海道	337	2.3%	0.4	40	49	4.4%	0.1	49	441	4.6%	0.6	49
南渡島	28	8%	0.5	41	3	6%	0.0	47	27	6%	0.4	43
南檜山	0	0%	0	31	0	0%	0	39	3	1%	0.6	51
北渡島檜山	1	0%	0.1	33	0	0%	0	39	2	0%	0.3	33
札幌	170	50%	0.6	43	27	55%	0.1	54	202	46%	0.7	56
後志	29	9%	0.7	47	1	2%	0.0	43	20	5%	0.5	46
南空知	14	4%	0.4	40	0	0%	0	39	13	3%	0.4	40
中空知	8	2%	0.4	38	0	0%	0	39	12	3%	0.5	48
北空知	1	0%	0.1	33	0	0%	0	39	2	0%	0.3	33
西胆振	2	1%	0.1	32	0	0%	0	39	17	4%	0.5	46
東胆振	7	2%	0.3	36	1	2%	0.0	45	10	2%	0.4	38
日高	2	1%	0.2	34	1	2%	0.1	53	8	2%	0.7	56
上川中部	34	10%	0.5	42	4	8%	0.1	49	32	7%	0.5	46
上川北部	4	1%	0.3	37	1	2%	0.1	52	6	1%	0.5	44
富良野	2	1%	0.3	37	0	0%	0	39	4	1%	0.6	48
留萌	3	1%	0.3	37	1	2%	0.1	56	4	1%	0.4	41
宗谷	1	0%	0.1	33	0	0%	0	39	7	2%	0.6	54
北網	7	2%	0.2	35	1	2%	0.0	44	23	5%	0.6	53
遠紋	0	0%	0	31	1	2%	0.1	51	3	1%	0.2	30
十勝	18	5%	0.4	38	5	10%	0.1	55	23	5%	0.5	43
釧路	6	2%	0.2	34	1	2%	0.0	44	17	4%	0.5	45
根室	0	0%	0	31	2	4%	0.2	70	6	1%	0.6	50
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

1. 北海道 (2016年版)

資_図表 1-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
北海道	89,513	5.5%	114	59	45,815	4.7%	58	49	43,698	6.7%	56	61
南渡島	7,587	8%	125	66	3,547	8%	59	49	4,040	9%	67	68
南檜山	538	1%	110	56	399	1%	81	67	139	0%	28	43
北渡島檜山	785	1%	105	54	562	1%	75	62	223	1%	30	44
札幌	35,815	40%	124	65	14,512	32%	50	42	21,303	49%	74	73
後志	4,775	5%	121	63	2,948	6%	75	62	1,827	4%	46	54
南空知	3,857	4%	120	62	2,324	5%	72	60	1,533	4%	48	55
中空知	2,684	3%	121	63	1,667	4%	75	62	1,017	2%	46	54
北空知	904	1%	121	63	621	1%	83	69	283	1%	38	49
西胆振	3,278	4%	99	50	2,084	5%	63	53	1,194	3%	36	48
東胆振	3,384	4%	122	64	1,743	4%	63	53	1,641	4%	59	63
日高	907	1%	79	38	714	2%	62	52	193	0%	17	35
上川中部	6,625	7%	106	54	3,449	8%	55	46	3,176	7%	51	57
上川北部	1,196	1%	93	46	887	2%	69	57	309	1%	24	40
富良野	758	1%	105	53	551	1%	76	63	207	0%	29	43
留萌	907	1%	94	47	597	1%	62	52	310	1%	32	45
宗谷	1,067	1%	99	50	784	2%	73	60	283	1%	26	41
北網	3,382	4%	94	47	1,940	4%	54	45	1,442	3%	40	50
遠紋	1,058	1%	79	38	757	2%	57	48	301	1%	23	39
十勝	5,913	7%	116	60	3,422	7%	67	56	2,491	6%	49	56
釧路	3,324	4%	96	48	1,780	4%	51	43	1,544	4%	45	53
根室	769	1%	76	36	527	1%	52	44	242	1%	24	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 1-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
北海道	16,275	4.5%	21	48	25,281	4.6%	32	49	4,259	6.3%	5.4	53
南渡島	1,424	9%	24	53	1,863	7%	31	47	260	6%	4.3	50
南檜山	80	0%	16	40	319	1%	65	81	0	0%	0	40
北渡島檜山	170	1%	23	51	392	2%	52	69	0	0%	0	40
札幌	5,553	34%	19	45	7,060	28%	24	41	1,899	45%	6.6	56
後志	1,047	6%	26	58	1,425	6%	36	52	476	11%	12.0	69
南空知	959	6%	30	64	1,243	5%	39	55	122	3%	3.8	49
中空知	464	3%	21	48	916	4%	41	58	287	7%	12.9	71
北空知	176	1%	24	53	390	2%	52	69	55	1%	7.4	58
西胆振	720	4%	22	50	1,126	4%	34	50	238	6%	7.2	57
東胆振	680	4%	25	55	915	4%	33	49	148	3%	5.4	53
日高	175	1%	15	38	539	2%	47	63	0	0%	0	40
上川中部	1,248	8%	20	46	1,676	7%	27	43	525	12%	8.4	60
上川北部	249	2%	19	46	626	2%	49	65	12	0%	0.9	42
富良野	128	1%	18	43	400	2%	55	72	23	1%	3.2	48
留萌	129	1%	13	35	450	2%	47	63	18	0%	1.9	45
宗谷	169	1%	16	39	615	2%	57	73	0	0%	0	40
北網	619	4%	17	42	1,291	5%	36	52	30	1%	0.8	42
遠紋	226	1%	17	41	531	2%	40	56	0	0%	0	40
十勝	1,342	8%	26	58	1,994	8%	39	55	86	2%	1.7	44
釧路	597	4%	17	42	1,163	5%	34	50	20	0%	0.6	41
根室	120	1%	12	32	347	1%	34	50	60	1%	5.9	54
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
北海道	9,780	4.4%	12.5	49	2,351	10.3%	3.0	58	14,674	7.7%	18.7	63
南渡島	977	10%	16.1	53	230	10%	3.8	62	1,158	8%	19.1	63
南檜山	20	0%	4.1	41	20	1%	4.1	63	99	1%	20.2	65
北渡島檜山	0	0%	0	37	58	2%	7.8	81	144	1%	19.3	64
札幌	5,427	55%	18.7	55	770	33%	2.7	56	5,078	35%	17.5	61
後志	192	2%	4.9	42	0	0%	0	43	933	6%	23.6	71
南空知	390	4%	12.1	49	130	6%	4.0	63	529	4%	16.4	59
中空知	204	2%	9.2	46	150	6%	6.7	76	315	2%	14.2	55
北空知	45	0%	6.0	43	39	2%	5.2	69	99	1%	13.3	53
西胆振	283	3%	8.6	45	234	10%	7.1	77	531	4%	16.0	58
東胆振	187	2%	6.8	43	259	11%	9.4	89	597	4%	21.6	68
日高	0	0%	0	37	10	0%	0.9	48	153	1%	13.3	53
上川中部	663	7%	10.6	47	160	7%	2.5	56	1,505	10%	24.0	72
上川北部	67	1%	5.2	42	29	1%	2.3	54	153	1%	11.9	51
富良野	0	0%	0	37	0	0%	0	43	81	1%	11.2	49
留萌	85	1%	8.9	45	0	0%	0	43	177	1%	18.4	62
宗谷	0	0%	0	37	0	0%	0	43	161	1%	14.9	56
北網	84	1%	2.3	39	212	9%	5.9	72	789	5%	22.0	68
遠紋	0	0%	0	37	50	2%	3.7	61	189	1%	14.2	55
十勝	534	5%	10.5	47	0	0%	0	43	1,112	8%	21.8	68
釧路	582	6%	16.8	53	0	0%	0	43	709	5%	20.5	66
根室	40	0%	3.9	41	0	0%	0	43	162	1%	15.9	58
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 1-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
北海道	16,893	8.0%	21.5	63	1,486	11.4%	1.9	57	15,407	7.7%	19.6	62
南渡島	1,675	10%	27.7	72	195	13%	3.2	65	1,480	10%	24.5	70
南檜山	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
北渡島檜山	21	0%	2.8	35	0	0%	0	45	21	0%	2.8	35
札幌	10,028	59%	34.6	82	303	20%	1.0	52	9,725	63%	33.6	84
後志	702	4%	17.7	57	240	16%	6.1	83	462	3%	11.7	49
南空知	484	3%	15.0	53	30	2%	0.9	51	454	3%	14.1	53
中空知	348	2%	15.6	54	39	3%	1.8	56	309	2%	13.9	53
北空知	100	1%	13.4	51	0	0%	0	45	100	1%	13.4	52
西胆振	146	1%	4.4	37	30	2%	0.9	51	116	1%	3.5	36
東胆振	598	4%	21.6	63	172	12%	6.2	84	426	3%	15.4	55
日高	30	0%	2.6	35	0	0%	0	45	30	0%	2.6	35
上川中部	848	5%	13.5	51	133	9%	2.1	58	715	5%	11.4	49
上川北部	60	0%	4.7	38	30	2%	2.3	60	30	0%	2.3	34
富良野	126	1%	17.4	57	63	4%	8.7	100	63	0%	8.7	45
留萌	48	0%	5.0	38	0	0%	0	45	48	0%	5.0	39
宗谷	122	1%	11.3	48	36	2%	3.3	66	86	1%	8.0	43
北網	357	2%	9.9	46	44	3%	1.2	53	313	2%	8.7	45
遠紋	62	0%	4.6	38	0	0%	0	45	62	0%	4.6	38
十勝	845	5%	16.5	55	171	12%	3.3	66	674	4%	13.2	52
釧路	253	1%	7.3	42	0	0%	0	45	253	2%	7.3	42
根室	40	0%	3.9	37	0	0%	0	45	40	0%	3.9	37
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
北海道	7,601	4.7%	9.7	50	5,673	4.8%	7.2	50	1,928	4.6%	2.5	49
南渡島	570	7%	9.4	49	444	8%	7.3	51	125	6%	2.1	44
南檜山	38	1%	7.8	42	29	1%	5.8	44	10	0%	2.0	43
北渡島檜山	48	1%	6.4	36	45	1%	6.0	44	3	0%	0.5	25
札幌	2,930	39%	10.1	52	1,975	35%	6.8	48	955	50%	3.3	59
後志	534	7%	13.5	66	463	8%	11.7	71	71	4%	1.8	41
南空知	296	4%	9.2	48	250	4%	7.8	53	46	2%	1.4	37
中空知	238	3%	10.7	54	203	4%	9.1	59	34	2%	1.5	38
北空知	75	1%	10.1	51	66	1%	8.9	58	9	0%	1.2	33
西胆振	317	4%	9.6	49	257	5%	7.8	53	60	3%	1.8	41
東胆振	306	4%	11.1	56	258	5%	9.3	60	47	2%	1.7	40
日高	78	1%	6.8	38	52	1%	4.5	38	26	1%	2.3	47
上川中部	638	8%	10.2	52	478	8%	7.6	52	159	8%	2.5	50
上川北部	107	1%	8.4	44	92	2%	7.2	50	16	1%	1.2	34
富良野	58	1%	8.1	43	43	1%	6.0	45	15	1%	2.0	44
留萌	69	1%	7.2	39	52	1%	5.4	42	16	1%	1.7	40
宗谷	74	1%	6.9	38	54	1%	5.0	40	20	1%	1.9	42
北網	317	4%	8.8	46	215	4%	6.0	45	102	5%	2.8	53
遠紋	85	1%	6.3	36	61	1%	4.6	38	23	1%	1.7	40
十勝	467	6%	9.2	47	379	7%	7.4	51	88	5%	1.7	40
釧路	272	4%	7.8	42	189	3%	5.5	42	83	4%	2.4	48
根室	85	1%	8.4	44	66	1%	6.5	47	19	1%	1.9	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 1-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
北海道	71,604	4.8%	91	51	60,959	4.8%	78	51	10,644	4.8%	13.6	50
南渡島	5,957	8%	98	57	5,101	8%	84	57	856	8%	14.2	51
南檜山	521	1%	106	63	470	1%	96	67	51	0%	10.4	44
北渡島檜山	570	1%	76	39	530	1%	71	45	39	0%	5.3	35
札幌	25,335	35%	88	48	21,318	35%	74	48	4,017	38%	13.9	51
後志	3,729	5%	94	53	3,285	5%	83	56	444	4%	11.2	46
南空知	2,932	4%	91	51	2,744	5%	85	57	189	2%	5.8	36
中空知	1,712	2%	77	39	1,586	3%	71	45	126	1%	5.6	36
北空知	630	1%	85	46	596	1%	80	53	34	0%	4.5	34
西胆振	2,682	4%	81	43	2,475	4%	75	49	207	2%	6.2	37
東胆振	2,736	4%	99	57	2,328	4%	84	57	408	4%	14.8	52
日高	956	1%	83	44	828	1%	72	46	129	1%	11.2	46
上川中部	6,596	9%	105	62	4,773	8%	76	50	1,823	17%	29.0	78
上川北部	992	1%	77	40	895	1%	70	44	97	1%	7.6	39
富良野	723	1%	100	58	627	1%	87	59	96	1%	13.2	49
留萌	842	1%	88	48	678	1%	71	45	164	2%	17.1	56
宗谷	927	1%	86	47	861	1%	80	53	66	1%	6.1	36
北網	3,358	5%	94	53	2,810	5%	78	52	548	5%	15.3	53
遠紋	983	1%	74	37	835	1%	63	38	148	1%	11.1	46
十勝	5,225	7%	102	60	4,678	8%	92	63	547	5%	10.7	45
釧路	3,414	5%	99	57	2,850	5%	82	55	565	5%	16.3	55
根室	783	1%	77	39	693	1%	68	43	90	1%	8.9	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-27 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
北海道	42,057	3.9%	54	46	17,933	4.4%	23	48	68,682	4.6%	88	49
南渡島	3,888	9%	64	50	954	5%	16	41	6,336	9%	105	54
南檜山	81	0%	16	34	101	1%	21	46	361	1%	73	44
北渡島檜山	182	0%	24	37	54	0%	7	33	299	0%	40	34
札幌	23,333	55%	81	55	9,355	52%	32	57	24,690	36%	85	48
後志	2,313	5%	58	48	909	5%	23	48	4,294	6%	109	56
南空知	1,275	3%	40	42	561	3%	17	43	1,729	3%	54	38
中空知	357	1%	16	34	370	2%	17	42	1,214	2%	55	38
北空知	38	0%	5	30	39	0%	5	32	268	0%	36	32
西胆振	472	1%	14	33	494	3%	15	41	2,101	3%	63	41
東胆振	486	1%	18	34	476	3%	17	43	3,067	4%	111	56
日高	737	2%	64	50	193	1%	17	42	921	1%	80	47
上川中部	3,416	8%	54	46	1,074	6%	17	43	7,609	11%	121	60
上川北部	91	0%	7	31	136	1%	11	37	604	1%	47	36
富良野	277	1%	38	41	119	1%	16	42	419	1%	58	39
留萌	551	1%	57	47	165	1%	17	43	1,038	2%	108	56
宗谷	188	0%	17	34	233	1%	22	47	819	1%	76	45
北網	925	2%	26	37	885	5%	25	50	3,832	6%	107	55
遠紋	200	0%	15	34	209	1%	16	41	1,043	2%	78	46
十勝	1,748	4%	34	40	801	4%	16	41	3,819	6%	75	45
釧路	1,323	3%	38	41	636	4%	18	44	3,581	5%	103	54
根室	176	0%	17	34	169	1%	17	42	638	1%	63	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 1-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
北海道		5,627,737	5,361,296	-5%	4,959,984	-12%	11%	4%	15%
南渡島	地方都市型	422,301	379,930	-10%	333,448	-21%	4%	-3%	1%
南檜山	過疎地域型	29,782	23,667	-21%	19,126	-36%	-6%	-10%	-16%
北渡島檜山	過疎地域型	44,348	37,902	-15%	32,222	-27%	-4%	-7%	-11%
札幌	大都市型	2,310,015	2,357,202	2%	2,293,364	-1%	20%	11%	34%
後志	地方都市型	250,066	215,919	-14%	183,571	-27%	-1%	-7%	-8%
南空知	過疎地域型	195,267	169,444	-13%	144,999	-26%	1%	-5%	-4%
中空知	過疎地域型	129,174	109,076	-16%	91,602	-29%	-2%	-7%	-9%
北空知	過疎地域型	39,201	32,731	-17%	27,113	-31%	-1%	-8%	-9%
西胆振	地方都市型	208,160	190,888	-8%	170,061	-18%	6%	-3%	3%
東胆振	地方都市型	218,479	211,219	-3%	197,344	-10%	11%	5%	17%
日高	過疎地域型	81,407	70,100	-14%	60,568	-26%	-2%	-5%	-6%
上川中部	地方都市型	413,468	389,605	-6%	353,914	-14%	12%	2%	15%
上川北部	過疎地域型	76,063	67,399	-11%	59,011	-22%	0%	-6%	-5%
富良野	過疎地域型	47,901	43,516	-9%	39,081	-18%	3%	-3%	0%
留萌	過疎地域型	58,710	48,440	-17%	40,151	-32%	-3%	-8%	-11%
宗谷	過疎地域型	78,452	68,709	-12%	59,908	-24%	0%	-3%	-3%
北網	地方都市型	242,732	223,983	-8%	202,032	-17%	8%	1%	9%
遠紋	過疎地域型	82,117	70,834	-14%	60,635	-26%	-1%	-6%	-7%
十勝	地方都市型	354,146	340,540	-4%	317,110	-10%	11%	4%	15%
釧路	地方都市型	261,891	232,971	-11%	204,457	-22%	5%	-1%	4%
根室	過疎地域型	84,057	77,221	-8%	70,267	-16%	5%	1%	7%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
北海道	627	11.1	60	569	10.6	59	-58	-9%	509
南渡島	41	9.7	57	36	9.5	57	-5	-12%	31
南檜山	5	16.8	75	5	21.1	85	0	0%	5
北渡島檜山	8	18.0	78	7	18.5	79	-1	-13%	6
札幌	252	10.9	60	238	10.1	58	-14	-6%	223
後志	31	12.4	64	24	11.1	61	-7	-23%	16
南空知	23	11.8	62	19	11.2	61	-4	-17%	15
中空知	17	13.2	66	17	15.6	72	0	0%	17
北空知	6	15.3	71	5	15.3	71	-1	-17%	4
西胆振	24	11.5	61	21	11.0	60	-3	-13%	18
東胆振	20	9.2	55	16	7.6	52	-4	-20%	12
日高	10	12.3	63	8	11.4	61	-2	-20%	6
上川中部	46	11.1	60	43	11.0	61	-3	-7%	40
上川北部	8	10.5	59	8	11.9	63	0	0%	8
富良野	5	10.4	59	5	11.5	62	0	0%	5
留萌	8	13.6	67	7	14.5	69	-1	-13%	6
宗谷	11	14.0	68	9	13.1	66	-2	-18%	7
北網	27	11.1	60	26	11.6	62	-1	-4%	25
遠紋	15	18.3	79	13	18.4	78	-2	-13%	11
十勝	36	10.2	58	33	9.7	57	-3	-8%	30
釧路	25	9.5	56	22	9.4	57	-3	-12%	19
根室	9	10.7	59	7	9.1	56	-2	-22%	5
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 1-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
北海道	3,364	60	42	3,377	63	42	13	0%	3,394
南渡島	314	74	49	291	77	49	-23	-7%	266
南檜山	16	54	39	14	59	40	-2	-13%	12
北渡島檜山	18	41	32	16	42	31	-2	-11%	14
札幌	1,427	62	43	1,539	65	43	112	8%	1,662
後志	186	74	49	161	75	48	-25	-13%	134
南空知	104	53	39	106	63	41	2	2%	108
中空知	73	57	40	61	56	38	-12	-16%	48
北空知	26	66	45	23	70	45	-3	-12%	20
西胆振	116	56	40	113	59	40	-3	-3%	110
東胆振	124	57	40	112	53	37	-12	-10%	99
日高	45	55	40	46	66	43	1	2%	47
上川中部	291	70	47	274	70	45	-17	-6%	255
上川北部	38	50	37	40	59	40	2	5%	42
富良野	27	56	40	25	57	39	-2	-7%	23
留萌	33	56	40	38	78	50	5	15%	44
宗谷	48	61	43	42	61	41	-6	-13%	35
北網	92	38	31	107	48	34	15	16%	124
遠紋	33	40	32	28	40	30	-5	-15%	23
十勝	211	60	42	206	60	40	-5	-2%	201
釧路	117	45	34	110	47	34	-7	-6%	102
根室	25	30	27	25	32	26	0	0%	25
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
北海道	12,201	217	51	12,987	242	50	786	6%	13,850
南渡島	877	208	50	878	231	49	1	0%	879
南檜山	38	128	40	31	131	38	-7	-18%	23
北渡島檜山	68	153	43	51	135	39	-17	-25%	32
札幌	6,089	264	56	6,982	296	55	893	15%	7,964
後志	486	194	48	432	200	45	-54	-11%	373
南空知	319	163	44	290	171	42	-29	-9%	258
中空知	243	188	47	254	233	49	11	5%	266
北空知	72	184	47	66	202	46	-6	-8%	59
西胆振	493	237	53	441	231	49	-52	-11%	384
東胆振	330	151	43	346	164	42	16	5%	364
日高	98	120	39	79	113	36	-19	-19%	58
上川中部	1,238	299	60	1,312	337	59	74	6%	1,393
上川北部	115	151	43	119	177	43	4	3%	123
富良野	62	129	40	56	129	38	-6	-10%	49
留萌	77	131	40	70	145	40	-7	-9%	62
宗谷	82	105	37	68	99	35	-14	-17%	53
北網	346	143	42	332	148	40	-14	-4%	317
遠紋	124	151	43	96	136	39	-28	-23%	65
十勝	532	150	43	591	174	43	59	11%	656
釧路	427	163	44	410	176	43	-17	-4%	391
根室	85	101	37	83	107	36	-2	-2%	81
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 1-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
北海道	116,436	207	62	103,524	193	61	-12,912	-11%	89,321
南渡島	9,132	216	63	7,925	209	63	-1,207	-13%	6,597
南檜山	529	178	56	502	212	64	-27	-5%	472
北渡島檜山	1,204	271	73	1,093	288	78	-111	-9%	971
札幌	47,267	205	61	44,635	189	60	-2,632	-6%	41,740
後志	6,307	252	70	4,867	225	66	-1,440	-23%	3,283
南空知	4,295	220	64	3,242	191	60	-1,053	-25%	2,084
中空知	3,756	291	77	3,302	303	80	-454	-12%	2,803
北空知	1,421	362	89	1,186	362	91	-235	-17%	928
西胆振	6,037	290	76	5,444	285	77	-593	-10%	4,792
東胆振	3,788	173	56	3,110	147	53	-678	-18%	2,364
日高	1,346	165	54	998	142	52	-348	-26%	615
上川中部	9,281	224	65	8,279	212	64	-1,002	-11%	7,177
上川北部	1,366	180	57	1,080	160	55	-286	-21%	765
富良野	772	161	53	694	159	55	-78	-10%	608
留萌	830	141	50	871	180	58	41	5%	916
宗谷	1,023	130	48	879	128	49	-144	-14%	721
北網	4,410	182	57	3,814	170	57	-596	-14%	3,158
遠紋	1,720	209	62	1,334	188	60	-386	-22%	909
十勝	6,137	173	56	5,237	154	54	-900	-15%	4,247
釧路	4,700	179	57	4,196	180	58	-504	-11%	3,642
根室	1,115	133	48	836	108	46	-279	-25%	529
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

1. 北海道（2016年版）

資_図表 1-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
北海道	63,648	113	60	59,375	111	62	-4,273	-7%	54,676	110
南渡島	5,465	129	66	4,809	127	68	-656	-12%	4,087	123
南檜山	346	116	62	324	137	71	-22	-6%	300	157
北渡島檜山	712	161	77	627	165	82	-85	-12%	534	166
札幌	25,659	111	60	26,480	112	62	821	3%	27,383	119
後志	3,127	125	65	2,278	106	60	-849	-27%	1,344	73
南空知	2,345	120	63	1,645	97	57	-700	-30%	875	60
中空知	1,500	116	61	1,216	111	62	-284	-19%	904	99
北空知	430	110	59	266	81	51	-164	-38%	86	32
西胆振	2,337	112	60	2,122	111	62	-215	-9%	1,886	111
東胆振	1,938	89	52	1,734	82	51	-204	-11%	1,510	77
日高	709	87	51	455	65	45	-254	-36%	176	29
上川中部	5,609	136	68	5,182	133	70	-427	-8%	4,712	133
上川北部	797	105	57	718	107	60	-79	-10%	631	107
富良野	476	99	56	380	87	53	-96	-20%	274	70
留萌	565	96	54	528	109	61	-37	-7%	487	121
宗谷	672	86	51	586	85	52	-86	-13%	491	82
北網	2,670	110	59	2,515	112	62	-155	-6%	2,345	116
遠紋	1,004	122	64	727	103	59	-277	-28%	422	70
十勝	3,712	105	57	3,644	107	60	-68	-2%	3,569	113
釧路	2,947	113	60	2,662	114	63	-285	-10%	2,349	115
根室	628	75	47	477	62	44	-151	-24%	311	44
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 1-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
北海道	30,622	56	64	23,328	30	58	-7,294	-24%	15,306	15
南渡島	1,897	41	55	1,278	21	50	-619	-33%	597	8
南檜山	129	31	50	126	26	54	-3	-2%	123	24
北渡島檜山	392	61	66	362	48	74	-30	-8%	329	42
札幌	12,951	74	74	9,559	33	61	-3,392	-26%	5,828	14
後志	1,600	49	59	1,198	30	58	-402	-25%	756	17
南空知	888	36	52	745	23	52	-143	-16%	588	16
中空知	929	52	61	851	38	65	-78	-8%	765	31
北空知	459	77	75	407	55	79	-52	-11%	350	43
西胆振	2,011	82	78	1,750	53	78	-261	-13%	1,463	37
東胆振	1,020	53	62	629	23	52	-391	-38%	199	5
日高	351	38	53	261	23	52	-90	-26%	162	13
上川中部	2,272	53	62	1,860	30	58	-412	-18%	1,407	17
上川北部	400	39	54	303	24	53	-97	-24%	196	14
富良野	172	32	50	140	19	49	-32	-19%	105	13
留萌	151	20	43	240	25	54	89	59%	338	32
宗谷	247	29	48	189	18	47	-58	-23%	125	10
北網	1,134	45	57	772	21	51	-362	-32%	374	8
遠紋	525	50	60	468	35	62	-57	-11%	405	28
十勝	1,665	47	59	1,062	21	50	-603	-36%	399	6
釧路	1,167	49	59	989	29	57	-178	-15%	793	19
根室	262	36	52	139	14	44	-123	-47%	4	0
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

1. 北海道（2016年版）

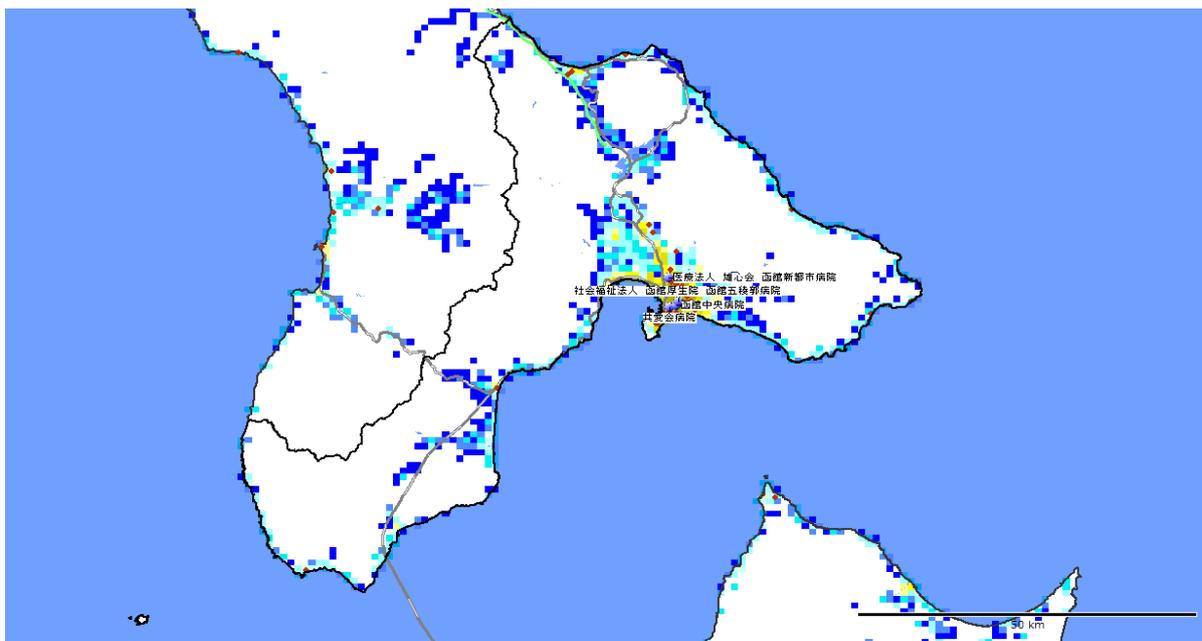
資_図表 1-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
北海道	366	59	1.089	158	61	1.221	183	53	1.005
南渡島	381	63	1.122	160	62	1.221	198	62	1.078
南檜山	383	63	1.079	169	65	1.233	188	56	0.983
北渡島檜山	405	68	1.214	210	79	1.629	173	48	0.960
札幌	361	58	1.093	158	61	1.242	176	50	0.988
後志	424	73	1.194	202	76	1.467	196	61	1.020
南空知	398	67	1.139	171	66	1.266	201	64	1.064
中空知	439	77	1.185	210	79	1.466	204	66	1.018
北空知	394	66	1.099	175	67	1.262	190	58	0.980
西胆振	434	75	1.170	206	78	1.443	202	65	1.006
東胆振	360	58	1.061	150	58	1.150	186	55	1.012
日高	325	49	1.034	137	54	1.129	166	43	0.979
上川中部	375	61	1.081	158	61	1.184	192	59	1.026
上川北部	385	64	1.078	161	62	1.164	200	63	1.034
富良野	335	52	1.012	143	56	1.121	168	45	0.941
留萌	428	74	1.184	190	72	1.363	217	74	1.112
宗谷	333	51	1.018	141	55	1.119	168	44	0.949
北網	334	52	1.016	132	52	1.040	180	52	1.012
遠紋	338	52	1.012	152	59	1.181	164	42	0.907
十勝	326	50	1.010	125	49	1.003	175	49	1.003
釧路	357	57	1.046	149	58	1.133	182	53	0.987
根室	281	39	0.965	121	48	1.082	138	27	0.879
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

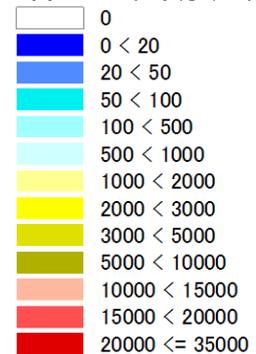
1-1. みなみおしま 南渡島医療圏

構成市区町村¹⁰ [函館市](#) [北斗市](#) [松前町](#) [福島町](#)
[知内町](#) [木古内町](#) [七飯町](#) [鹿部町](#)
[森町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(南渡島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南渡島(函館市)は、総人口約380千人(2015年推計)、面積2670km²、人口密度は142人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南渡島の総人口は2025年に333千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に260千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて72千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には65千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南渡島の一人当たり医療費(国保)は376千円(偏差値64)、介護給付費は258千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南渡島の一人当たり急性期医療密度指数²は1.77、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.29で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数49、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。南渡島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の函館中央病院(Ⅲ群)、函館五稜郭病院(Ⅲ群)、1000例以上の市立函館病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南渡島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7587人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3547床(偏差値49)、高齢者住宅等が4040床(偏差値68)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5101人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム53、軽費ホーム62、グループホーム63、サ高住72である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、856人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰みみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南渡島医療圏の総人口は、2005年422301人が、2015年に379930人と10%減少し、2025年の人口が333448人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

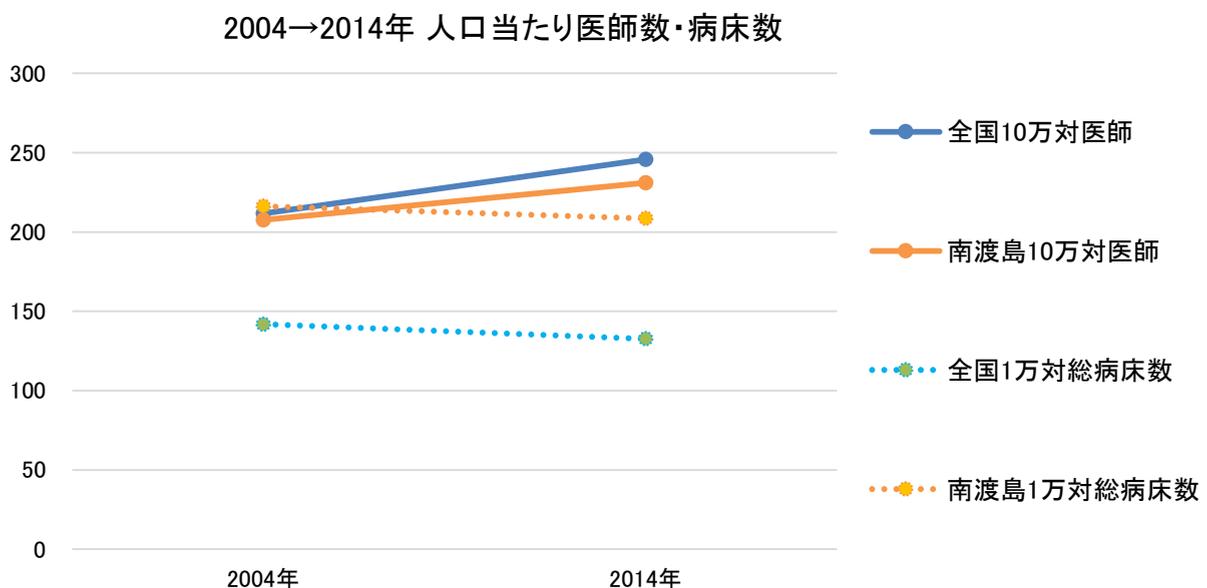
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に36(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が314(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に291(人口10万人当たり77診療所(全国平均79)偏差値49)と、23診療所が減少した。

2004年の総病床数が9132床(人口1万人当たり216(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に7925床(人口1万人当たり209(全国平均133)偏差値63)と、1207床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

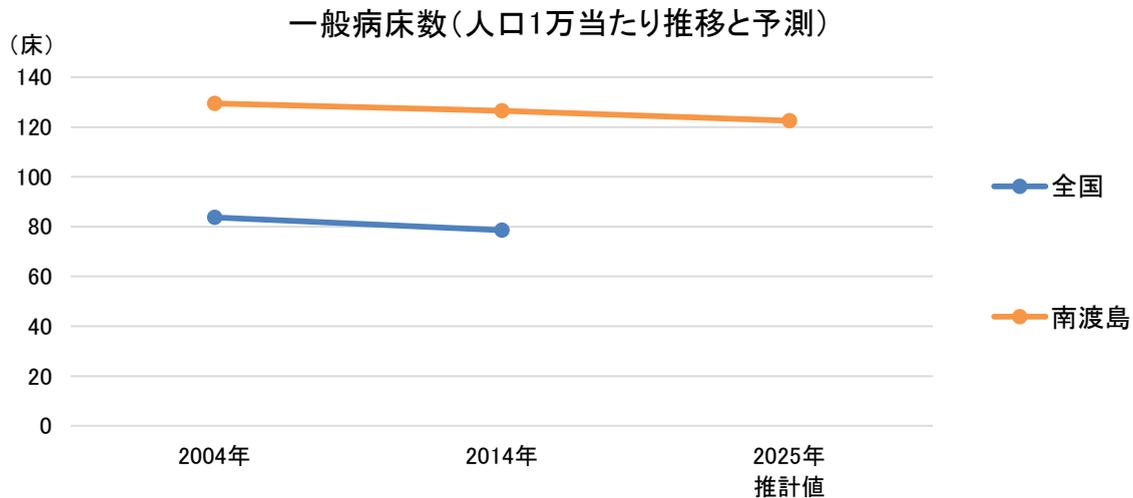
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が877人(人口10万人当たり208人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に878人(人口10万人当たり231人(全国平均246人)偏差値49)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

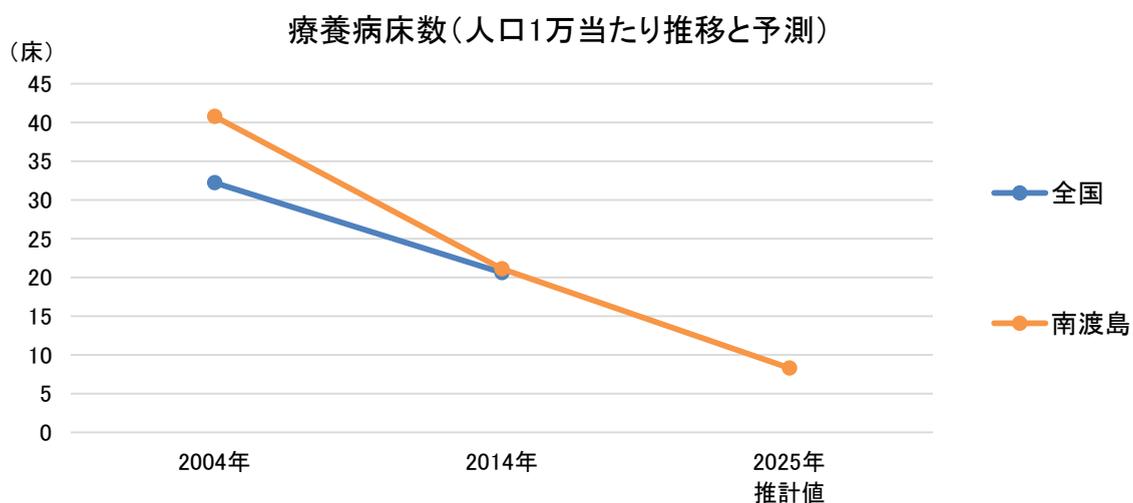
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5465床(人口1万人当たり129(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に4809床(人口1万人当たり127(全国平均79)偏差値68)と、656床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4087床(2025年の推計人口1万人当たり123)になることが予想される。



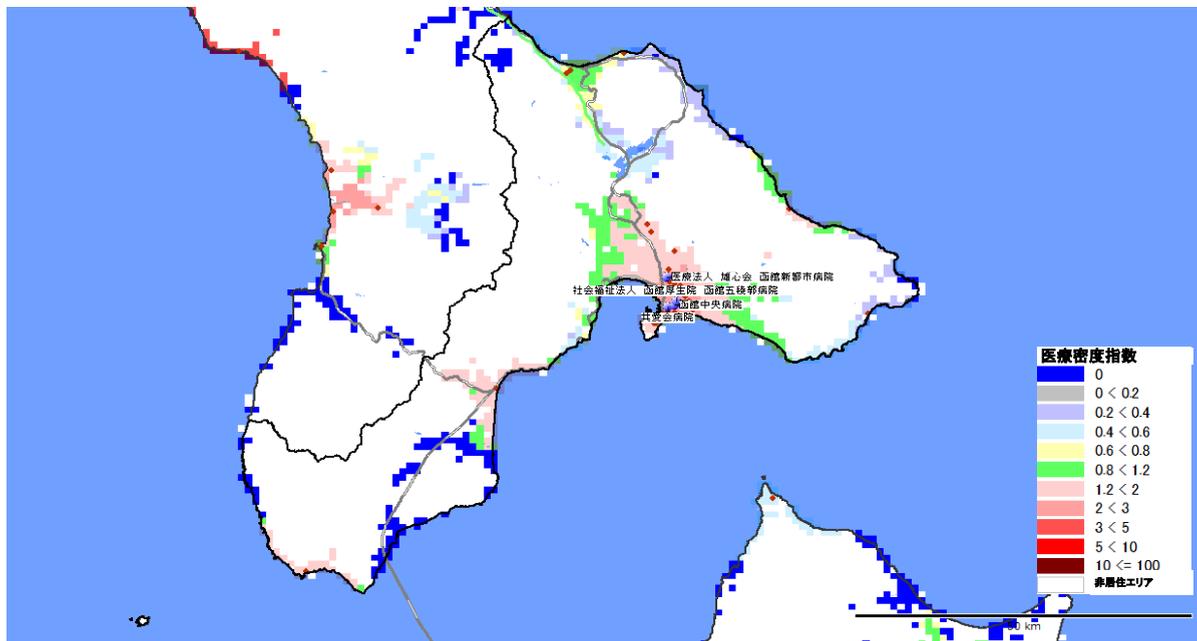
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1897床(75歳以上1000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に1278床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、619床の減少、率にして33%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には597床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

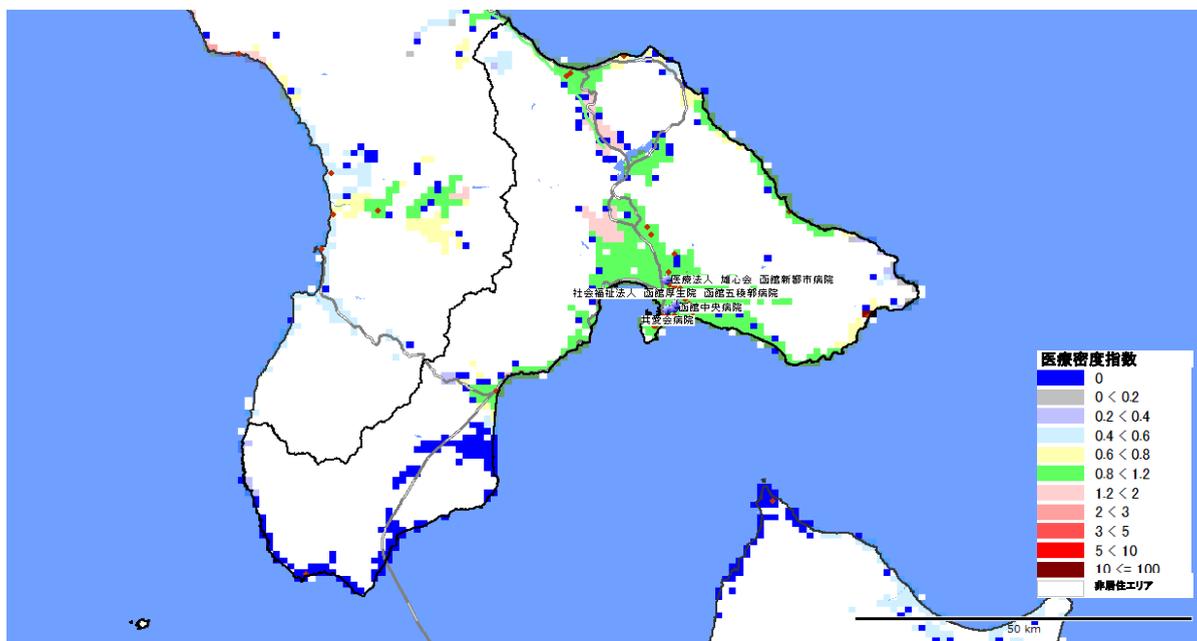


3. 医療密度⁵

図表1-1-1 急性期医療密度指数マップ



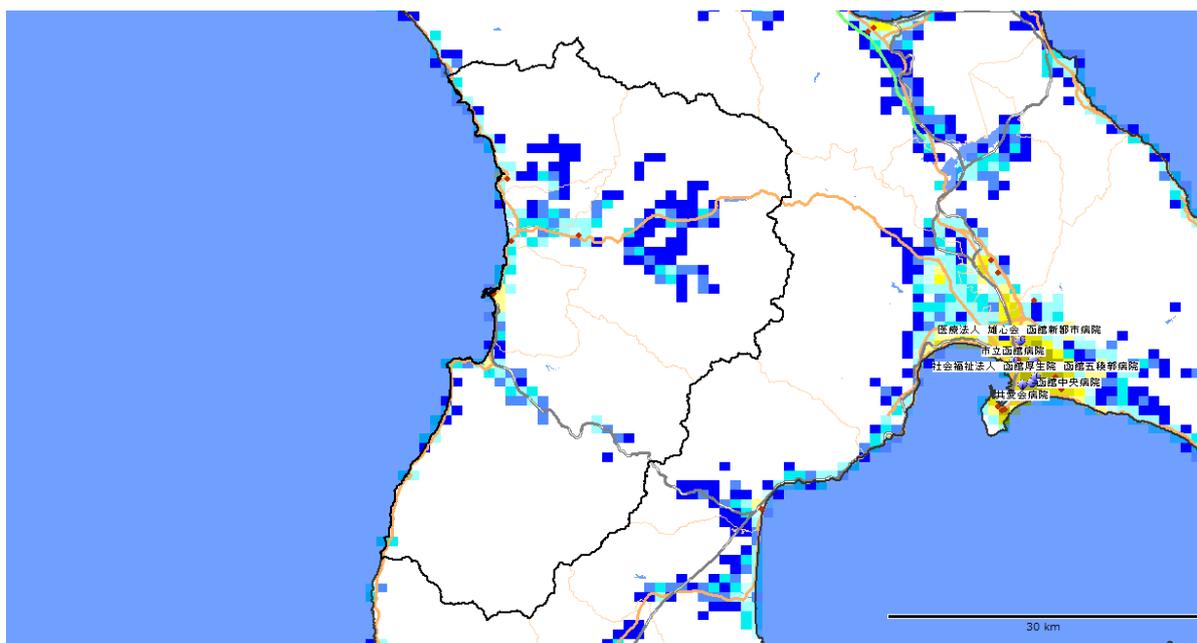
図表1-1-2 慢性期医療密度指数マップ



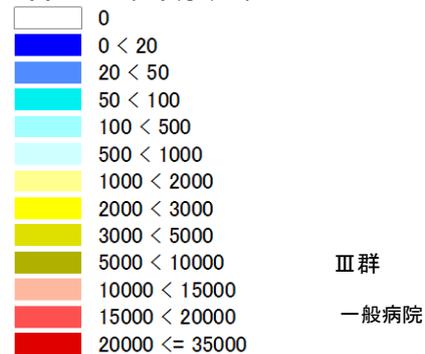
1-2. みなみひやま 南檜山医療圏

構成市区町村¹⁰ [江差町](#) [上ノ国町](#) [厚沢部町](#) [乙部町](#)
[奥尻町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



(南檜山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南檜山(檜山郡江差町)は、総人口約24千人(2015年推計)、面積1423km²、人口密度は17人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南檜山の総人口は2025年に19千人へと減少し(2015年比-21%)、2040年に13千人へと減少する(2025年比-32%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南檜山の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値61)、介護給付費は274千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南檜山の一人当たり急性期医療密度指数²は0.98、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数42、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。南檜山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値34と非常に少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南檜山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、538人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が399床(偏差値67)、高齢者住宅等が139床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、470人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム81、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム41、軽費ホーム63、グループホーム65、サ高住なし(偏差値31)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、51人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+34%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南檜山医療圏の総人口は、2005年29782人が、2015年に23667人と21%減少し、2025年の人口が19126人と予測され、2005年→2025年の間に36%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

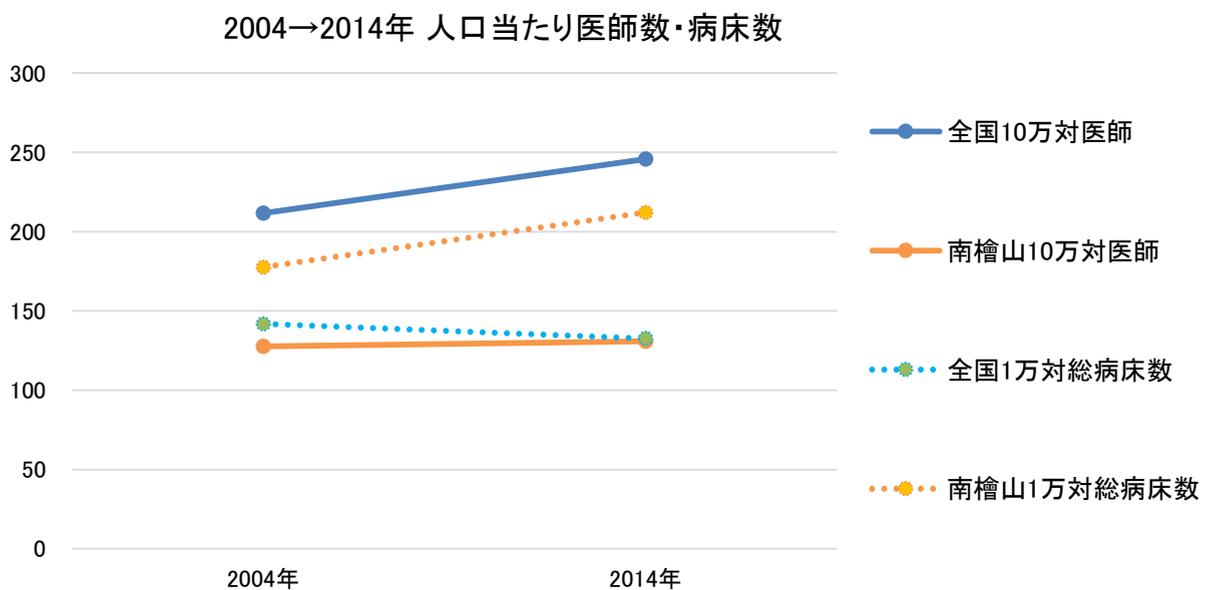
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり16.8病院(全国平均7.1)偏差値75)であったが、2014年に5(人口10万人当たり21.1病院(全国平均6.7)偏差値85)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が16(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に14(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値40)と、2診療所が減少した。

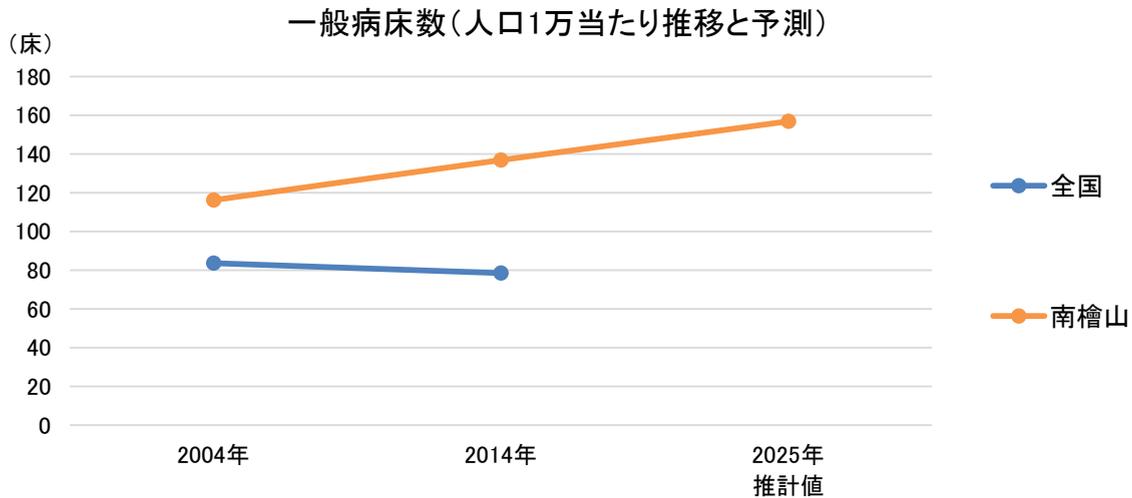
2004年の総病床数が529床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に502床(人口1万人当たり212(全国平均133)偏差値64)と、27床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が38人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に31人(人口10万人当たり131人(全国平均246人)偏差値38)と、7人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



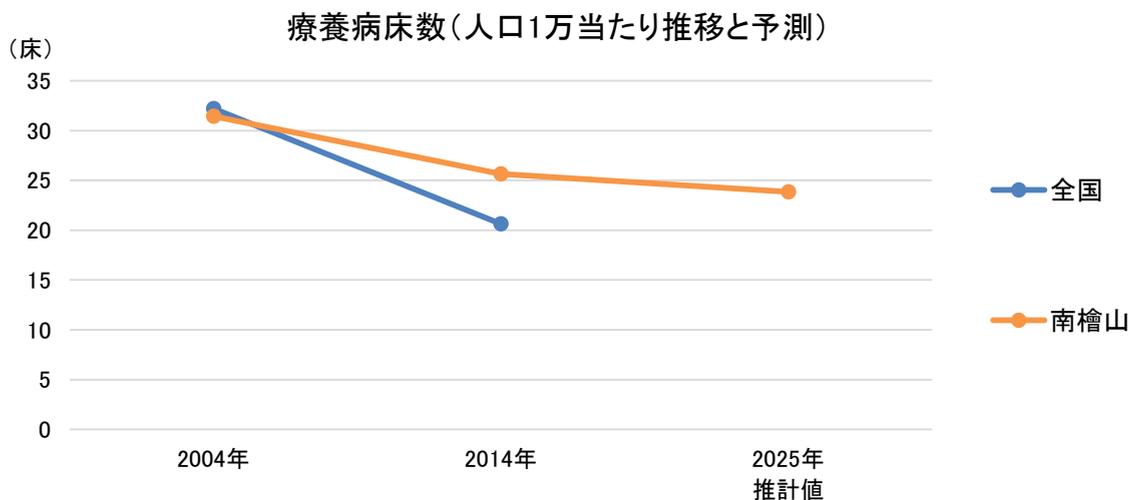
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が346床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に324床(人口1万人当たり137(全国平均79)偏差値71)と、22床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には300床(2025年の推計人口1万人当たり157)になることが予想される。



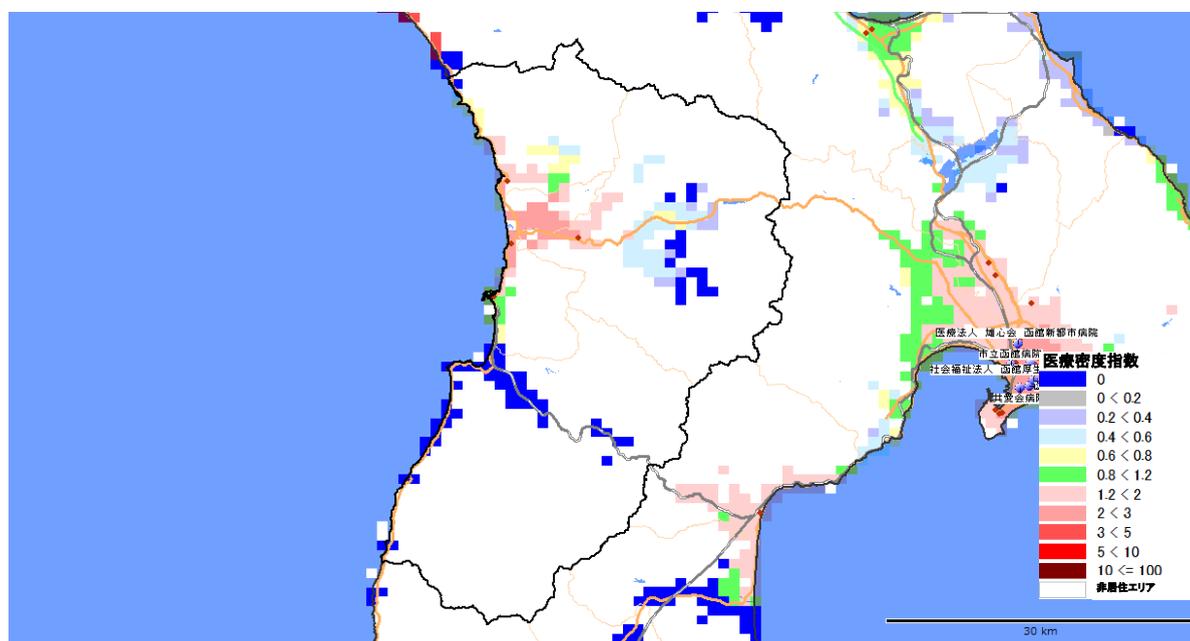
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が129床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に126床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値54)と、3床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には123床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

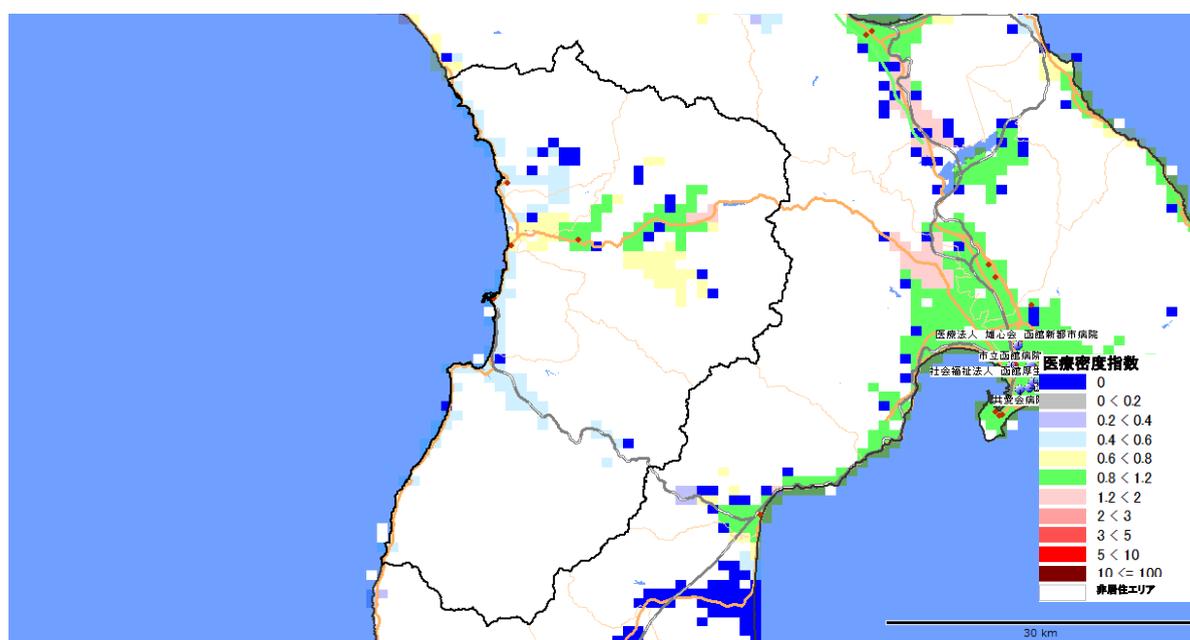


3. 医療密度⁵

図表1-2-1 急性期医療密度指数マップ



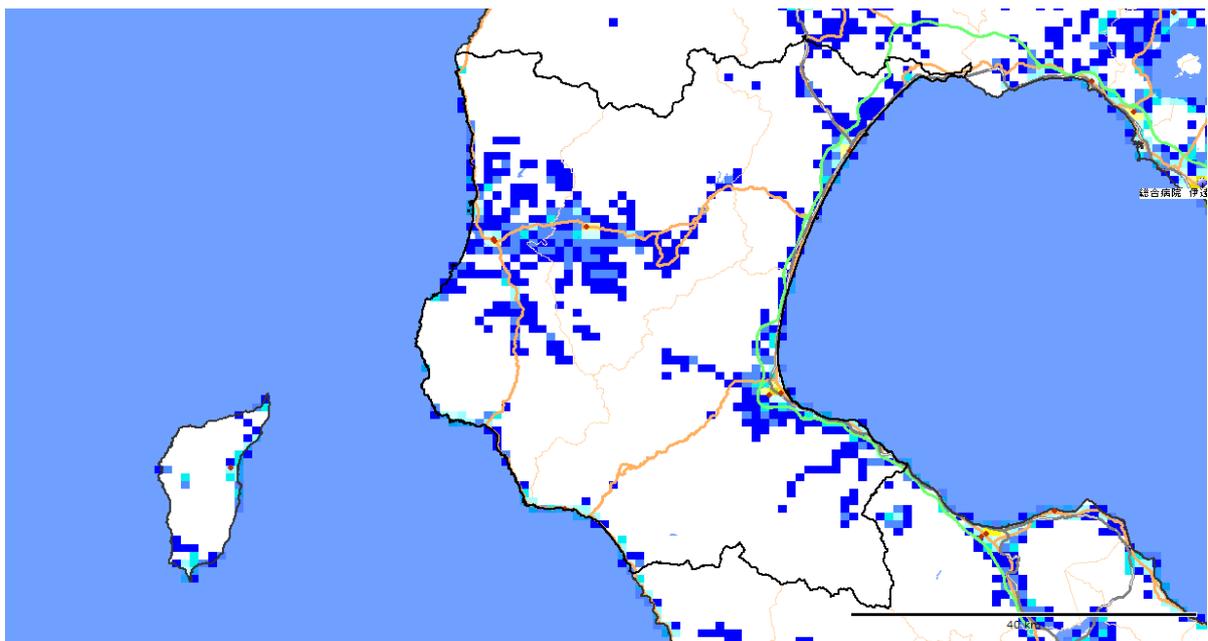
図表1-2-2 慢性期医療密度指数マップ



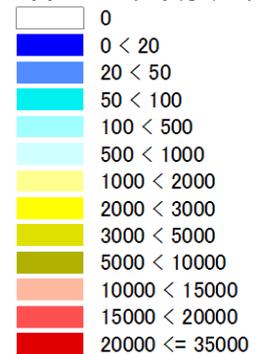
1-3. きたおしまひやま 北渡島檜山医療圏

構成市区町村¹⁰ [八雲町](#) [長万部町](#) [今金町](#) [せたな町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（北渡島檜山医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北渡島檜山(二海郡八雲町)は、総人口約38千人(2015年推計)、面積2474km²、人口密度は15人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北渡島檜山の総人口は2025年に32千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に25千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北渡島檜山の一人当たり医療費(国保)は399千円(偏差値70)、介護給付費は245千円(偏差値48)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北渡島檜山の一人当たり急性期医療密度指数²は1.43、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が40(病院医師数48、診療所医師数26)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は89で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。北渡島檜山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は83と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は31で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北渡島檜山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、785人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が562床(偏差値62)、高齢者住宅等が223床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、530人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム81、グループホーム64、サ高住35である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、39人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+26%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北渡島檜山医療圏の総人口は、2005年44348人が、2015年に37902人と15%減少し、2025年の人口が32222人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

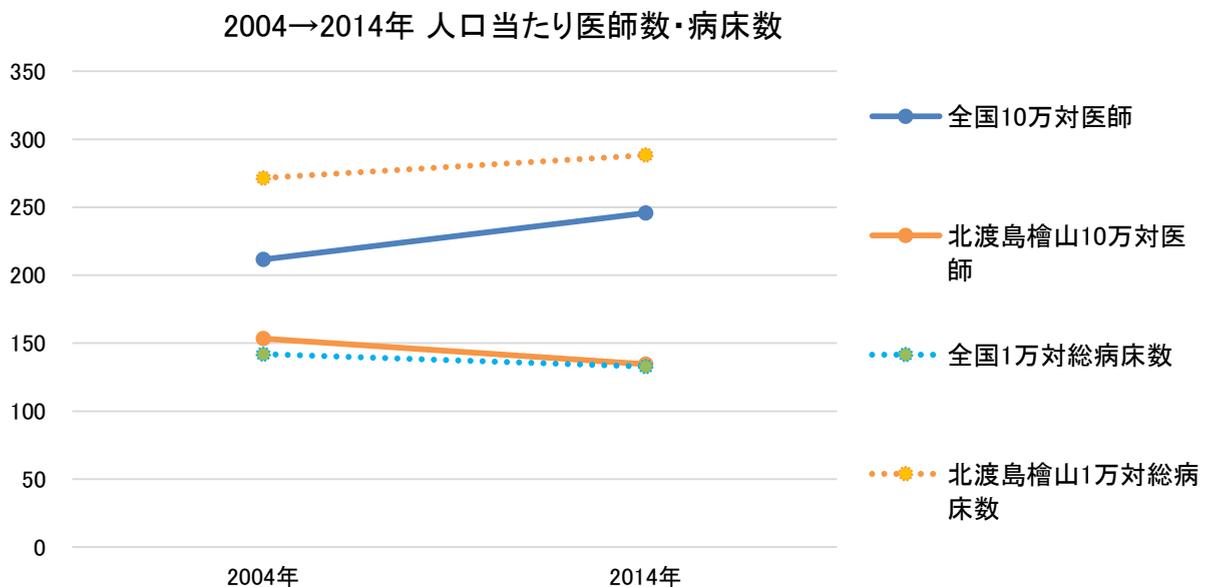
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり18病院(全国平均7.1)偏差値78)であったが、2014年に7(人口10万人当たり18.5病院(全国平均6.7)偏差値79)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が18(人口10万人当たり41診療所(全国平均76)偏差値32)であったが、2014年に16(人口10万人当たり42診療所(全国平均79)偏差値31)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1204床(人口1万人当たり271(全国平均142)偏差値73)であったが、2014年に1093床(人口1万人当たり288(全国平均133)偏差値78)と、111床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

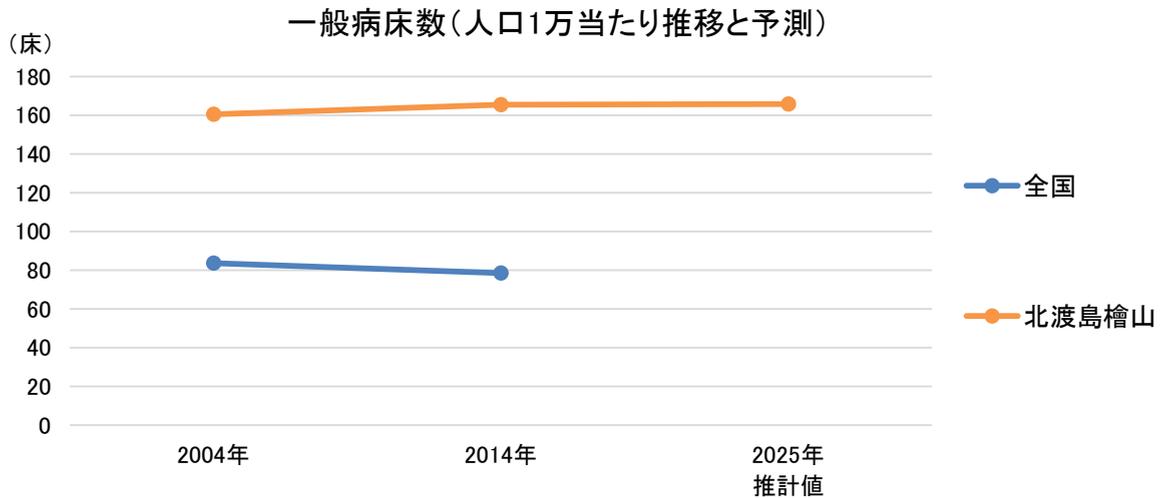
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が68人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に51人(人口10万人当たり135人(全国平均246人)偏差値39)と、17人の減少、率にして25%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

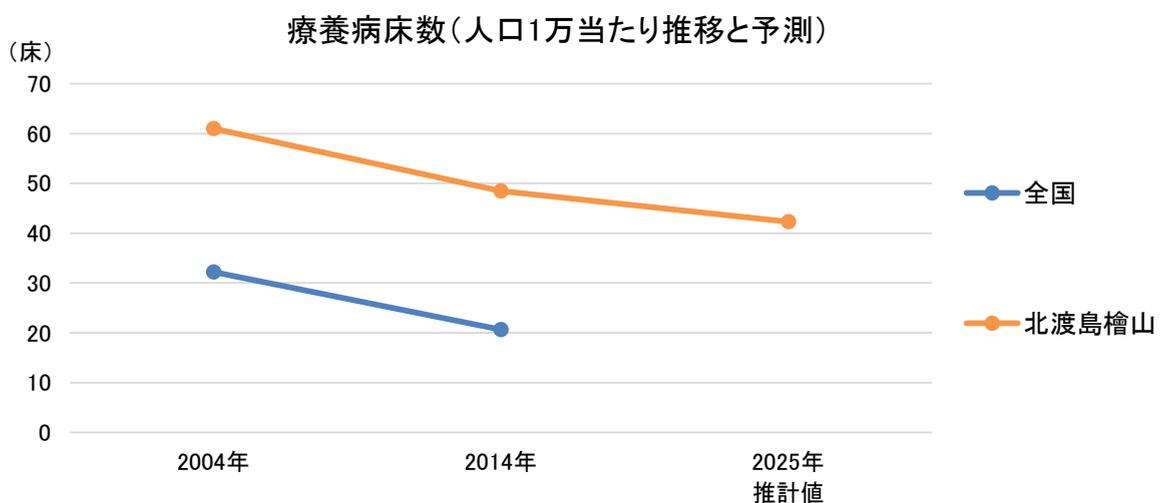
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が712床(人口1万人当たり161(全国平均84)偏差値77)であったが、2014年に627床(人口1万人当たり165(全国平均79)偏差値82)と、85床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には534床(2025年の推計人口1万人当たり166)になることが予想される。



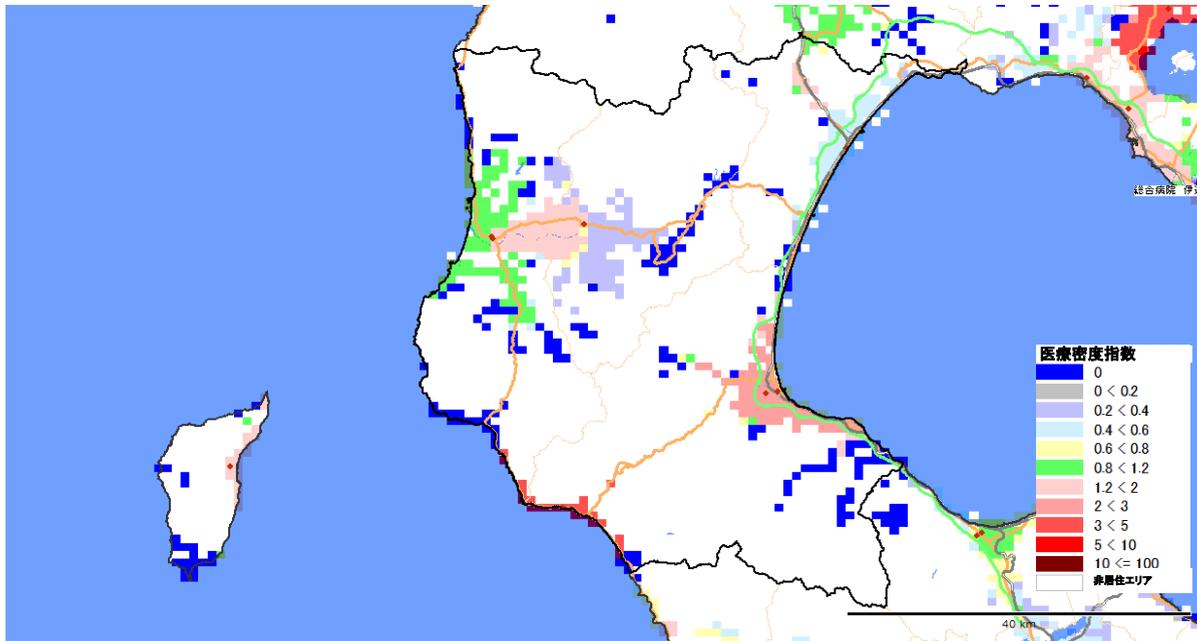
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が392床(75歳以上1000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に362床(75歳以上1000人当たり48(全国平均21)偏差値74)と、30床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には329床(2025年の推計75歳以上1000人当たり42)になることが予想される。

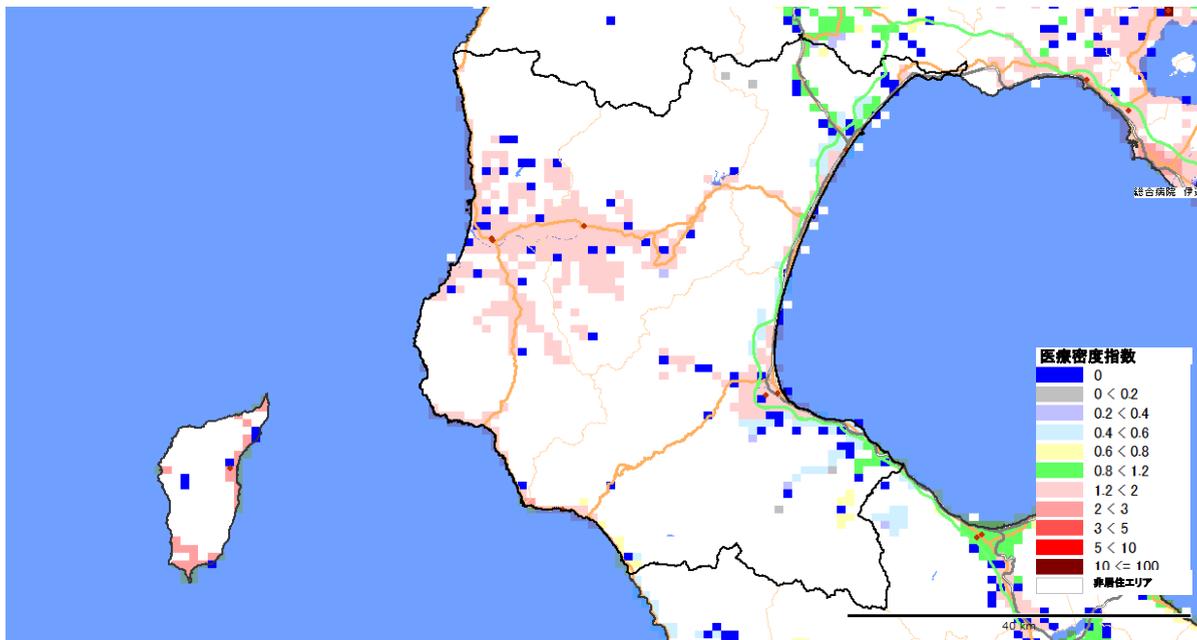


3. 医療密度⁵

図表1-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-3-2 慢性期医療密度指数マップ



1-4. さっぽろ 札幌医療圏

構成市区町村¹⁰

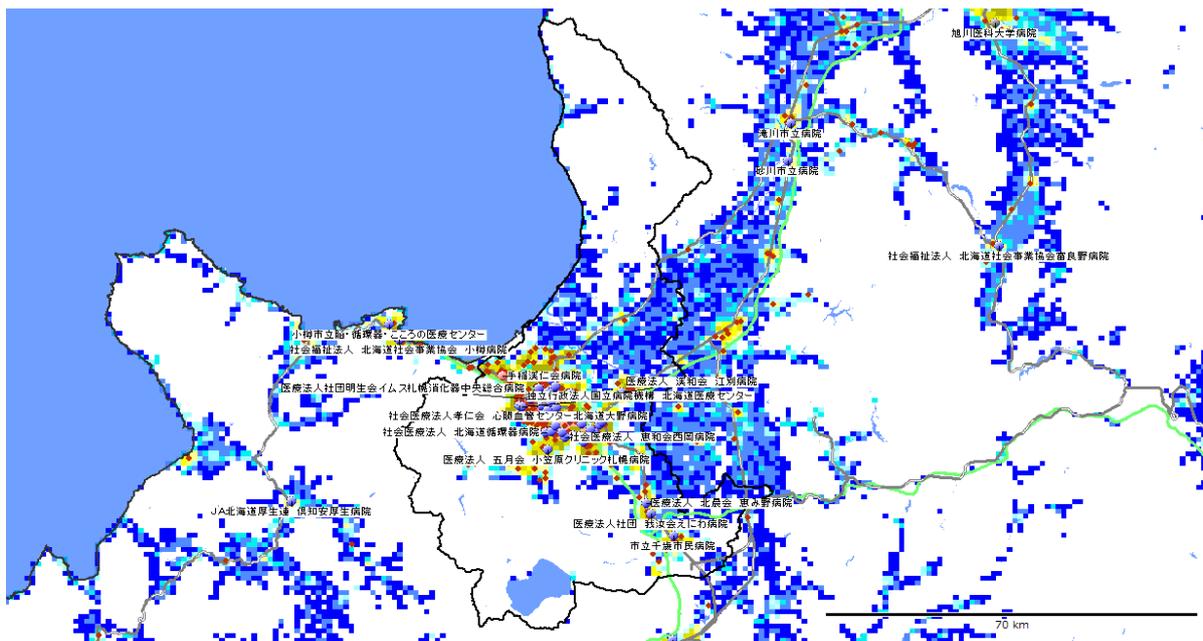
中央区
豊平区
手稲区
恵庭市
新篠津村

北区
南区
清田区
北広島市

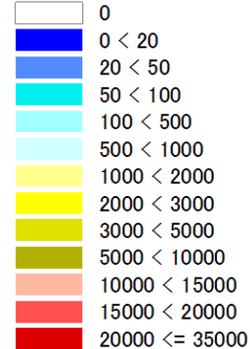
東区
西区
江別市
石狩市

白石区
厚別区
千歳市
当別町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(札幌医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：札幌(札幌市中央区)は、総人口約2357千人(2015年推計)、面積3540km²、人口密度は666人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：札幌の総人口は2025年に2293千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に2067千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の289千人が、2025年にかけて430千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には497千人へと増加する(2025年比+16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：札幌の一人当たり医療費(国保)は353千円(偏差値58)、介護給付費は229千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：札幌の一人当たり急性期医療密度指数²は1.36、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.63で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が53(病院医師数56、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は67と非常に多い。札幌には、年間全身麻酔件数が2000例以上の札幌徳洲会病院(Ⅲ群)、北海道整形外科記念病院(Ⅲ群)、恵佑会札幌病院(Ⅲ群)、市立札幌病院(Ⅲ群・救命)、札幌厚生病院(Ⅲ群)、N T T東日本札幌病院(Ⅲ群)、手稲溪仁会病院(Ⅱ群・救命)、北海道大学病院(I群)、札幌医科大学附属病院(I群・救命)、1000例以上の国立病院機構北海道がんセンター(Ⅲ群)、国立病院機構北海道医療センター(Ⅱ群・救命)、えにお病院(Ⅲ群)、JCHO札幌北辰病院(Ⅲ群)、K K R札幌医療センター(Ⅲ群)、勤医協中央病院(Ⅲ群)、天使病院(Ⅲ群)、札幌東徳洲会病院(Ⅲ群)、J R札幌病院(Ⅲ群)、斗南病院(Ⅲ群)、500例以上の江別市立病院(Ⅲ群)、時計台記念病院(Ⅲ群)、恵み野病院(Ⅲ群)、市立千歳市民病院(Ⅲ群)、小笠原クリニック札幌病院(Ⅲ群)、JCHO北海道病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：札幌の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、35815人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が14512床(偏差値42)、高齢者住宅等が21303床(偏差値73)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21318人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム55、軽費ホーム56、グループホーム61、サ高住82である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、4017人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測：2040年の介護充足度指数⁴は-58%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

札幌医療圏の総人口は、2005年2310015人が、2015年に2357202人と2%増加し、2025年の人口が2293364人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

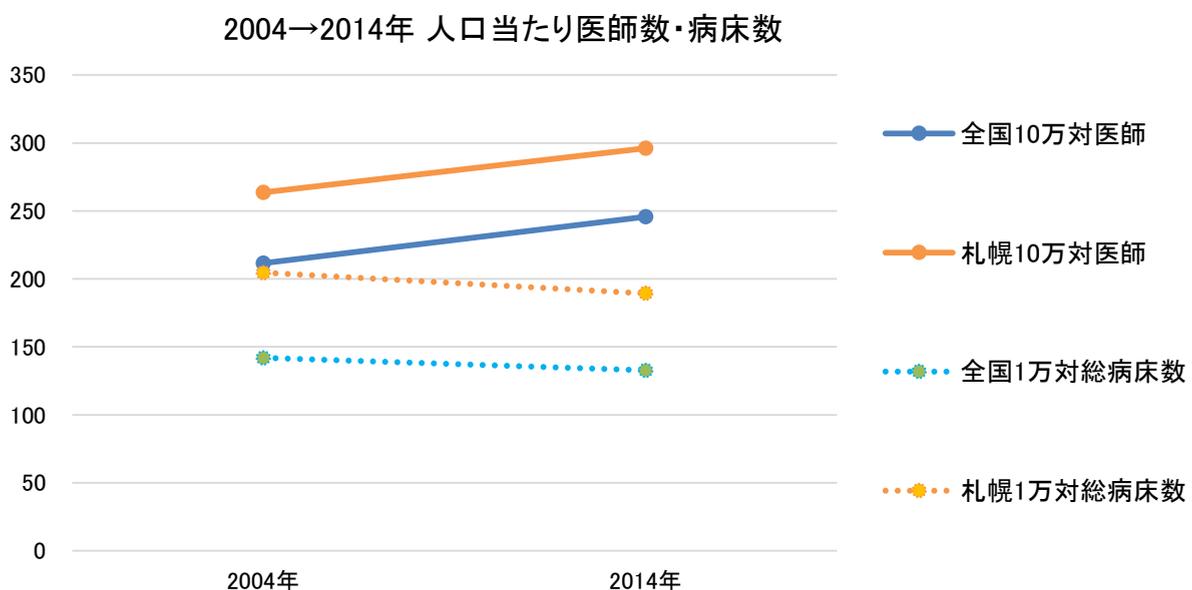
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が252(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に238(人口10万人当たり10.1病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が1427(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に1539(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値43)と、112診療所が増加した。

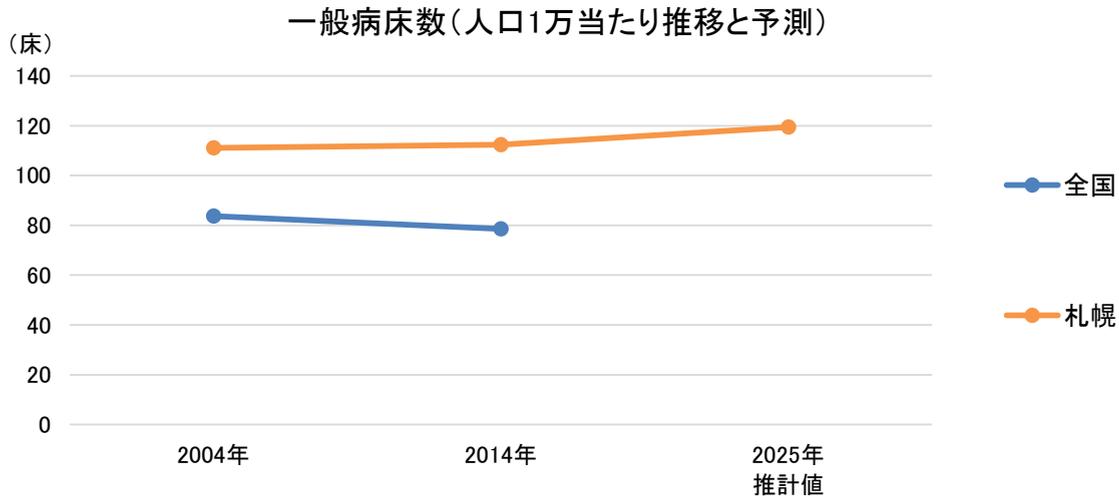
2004年の総病床数が47267床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に44635床(人口1万人当たり189(全国平均133)偏差値60)と、2632床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が6089人(人口10万人当たり264人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に6982人(人口10万人当たり296人(全国平均246人)偏差値55)と、893人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



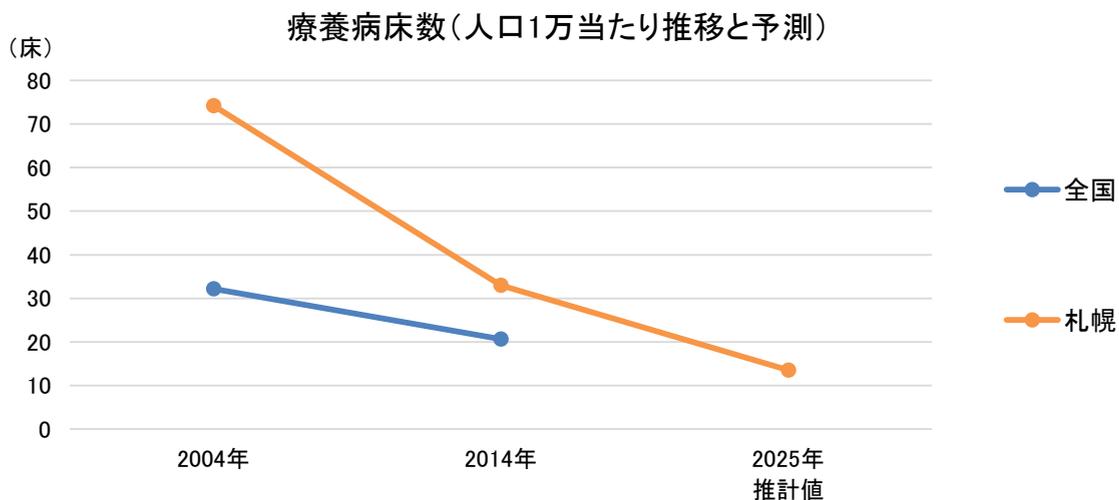
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が25659床(人口1万人当たり111(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に26480床(人口1万人当たり112(全国平均79)偏差値62)と、821床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には27383床(2025年の推計人口1万人当たり119)になることが予想される。



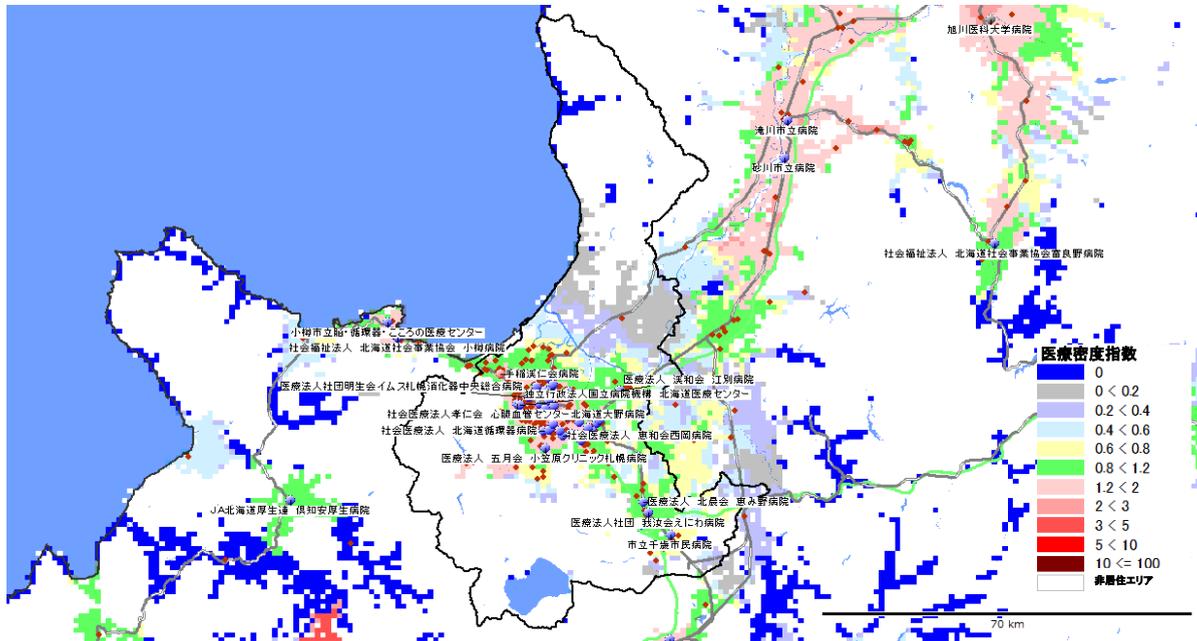
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12951床(75歳以上1000人当たり74(全国平均32)偏差値74)であったが、2014年に9559床(75歳以上1000人当たり33(全国平均21)偏差値61)と、3392床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5828床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

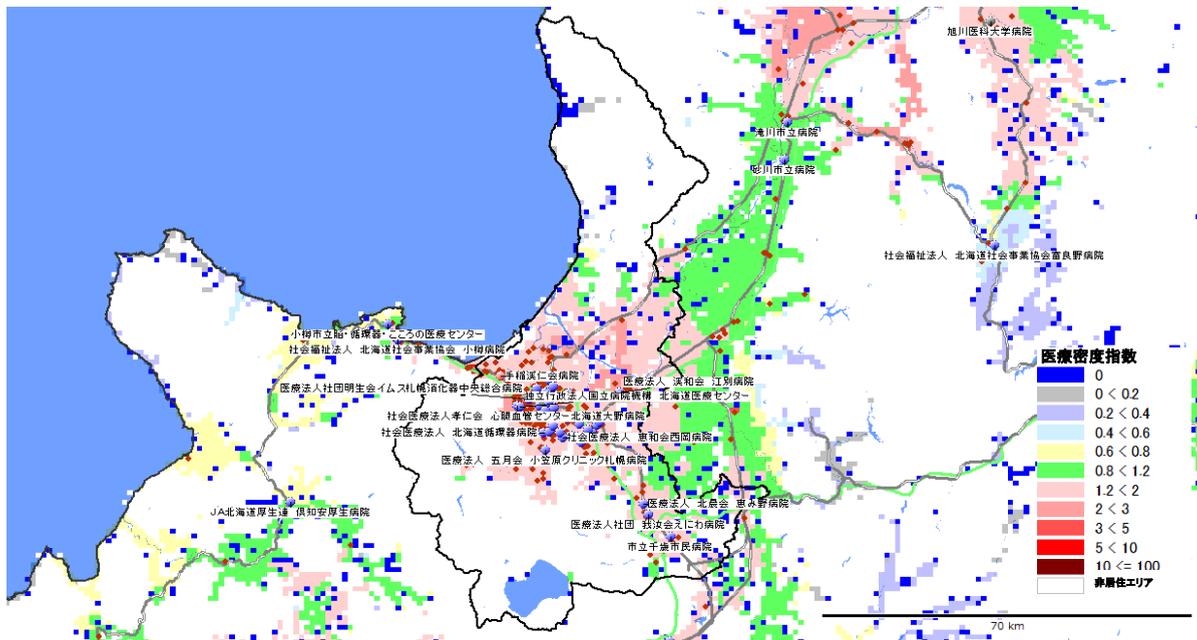


3. 医療密度⁵

図表1-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-4-2 慢性期医療密度指数マップ

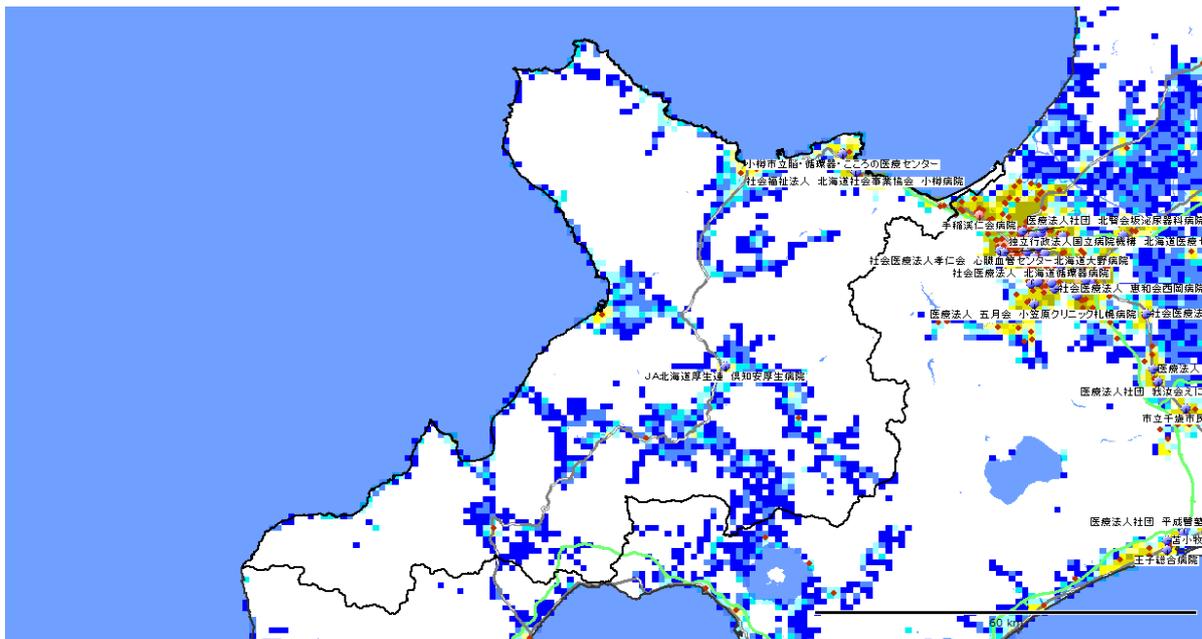


1-5. しりべし 後志医療圏

構成市区町村¹⁰

- | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 小樽市 | 島牧村 | 寿都町 | 黒松内町 |
| 蘭越町 | ニセコ町 | 真狩村 | 留寿都村 |
| 喜茂別町 | 京極町 | 倶知安町 | 共和町 |
| 岩内町 | 泊村 | 神恵内村 | 積丹町 |
| 古平町 | 仁木町 | 余市町 | 赤井川村 |

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（後志医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 後志(小樽市)は、総人口約216千人(2015年推計)、面積4306km²、人口密度は50人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 後志の総人口は2025年に184千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に137千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて44千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には37千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 後志の一人当たり医療費(国保)は412千円(偏差値73)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 後志の一人当たり急性期医療密度指数²は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。後志には、年間全身麻酔件数が500例以上の北海道社会事業協会小樽病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 後志の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4775人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2948床(偏差値62)、高齢者住宅等が1827床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3285人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム71、サ高住57である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、444人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+29%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

後志医療圏の総人口は、2005年250066人が、2015年に215919人と14%減少し、2025年の人口が183571人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

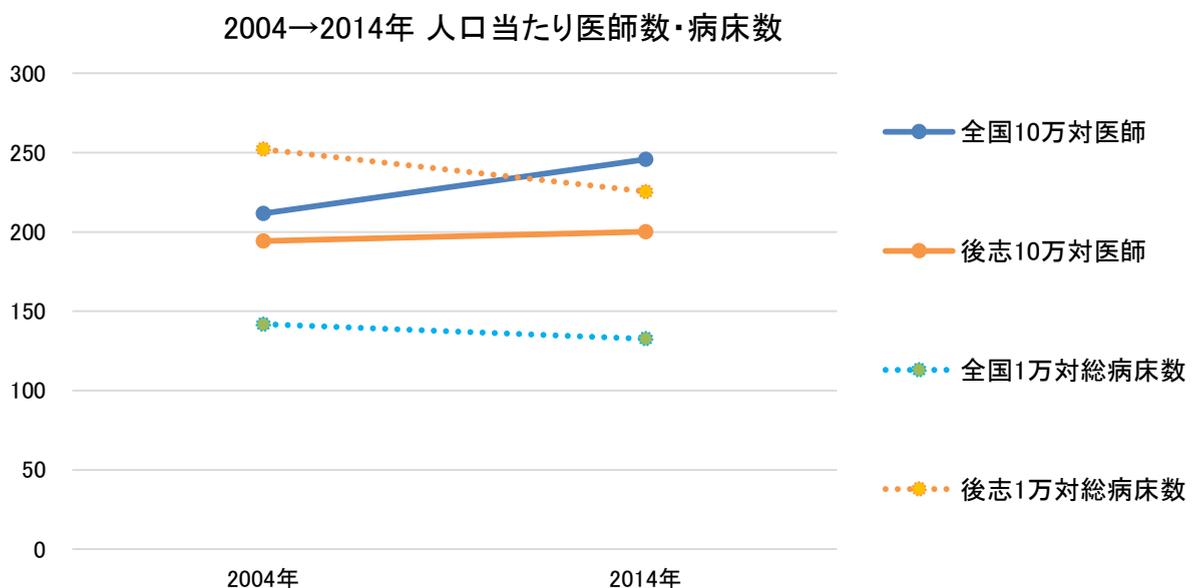
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が31(人口10万人当たり12.4病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2014年に24(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が186(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に161(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、25診療所が減少した。

2004年の総病床数が6307床(人口1万人当たり252(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に4867床(人口1万人当たり225(全国平均133)偏差値66)と、1440床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

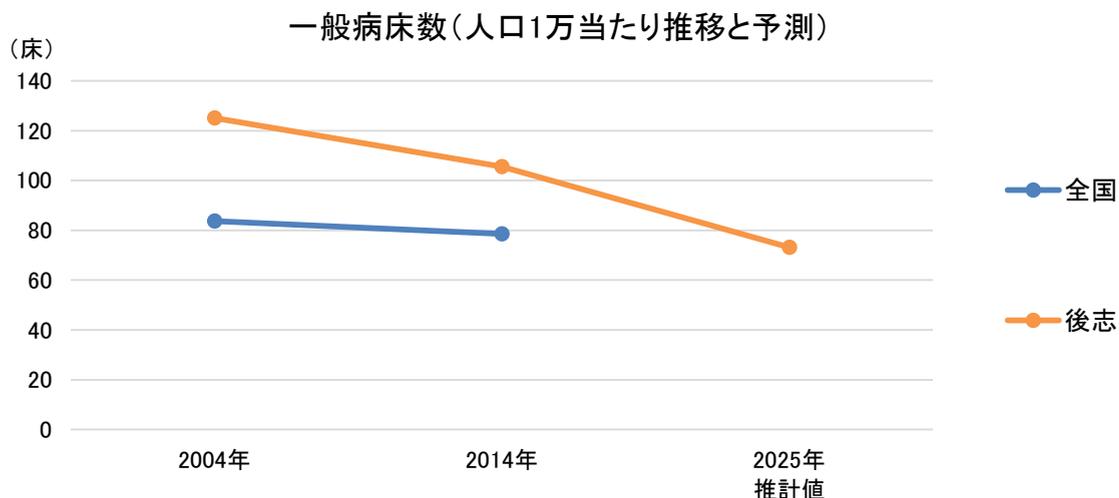
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が486人(人口10万人当たり194人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に432人(人口10万人当たり200人(全国平均246人)偏差値45)と、54人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

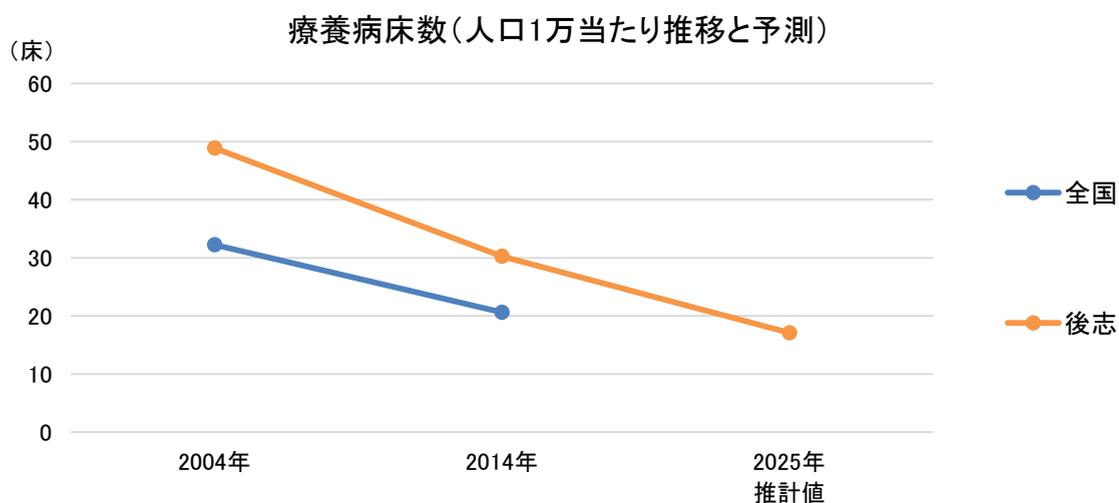
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3127床(人口1万人当たり125(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に2278床(人口1万人当たり106(全国平均79)偏差値60)と、849床の減少、率にして27%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1344床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



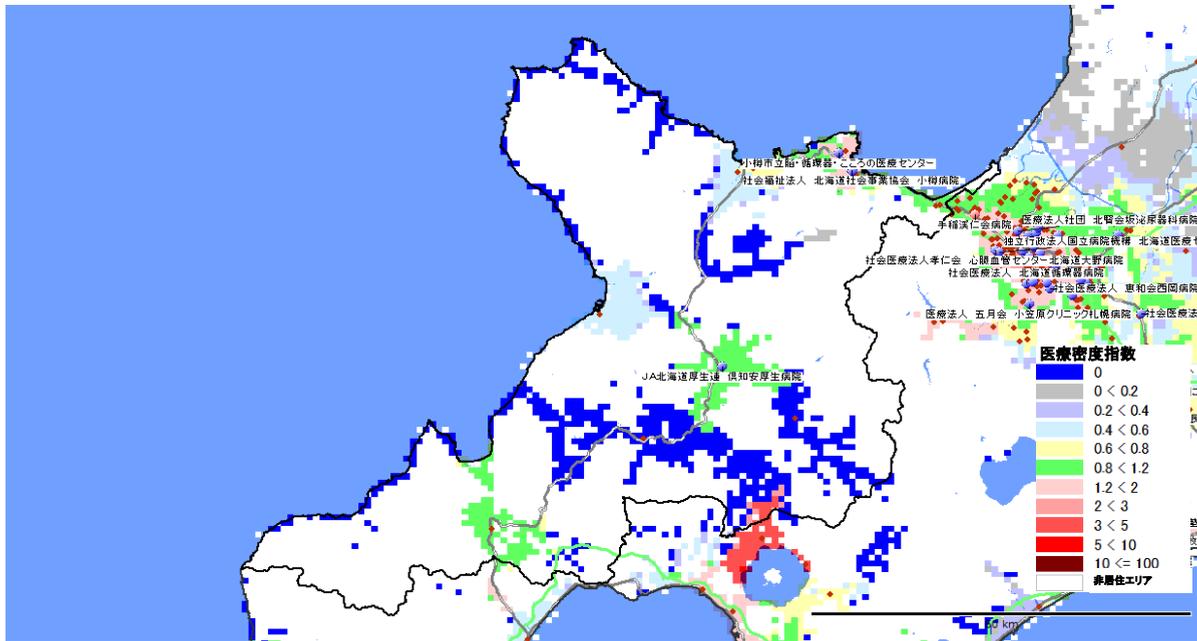
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1600床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に1198床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、402床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には756床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

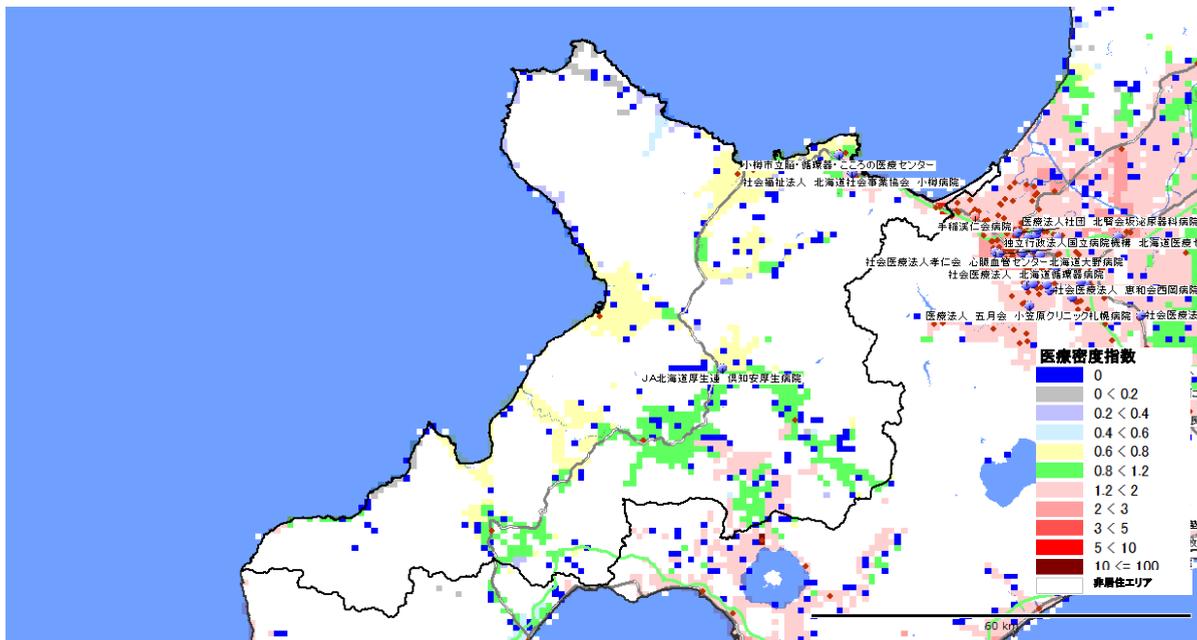


3. 医療密度⁵

図表1-5-1 急性期医療密度指数マップ



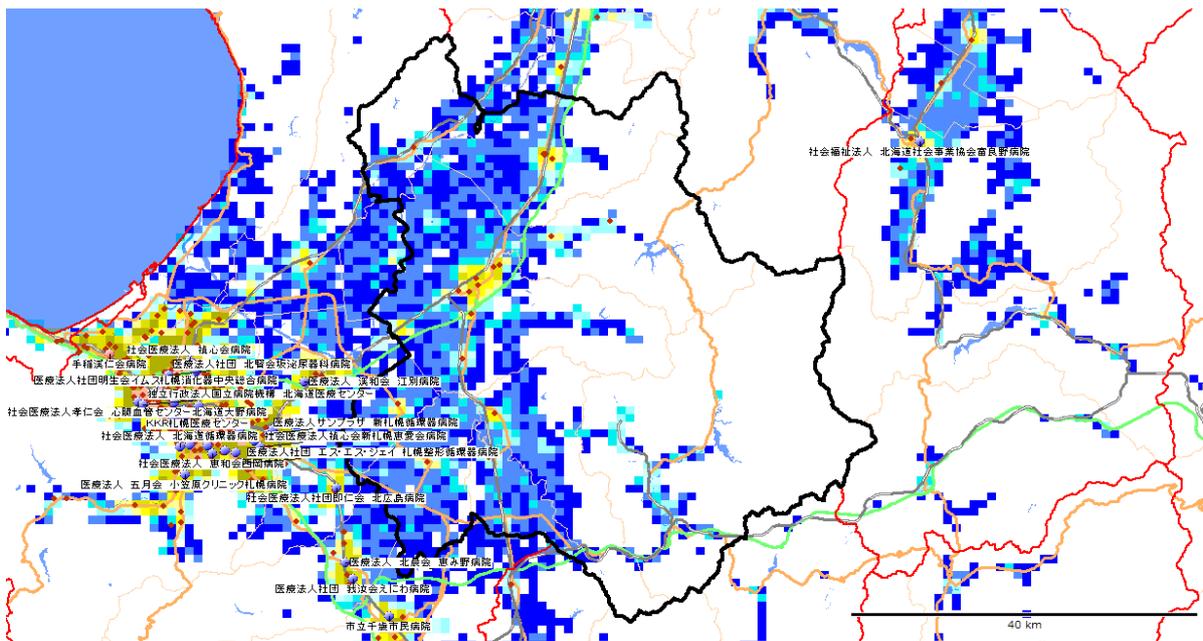
図表1-5-2 慢性期医療密度指数マップ



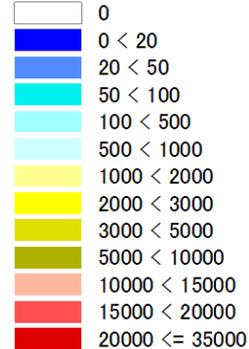
1-6. みなみそらち 南空知医療圏

構成市区町村¹⁰ [夕張市](#) [岩見沢市](#) [美唄市](#) [三笠市](#)
[南幌町](#) [由仁町](#) [長沼町](#) [栗山町](#)
[月形町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(南空知医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南空知(夕張市)は、総人口約169千人(2015年推計)、面積2563km²、人口密度は66人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南空知の総人口は2025年に145千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に109千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の32千人が、2025年にかけて36千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には33千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南空知の一人当たり医療費(国保)は391千円(偏差値67)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南空知の一人当たり急性期医療密度指数²は0.8、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.3で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。南空知には、年間全身麻酔件数が500例以上の北海道中央労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南空知の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3857人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2324床(偏差値60)、高齢者住宅等が1533床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2744人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム49、軽費ホーム63、グループホーム59、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、189人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南空知医療圏の総人口は、2005年195267人が、2015年に169444人と13%減少し、2025年の人口が144999人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

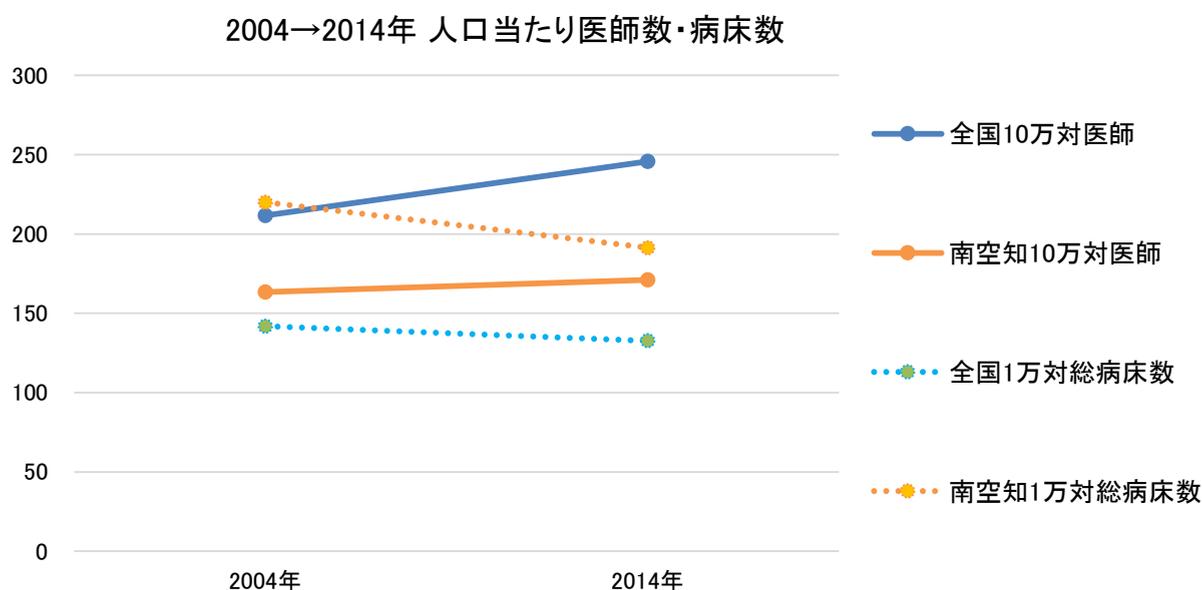
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が23(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に19(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が104(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に106(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値41)と、2診療所が増加した。

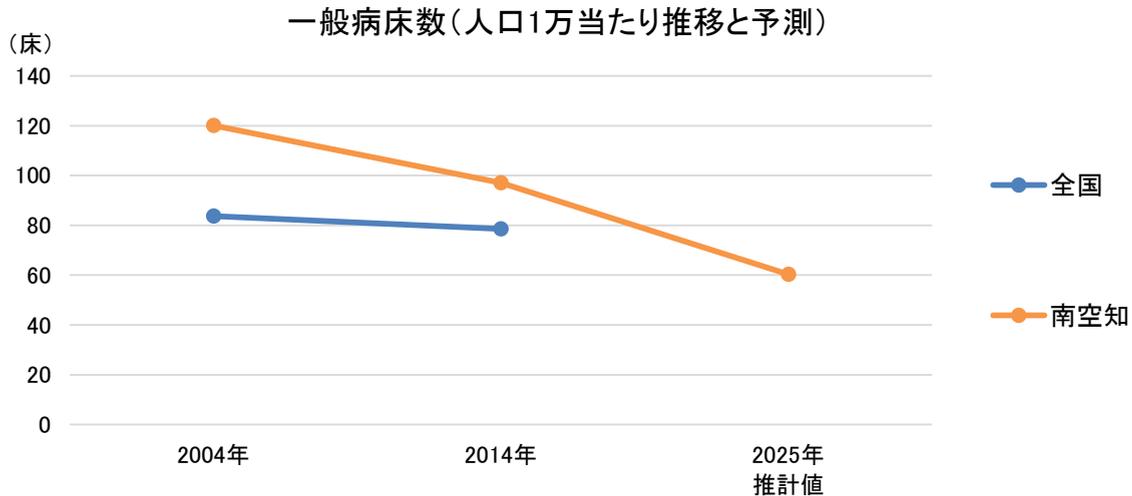
2004年の総病床数が4295床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に3242床(人口1万人当たり191(全国平均133)偏差値60)と、1053床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が319人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に290人(人口10万人当たり171人(全国平均246人)偏差値42)と、29人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



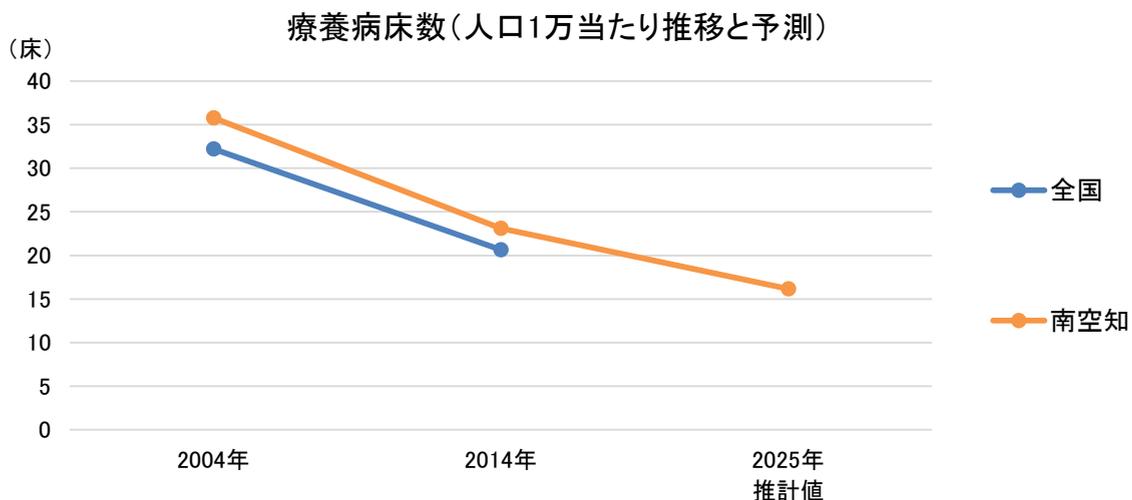
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2345床(人口1万人当たり120(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に1645床(人口1万人当たり97(全国平均79)偏差値57)と、700床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には875床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

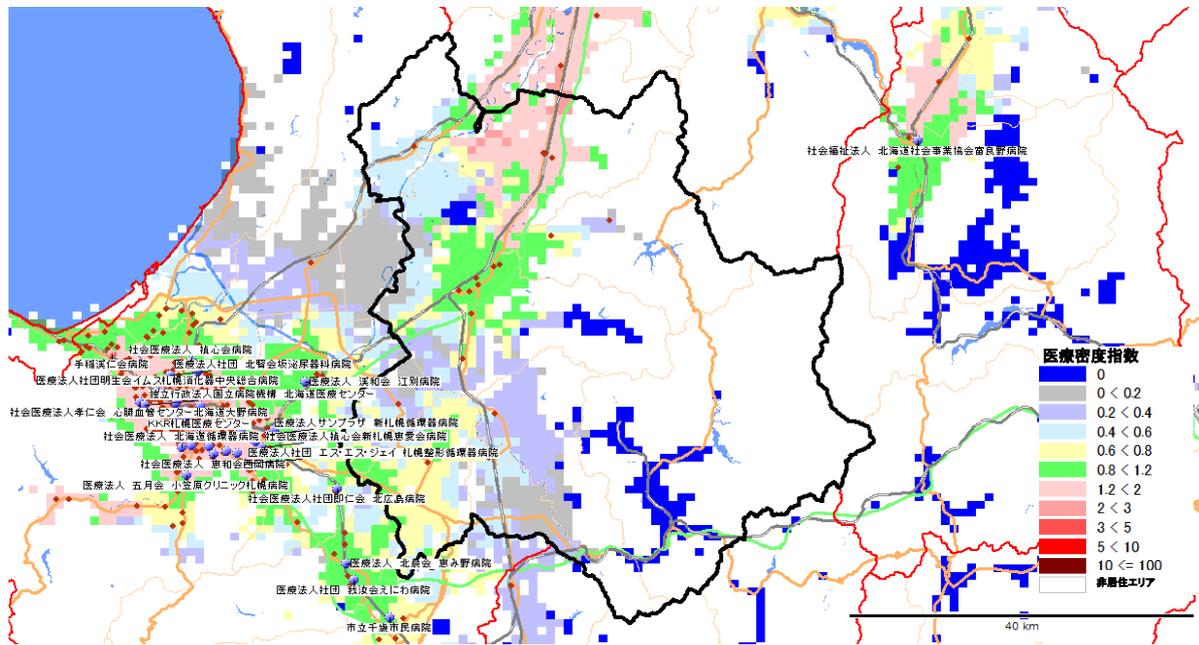
2004年の療養病床(病院+診療所)が888床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に745床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、143床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には588床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



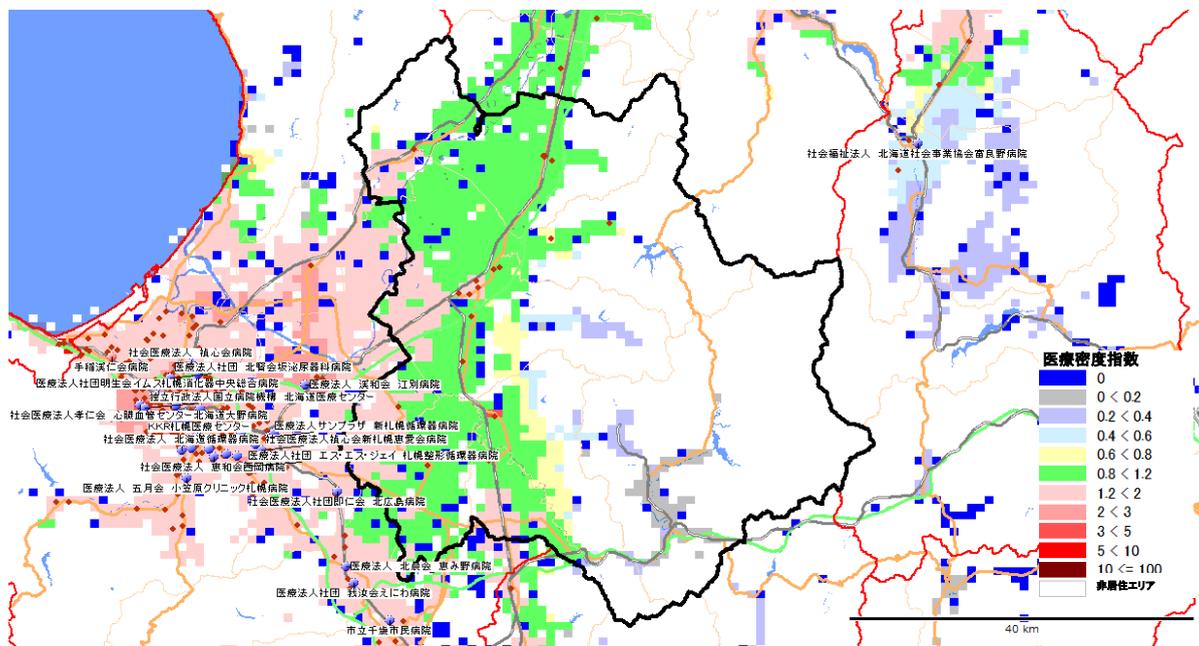
1. 北海道 (2016年版)

3. 医療密度⁵

図表1-6-1 急性期医療密度指数マップ



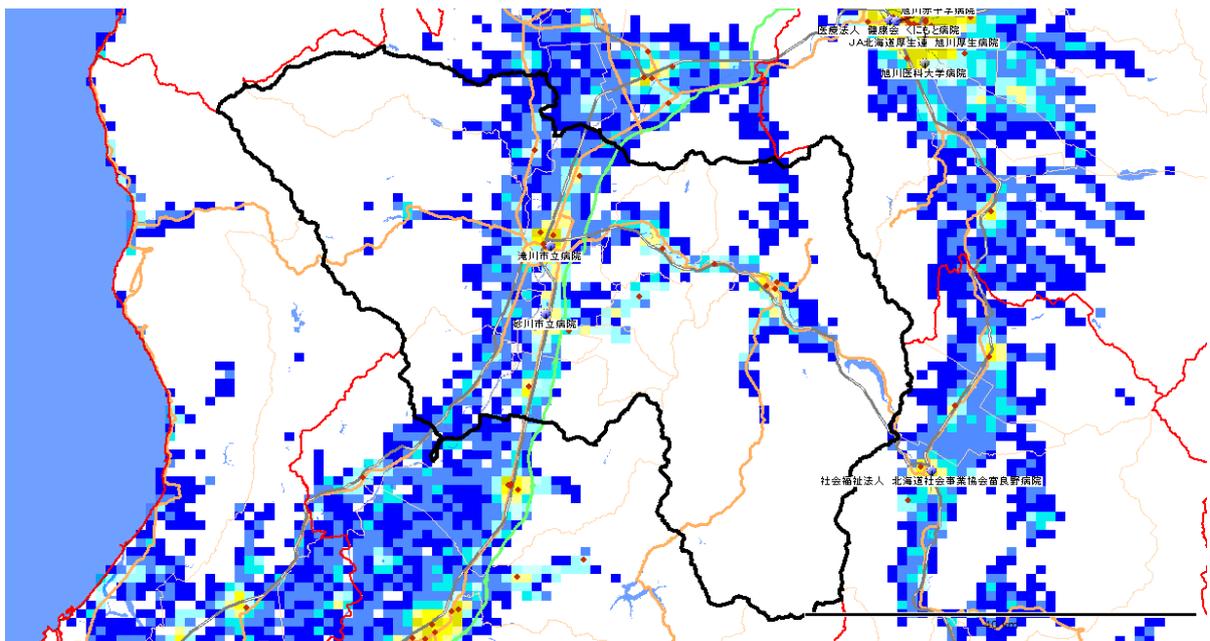
図表1-6-2 慢性期医療密度指数マップ



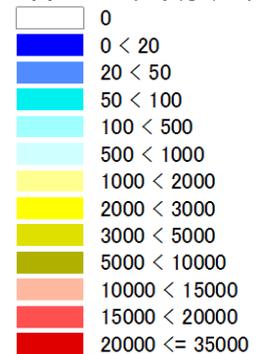
1-7. なかそらち 中空知医療圏

構成市区町村¹⁰ [芦別市](#) [赤平市](#) [滝川市](#) [砂川市](#)
[歌志内市](#) [奈井江町](#) [上砂川町](#) [浦臼町](#)
[新十津川町](#) [雨竜町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（中空知医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中空知（芦別市）は、総人口約109千人（2015年推計）、面積2161km²、人口密度は50人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中空知の総人口は2025年に92千人へと減少し（2015年比-16%）、2040年に67千人へと減少する（2025年比-27%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて24千人へと増加し（2015年比+9%）、2040年には20千人へと減少する（2025年比-17%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中空知の一人当たり医療費（国保）は430千円（偏差値77）、介護給付費は238千円（偏差値46）であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 中空知の一人当たり急性期医療密度指数²は1.48、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.77で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が48（病院医師数56、診療所医師数33）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多く、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は63と多い。中空知には、年間全身麻酔件数が1000例以上の滝川市立病院（Ⅲ群）、砂川市立病院（Ⅲ群・救命）がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は89で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中空知の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、2684人（75歳以上1000人当たりの偏差値63）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1667床（偏差値62）、高齢者住宅等が1017床（偏差値54）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1586人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設71、有料老人ホーム46、軽費ホーム76、グループホーム55、サ高住54である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、126人（75歳以上1000人当たりの偏差値36）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+31%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中空知医療圏の総人口は、2005年129174人が、2015年に109076人と16%減少し、2025年の人口が91602人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

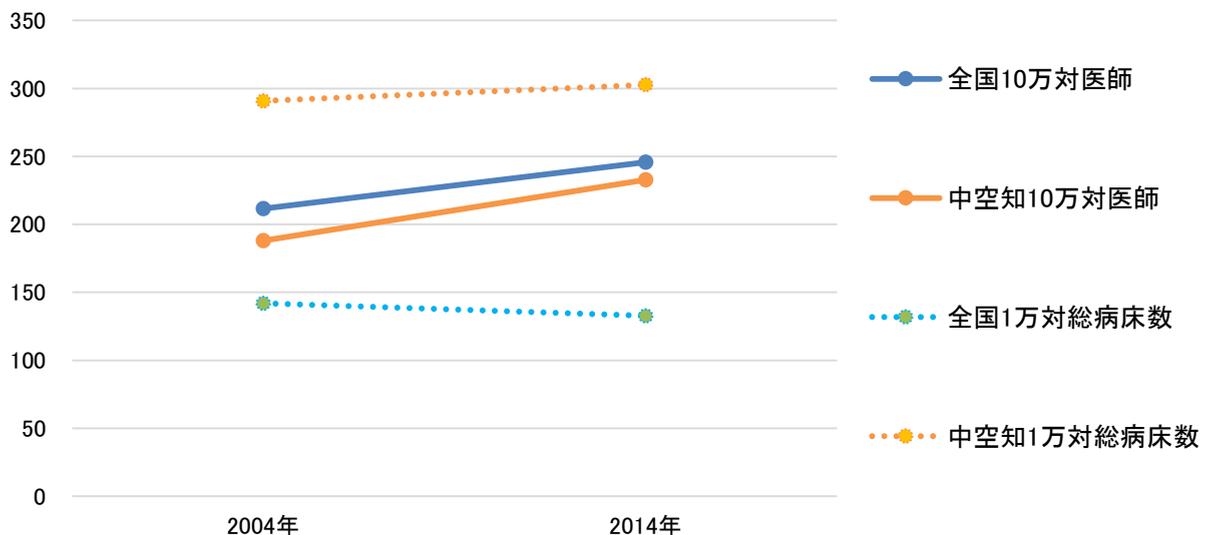
2004年の病院数が17(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2014年に17(人口10万人当たり15.6病院(全国平均6.7)偏差値72)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に61(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値38)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が3756床(人口1万人当たり291(全国平均142)偏差値77)であったが、2014年に3302床(人口1万人当たり303(全国平均133)偏差値80)と、454床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が243人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に254人(人口10万人当たり233人(全国平均246人)偏差値49)と、11人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

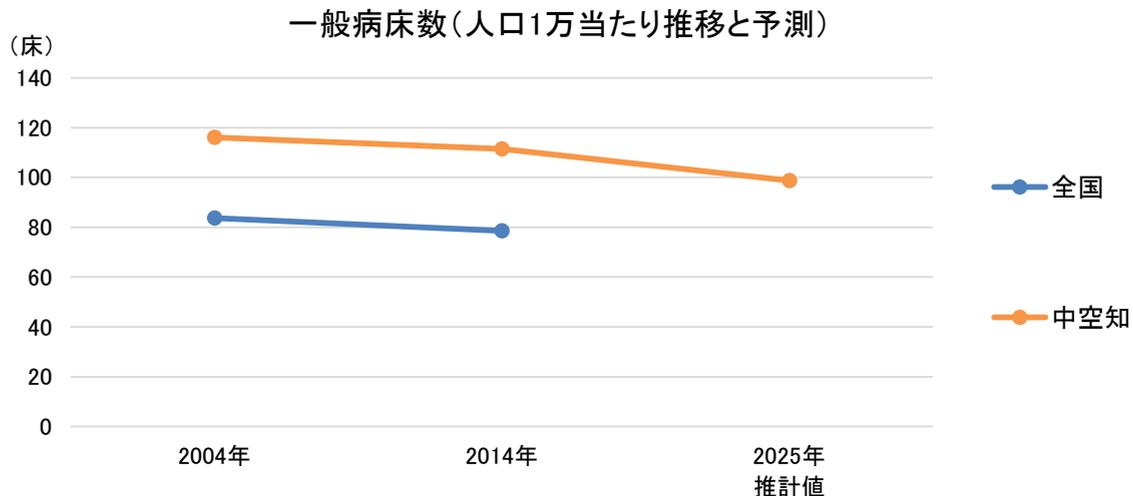
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



1. 北海道（2016年版）

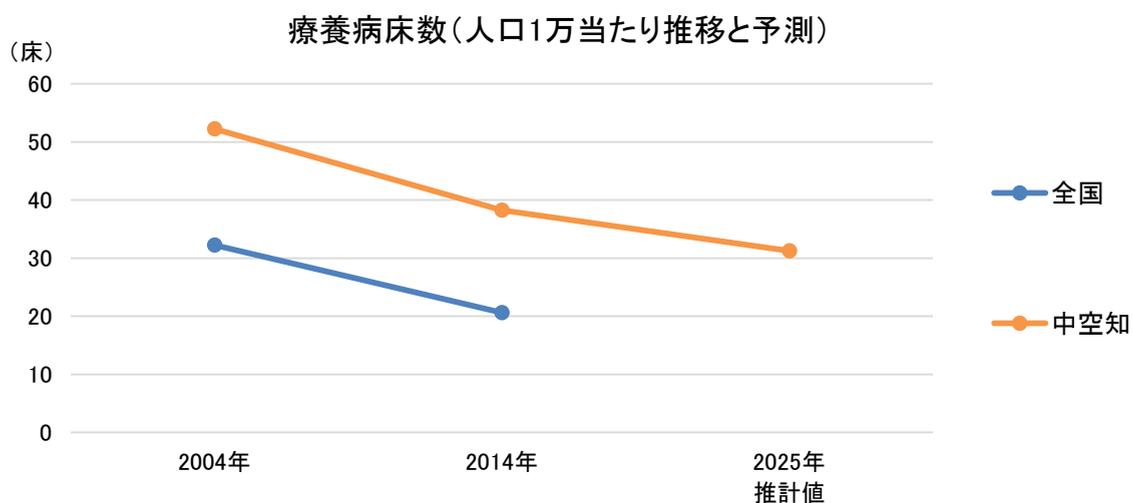
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1500床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に1216床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、284床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には904床(2025年の推計人口1万人当たり99)になることが予想される。



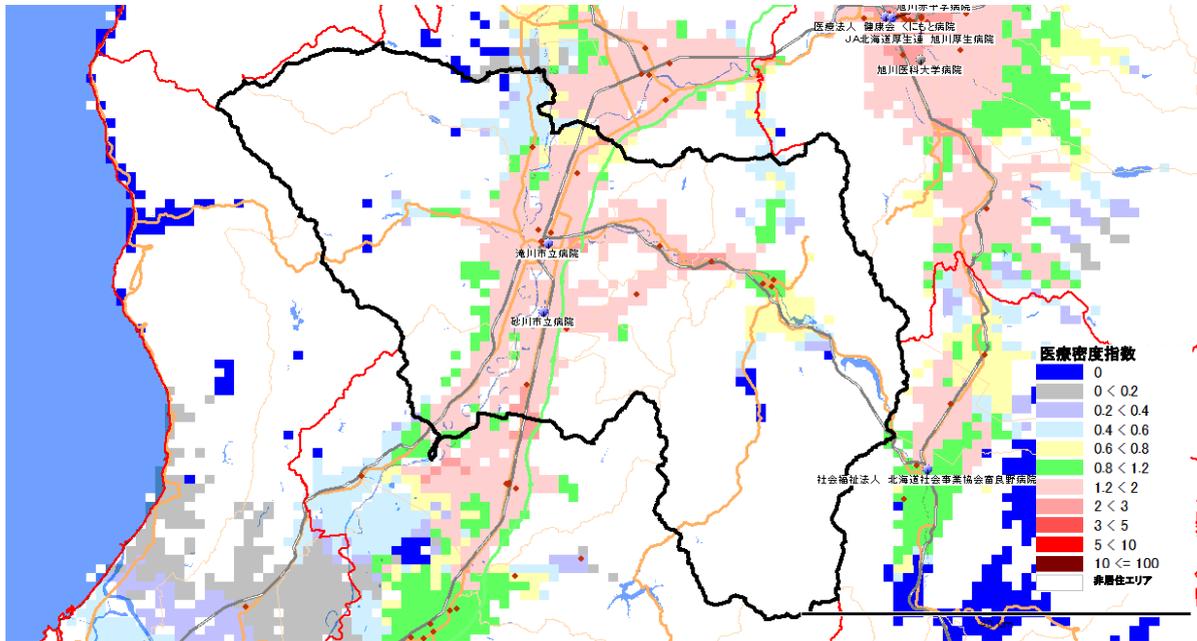
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が929床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に851床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、78床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には765床(2025年の推計75歳以上1000人当たり31)になることが予想される。

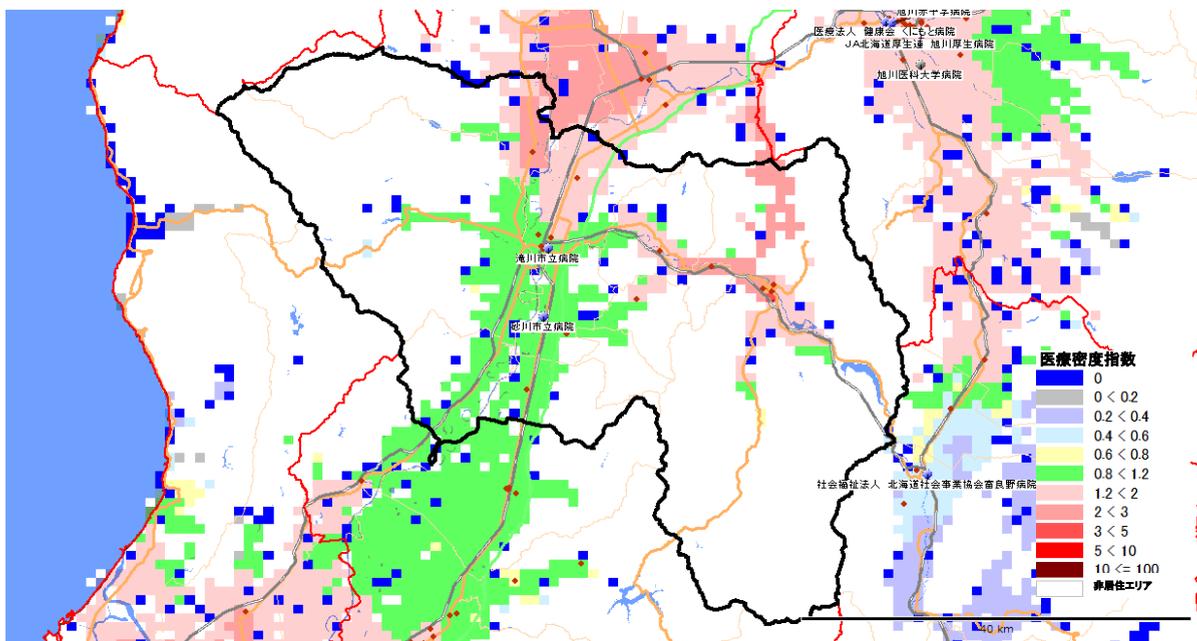


3. 医療密度⁵

図表1-7-1 急性期医療密度指数マップ



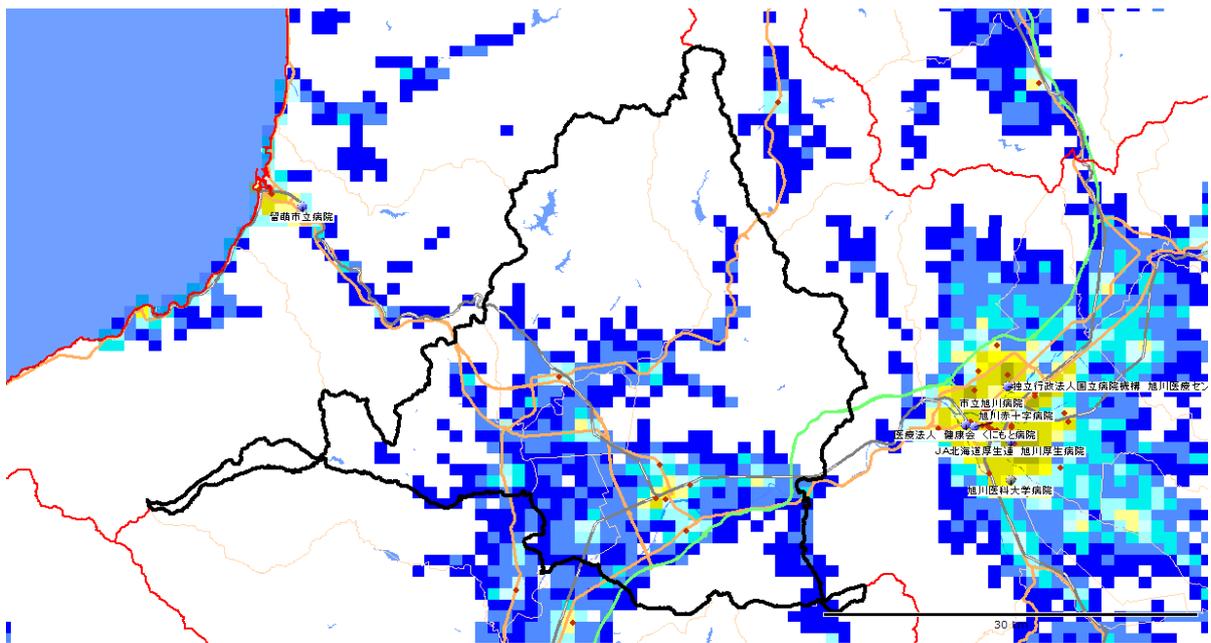
図表1-7-2 慢性期医療密度指数マップ



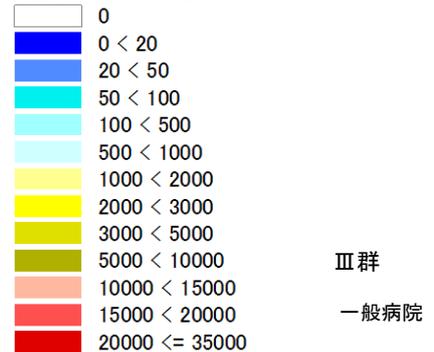
1-8. きたそらち 北空知医療圏

構成市区町村¹⁰ [深川市](#) [妹背牛町](#) [秩父別町](#) [北竜町](#)
[沼田町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



(北空知医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北空知(深川市)は、総人口約33千人(2015年推計)、面積1067km²、人口密度は31人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北空知の総人口は2025年に27千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に19千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北空知の一人当たり医療費(国保)は391千円(偏差値68)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北空知の一人当たり急性期医療密度指数²は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数²は4.15で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数47、診療所医師数37)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は75と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。北空知には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は97と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は109で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北空知の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、904人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が621床(偏差値69)、高齢者住宅等が283床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、596人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム43、軽費ホーム69、グループホーム53、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、34人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+32%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北空知医療圏の総人口は、2005年39201人が、2015年に32731人と17%減少し、2025年の人口が27113人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

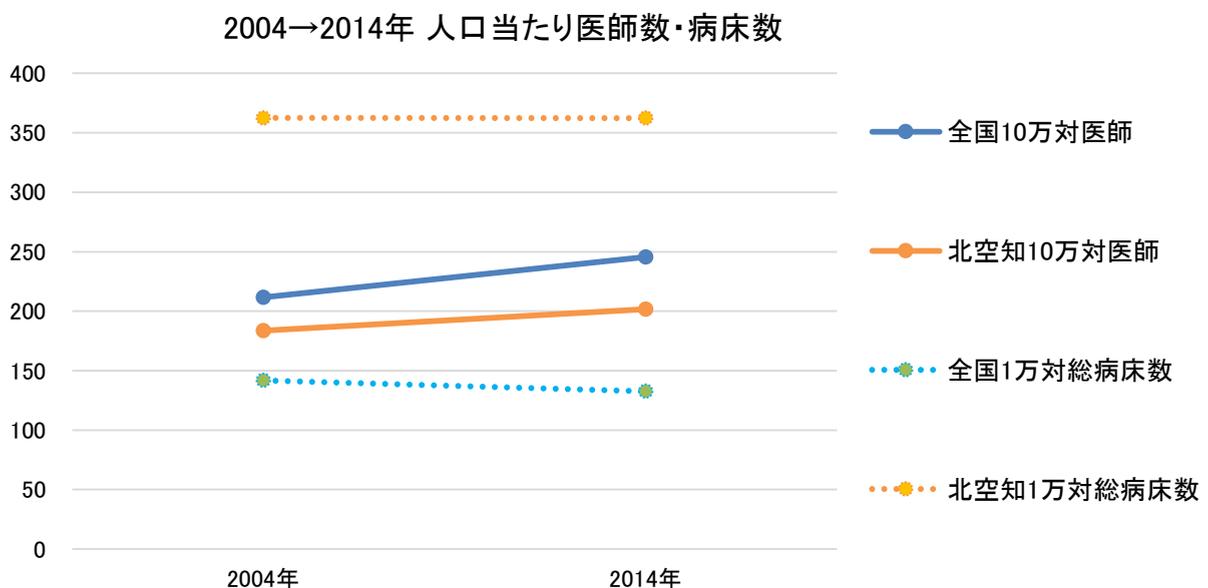
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり15.3病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に5(人口10万人当たり15.3病院(全国平均6.7)偏差値71)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が26(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に23(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、3診療所が減少した。

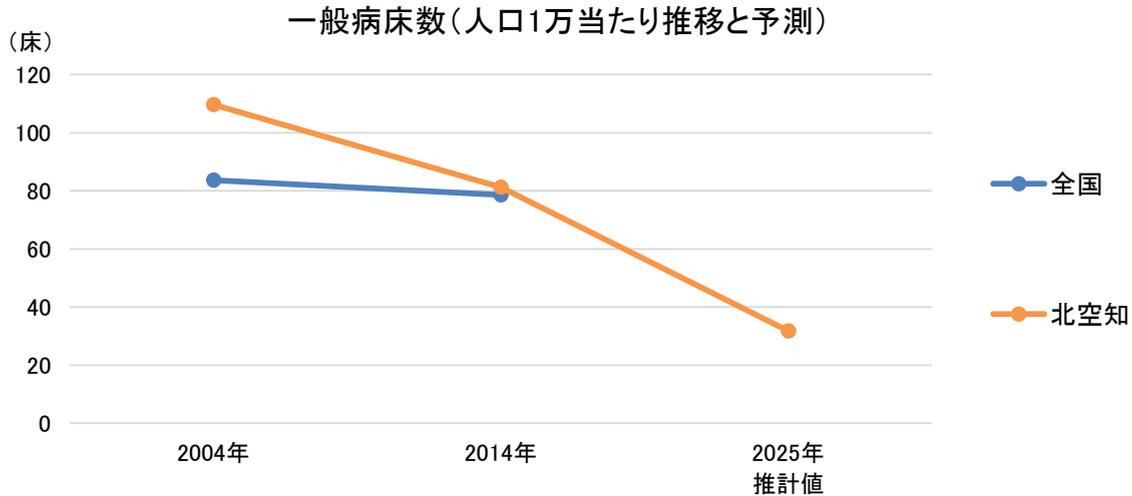
2004年の総病床数が1421床(人口1万人当たり362(全国平均142)偏差値89)であったが、2014年に1186床(人口1万人当たり362(全国平均133)偏差値91)と、235床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が72人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に66人(人口10万人当たり202人(全国平均246人)偏差値46)と、6人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



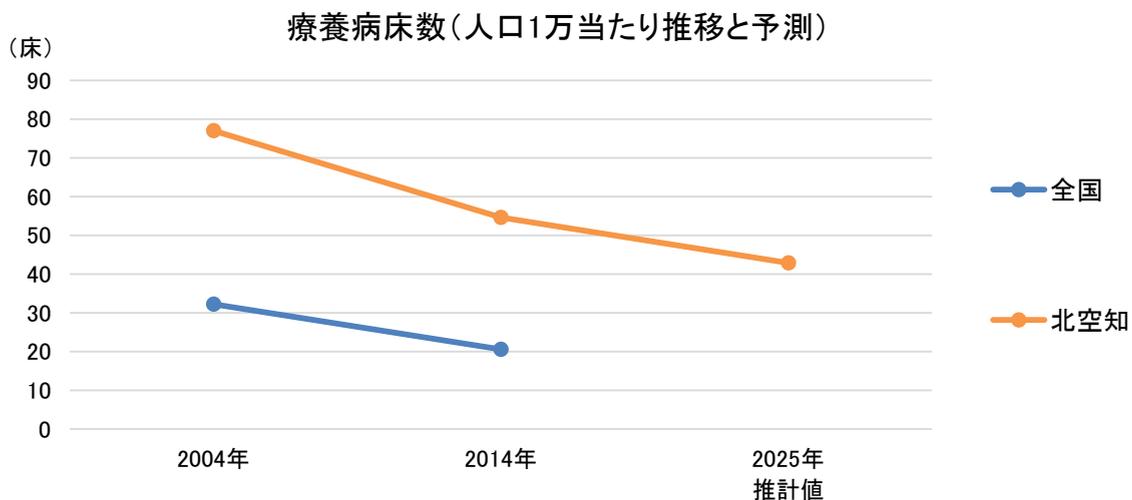
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が430床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に266床(人口1万人当たり81(全国平均79)偏差値51)と、164床の減少、率にして38%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には86床(2025年の推計人口1万人当たり32)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

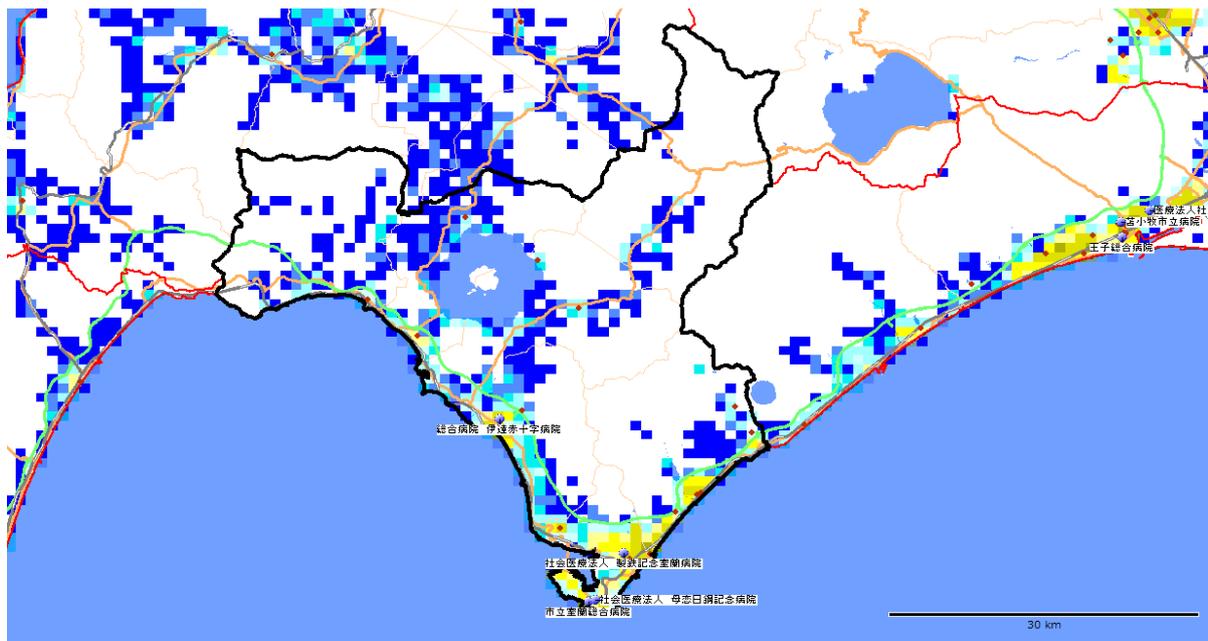
2004年の療養病床(病院+診療所)が459床(75歳以上1000人当たり77(全国平均32)偏差値75)であったが、2014年に407床(75歳以上1000人当たり55(全国平均21)偏差値79)と、52床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には350床(2025年の推計75歳以上1000人当たり43)になることが予想される。



1-9. にしいぶり 西胆振医療圏

構成市区町村¹⁰ [室蘭市](#) [登別市](#) [伊達市](#) [豊浦町](#)
[壮瞥町](#) [洞爺湖町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(西胆振医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西胆振(室蘭市)は、総人口約191千人(2015年推計)、面積1356km²、人口密度は141人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西胆振の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に137千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の33千人が、2025年にかけて40千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には33千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西胆振の一人当たり医療費(国保)は424千円(偏差値75)、介護給付費は202千円(偏差値36)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西胆振の一人当たり急性期医療密度指数²は1.81、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.91で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数52、診療所医師数38)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は63と多い。西胆振には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立室蘭総合病院(Ⅲ群)、製鉄記念室蘭病院(Ⅲ群)、日鋼記念病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は80と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は75で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西胆振の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3278人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2084床(偏差値53)、高齢者住宅等が1194床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2475人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム45、軽費ホーム77、グループホーム58、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、207人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西胆振医療圏の総人口は、2005年208160人が、2015年に190888人と8%減少し、2025年の人口が170061人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

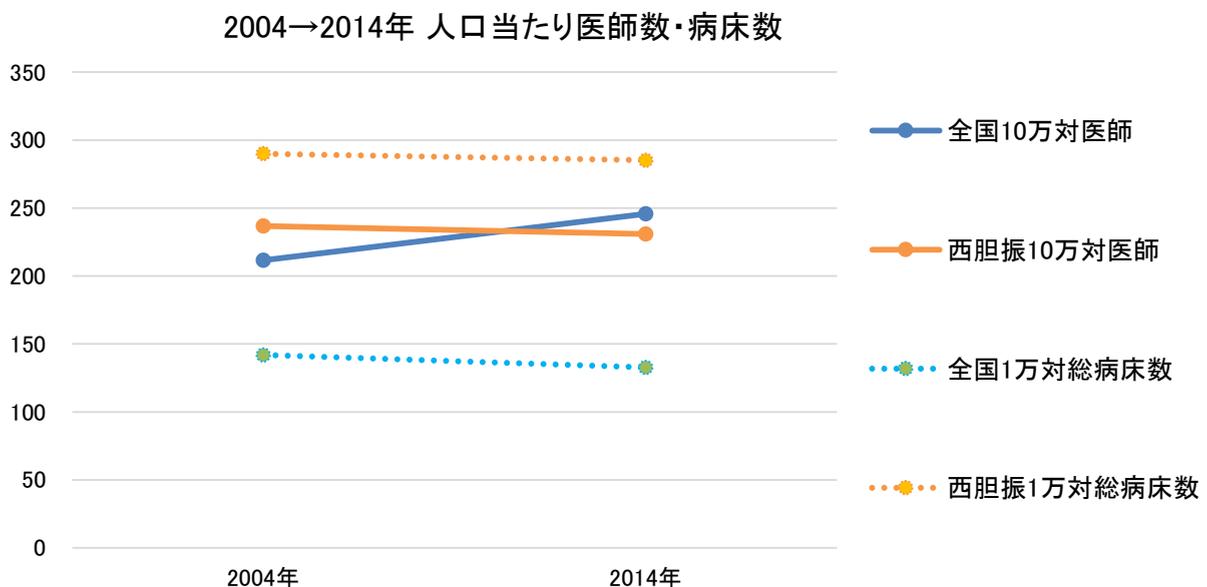
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が24(人口10万人当たり11.5病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に21(人口10万人当たり11病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が116(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に113(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値40)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が6037床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値76)であったが、2014年に5444床(人口1万人当たり285(全国平均133)偏差値77)と、593床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

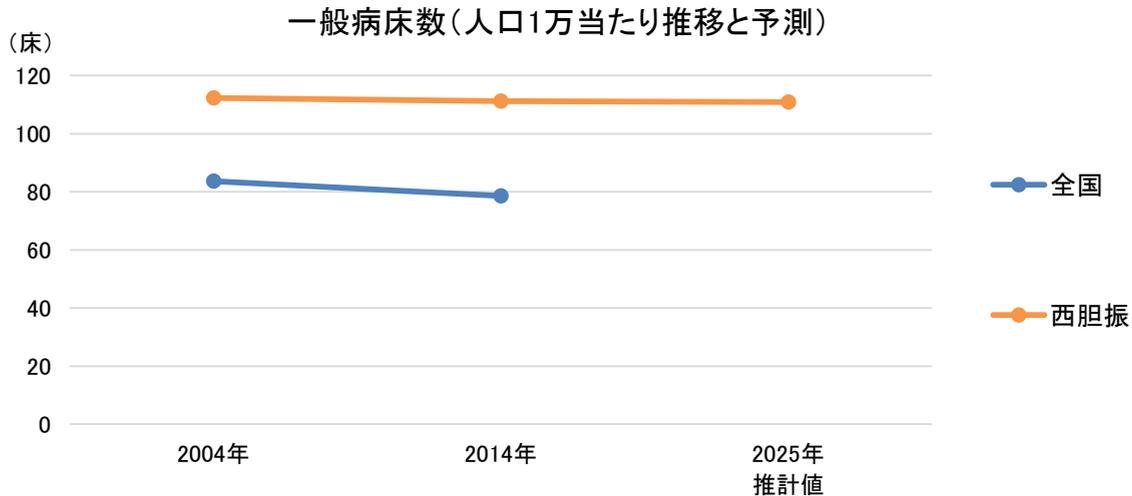
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が493人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に441人(人口10万人当たり231人(全国平均246人)偏差値49)と、52人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

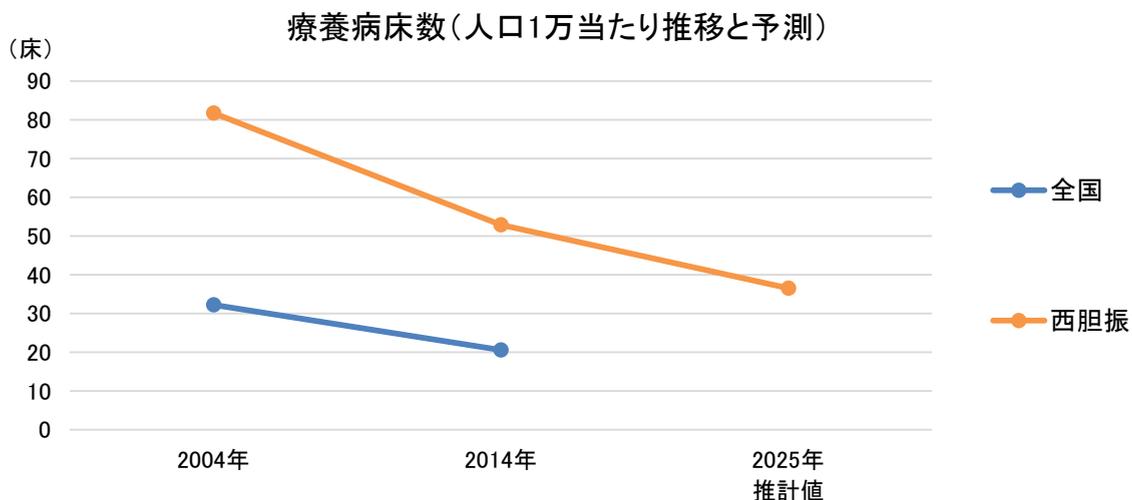
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2337床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に2122床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、215床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1886床(2025年の推計人口1万人当たり111)になることが予想される。



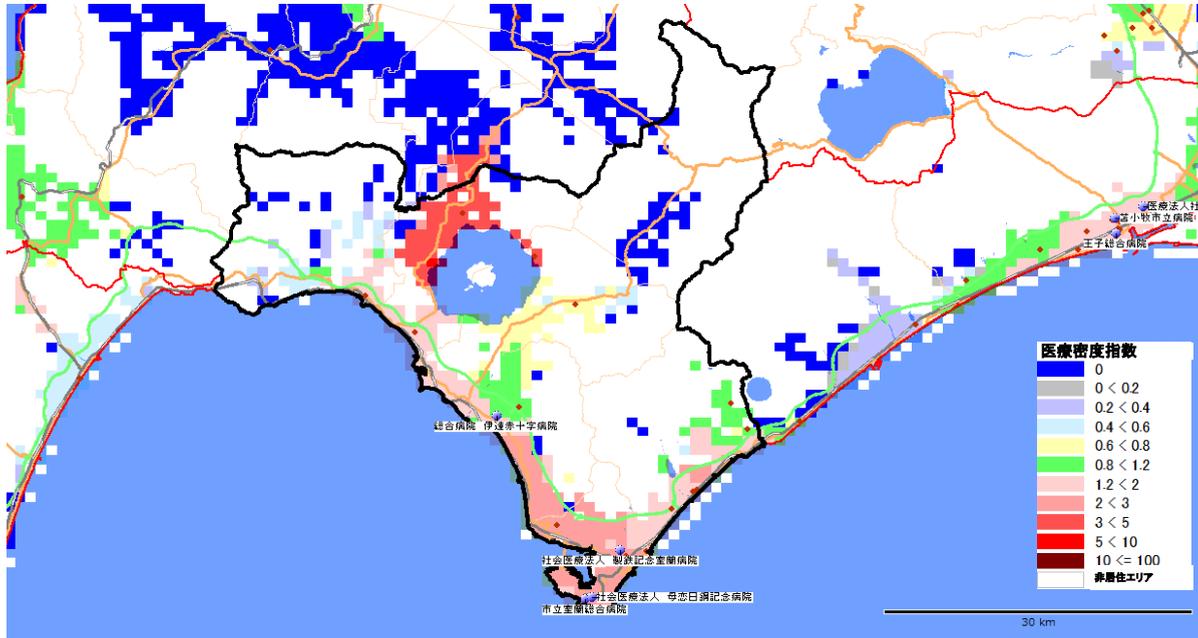
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2011床(75歳以上1000人当たり82(全国平均32)偏差値78)であったが、2014年に1750床(75歳以上1000人当たり53(全国平均21)偏差値78)と、261床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1463床(2025年の推計75歳以上1000人当たり37)になることが予想される。

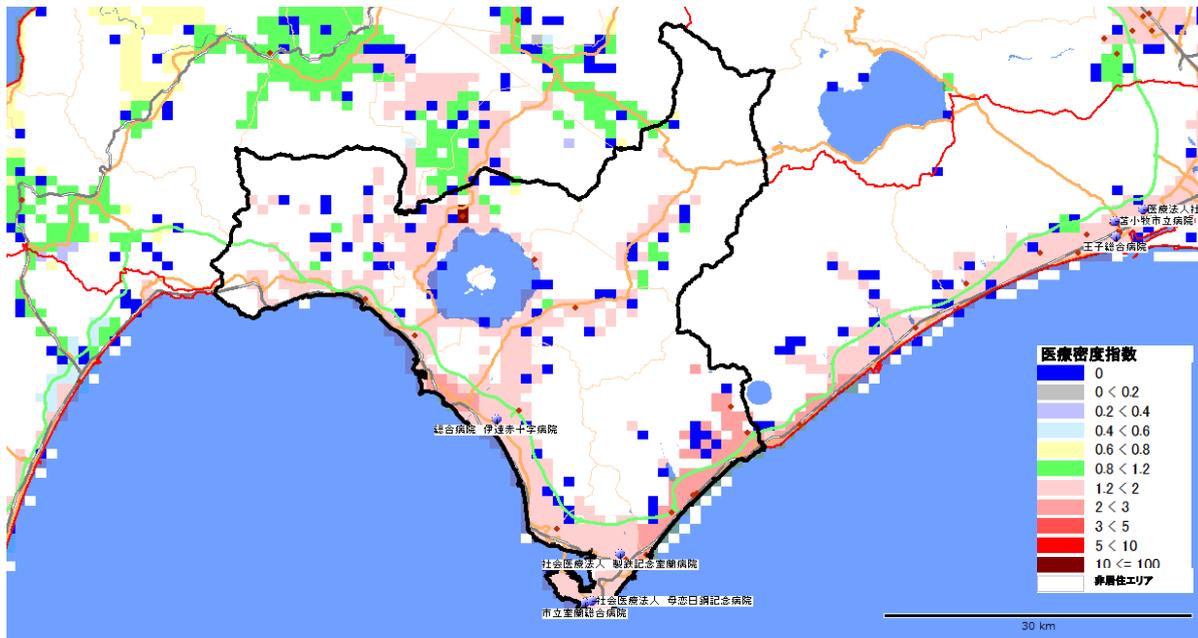


3. 医療密度⁵

図表1-9-1 急性期医療密度指数マップ



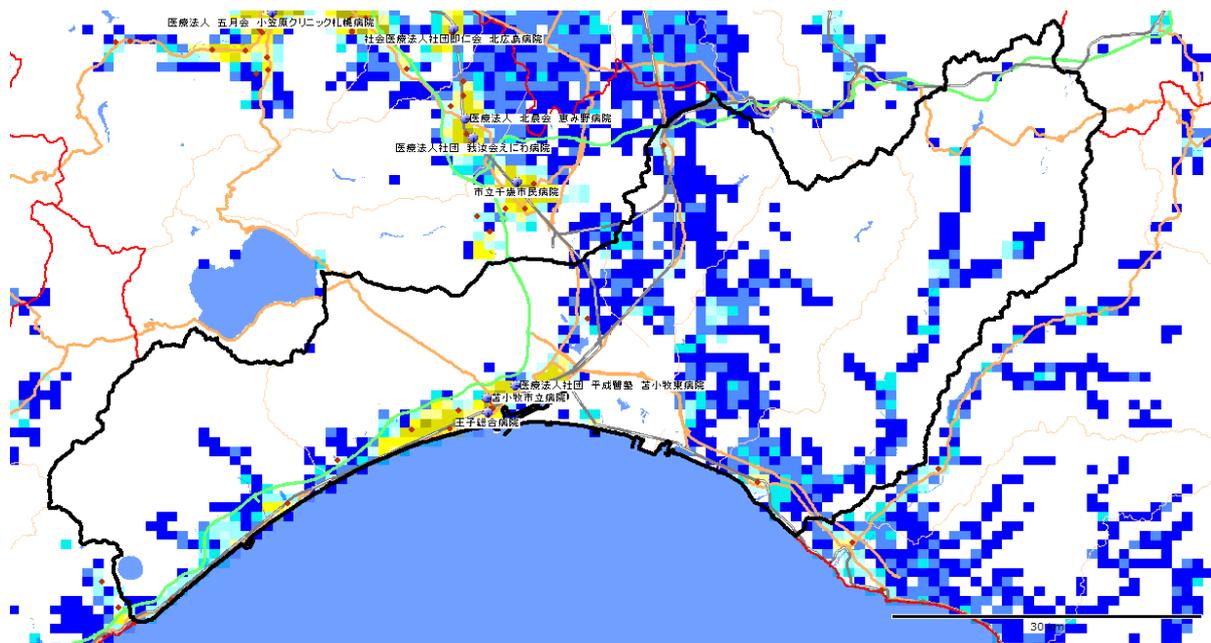
図表1-9-2 慢性期医療密度指数マップ



1-10. ひがしいぶり 東胆振医療圏

構成市区町村¹⁰ [苫小牧市](#) [白老町](#) [厚真町](#) [安平町](#)
[むかわ町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(東胆振医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東胆振(苫小牧市)は、総人口約211千人(2015年推計)、面積2342km²、人口密度は90人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東胆振の総人口は2025年に197千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に169千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には38千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東胆振の一人当たり医療費(国保)は353千円(偏差値58)、介護給付費は234千円(偏差値45)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東胆振の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.34で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。東胆振には、年間全身麻酔件数が1000例以上の王子総合病院(Ⅲ群)、500例以上の苫小牧市立病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東胆振の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3384人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1743床(偏差値53)、高齢者住宅等が1641床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2328人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム43、軽費ホーム89、グループホーム68、サ高住63である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、408人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東胆振医療圏の総人口は、2005年218479人が、2015年に211219人と3%減少し、2025年の人口が197344人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

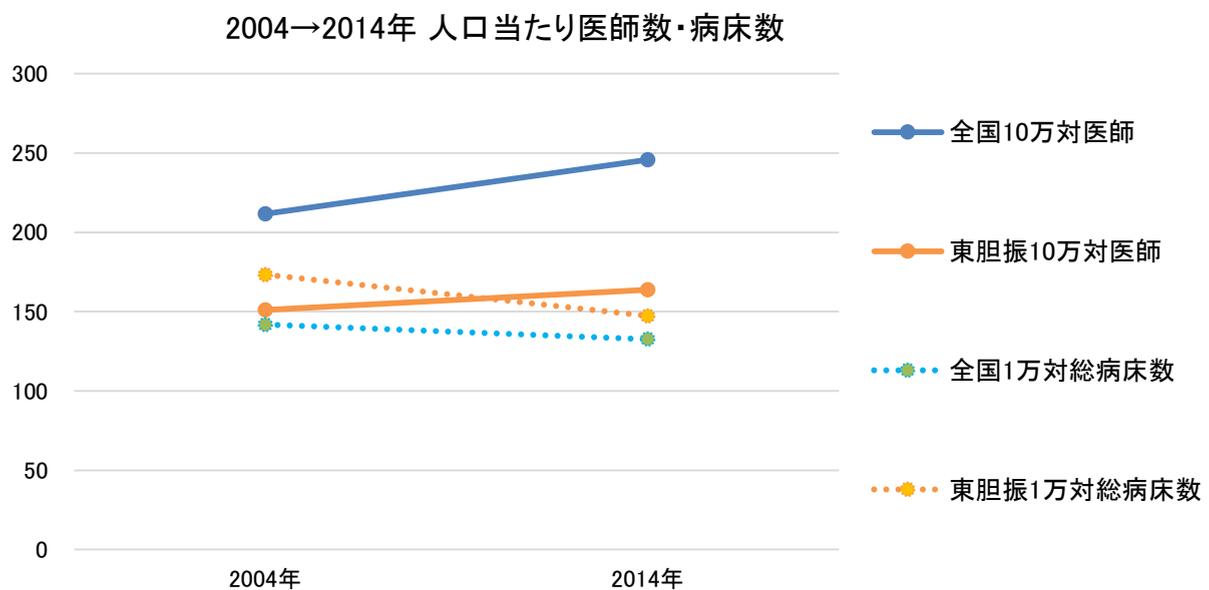
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が20(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に16(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が124(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に112(人口10万人当たり53診療所(全国平均79)偏差値37)と、12診療所が減少した。

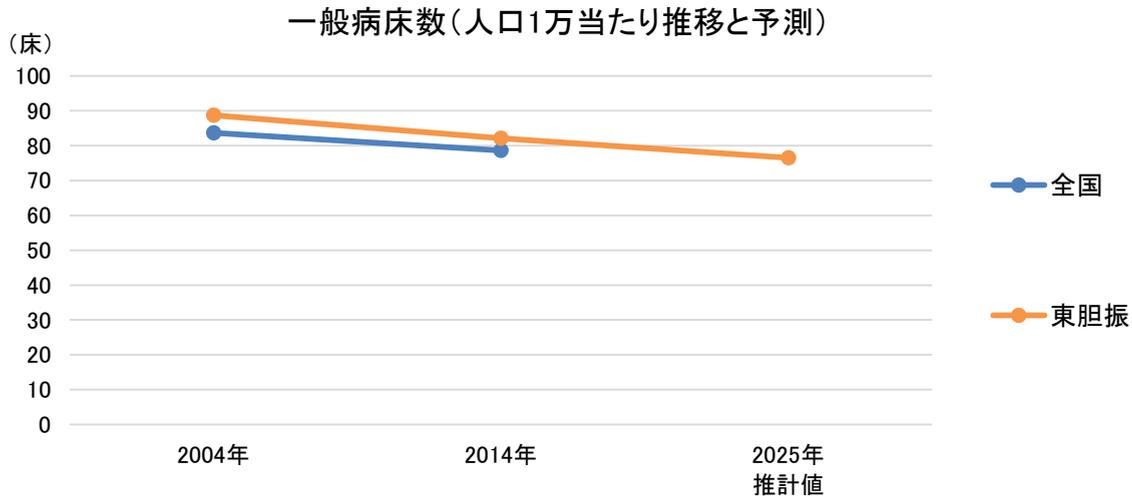
2004年の総病床数が3788床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に3110床(人口1万人当たり147(全国平均133)偏差値53)と、678床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が330人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に346人(人口10万人当たり164人(全国平均246人)偏差値42)と、16人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



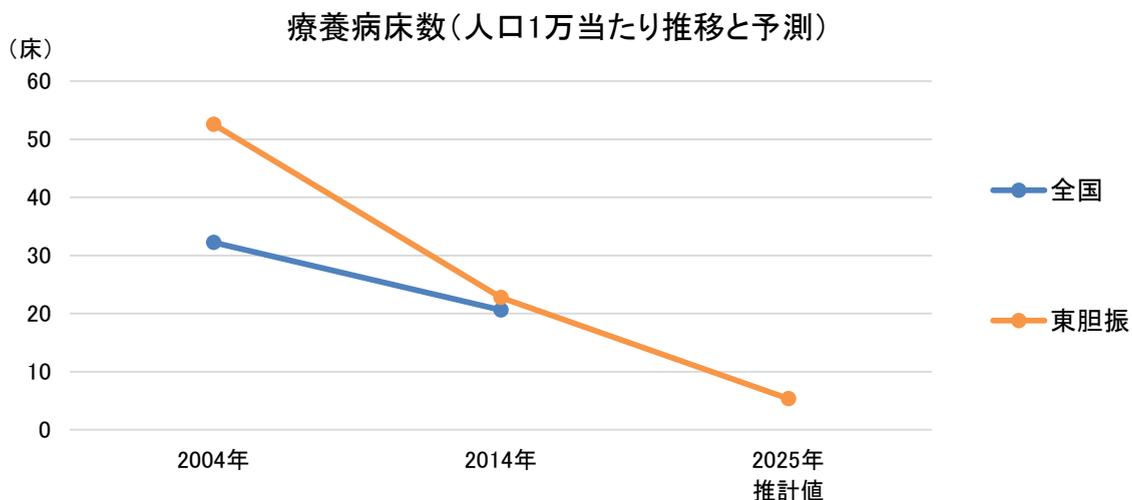
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1938床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1734床(人口1万人当たり82(全国平均79)偏差値51)と、204床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1510床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

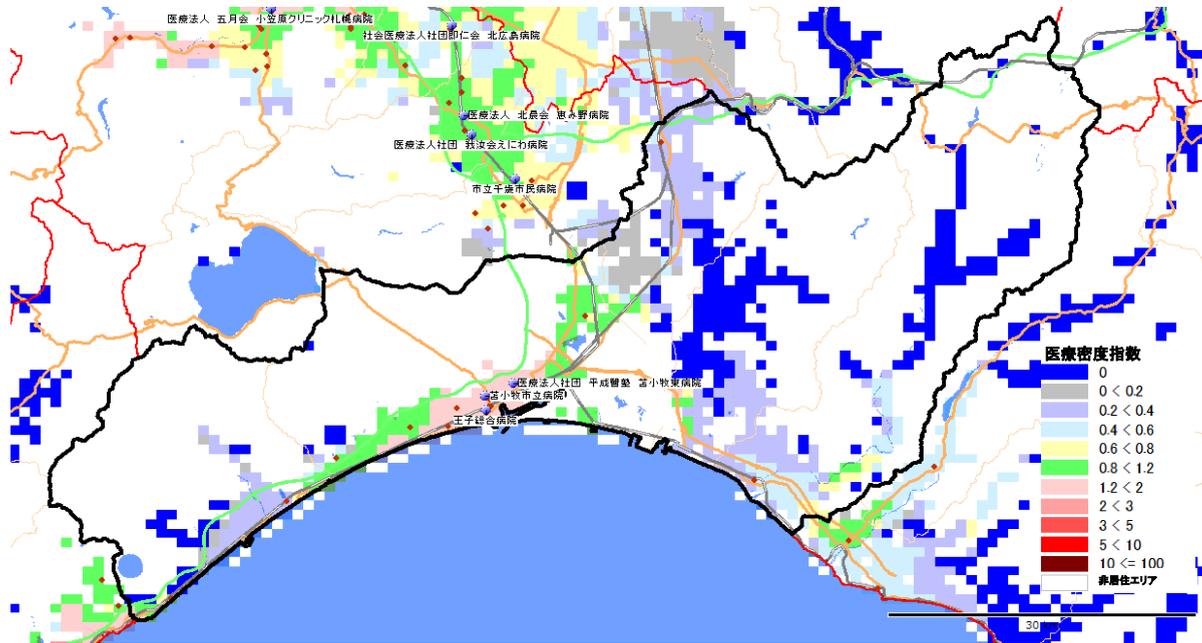
2004年の療養病床(病院+診療所)が1020床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に629床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、391床の減少、率にして38%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には199床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



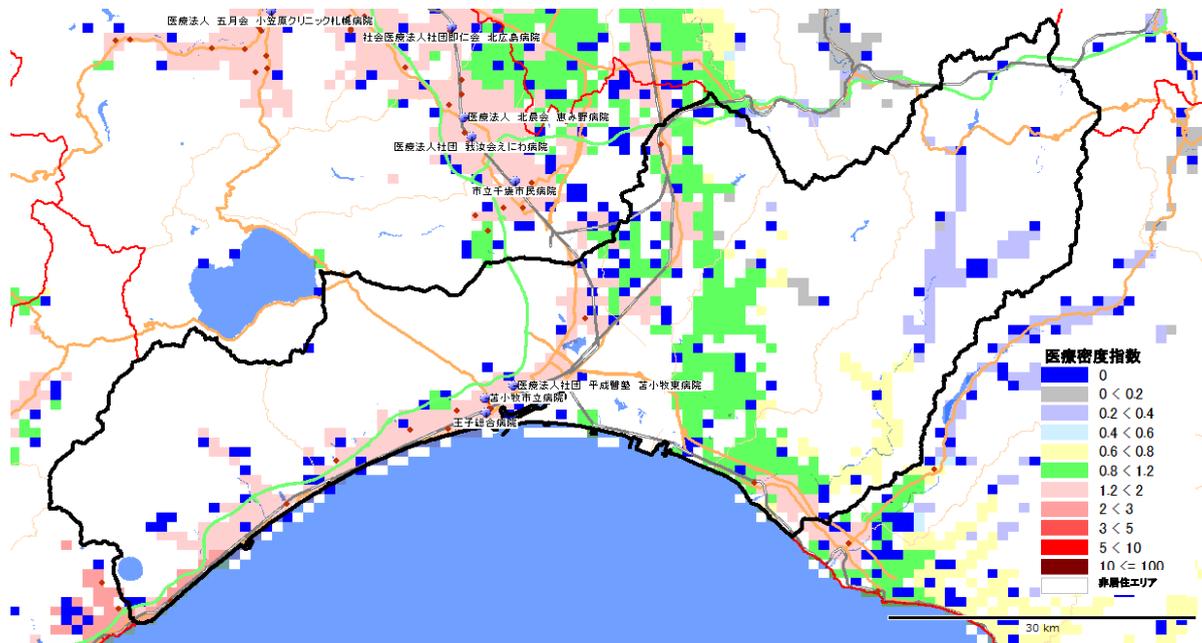
1. 北海道 (2016年版)

3. 医療密度⁵

図表1-10-1 急性期医療密度指数マップ



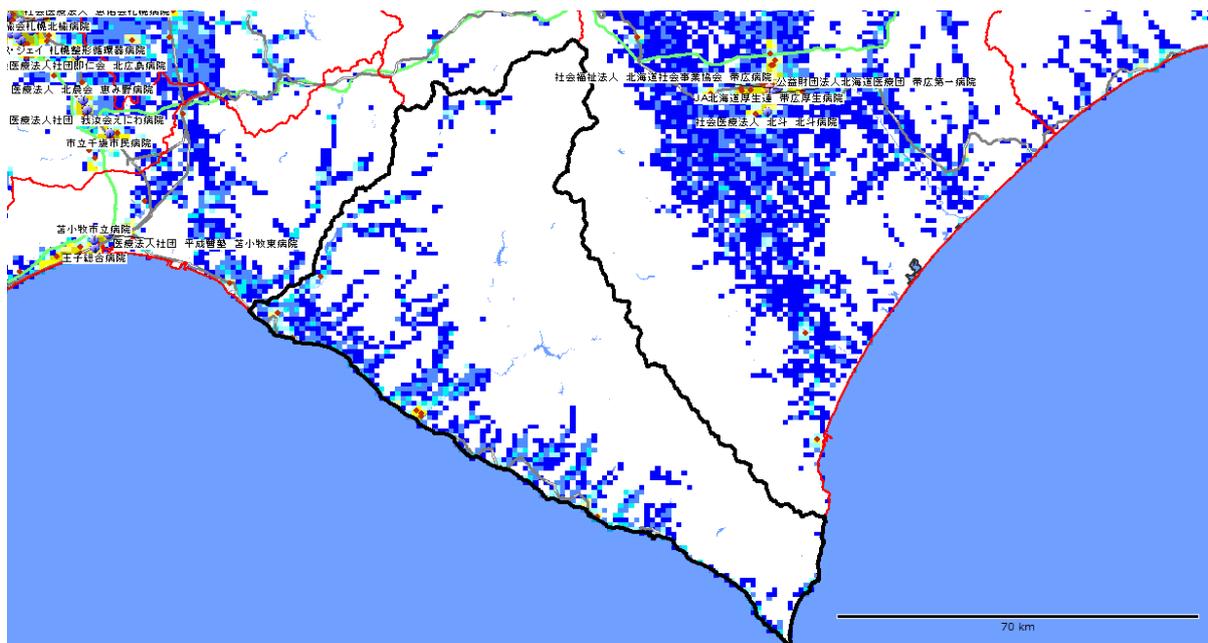
図表1-10-2 慢性期医療密度指数マップ



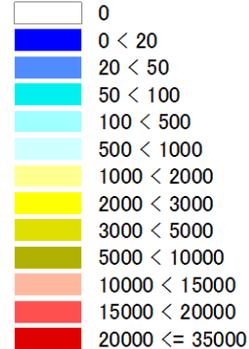
1-11. ひだか 日高医療圏

構成市区町村¹⁰ [日高町](#) [平取町](#) [新冠町](#) [浦河町](#)
[様似町](#) [えりも町](#) [新ひだか町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（日高医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

*人口、面積など： 日高（沙流郡日高町）は、総人口約70千人（2015年推計）、面積4812km²、人口密度は15人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 日高の総人口は2025年に61千人へと減少し（2015年比-13%）、2040年に46千人へと減少する（2025年比-25%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し（2015年比+8%）、2040年には12千人へと減少する（2025年比-8%）ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 日高の一人当たり医療費（国保）は324千円（偏差値51）、介護給付費は227千円（偏差値43）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 日高の一人当たり急性期医療密度指数²は0.56、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.52で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が38（病院医師数40、診療所医師数35）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。日高には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 日高の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、907人（75歳以上1000人当たりの偏差値38）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が714床（偏差値52）、高齢者住宅等が193床（偏差値35）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、828人（75歳以上1000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし（偏差値40）、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホーム48、グループホーム53、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員（在宅）の合計は、129人（75歳以上1000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

日高医療圏の総人口は、2005年81407人が、2015年に70100人と14%減少し、2025年の人口が60568人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

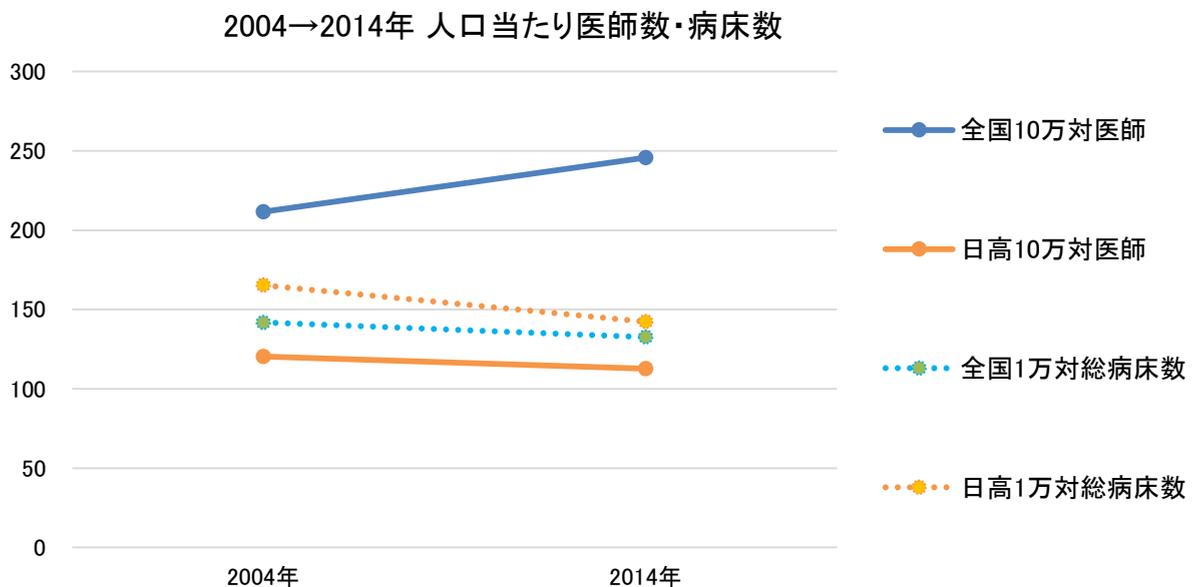
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が10(人口10万人当たり12.3病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に46(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が1346床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に998床(人口1万人当たり142(全国平均133)偏差値52)と、348床の減少、率にして26%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

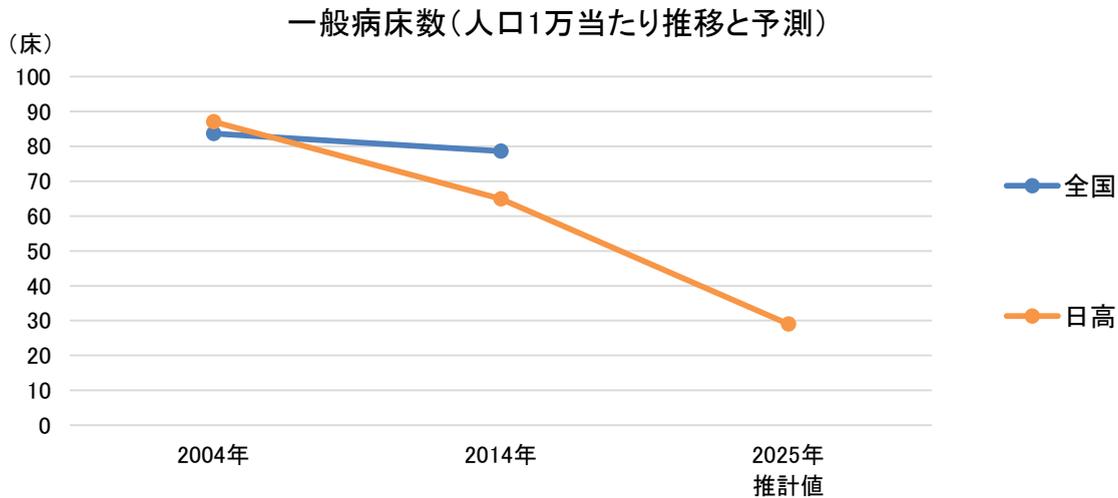
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が98人(人口10万人当たり120人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に79人(人口10万人当たり113人(全国平均246人)偏差値36)と、19人の減少、率にして19%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

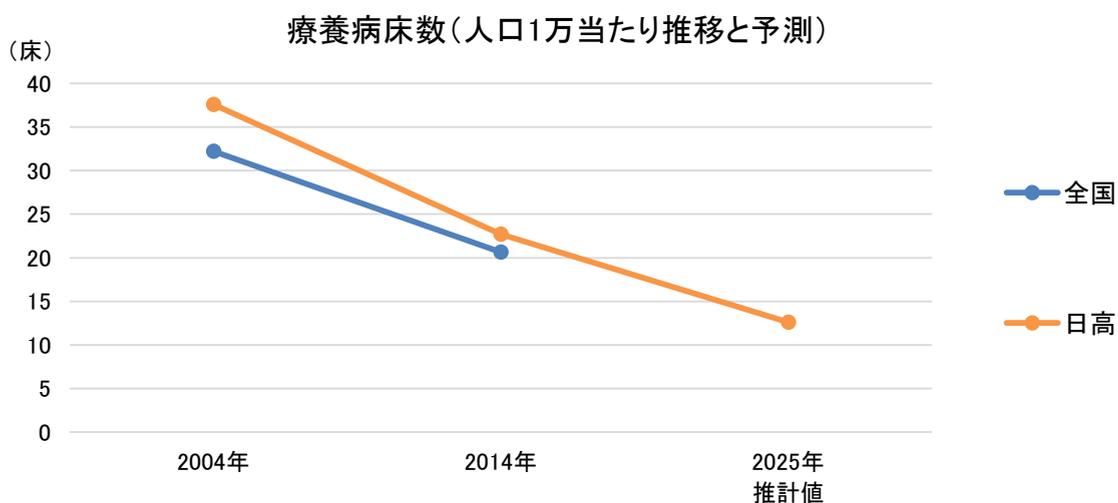
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が709床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に455床(人口1万人当たり65(全国平均79)偏差値45)と、254床の減少、率にして36%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には176床(2025年の推計人口1万人当たり29)になることが予想される。



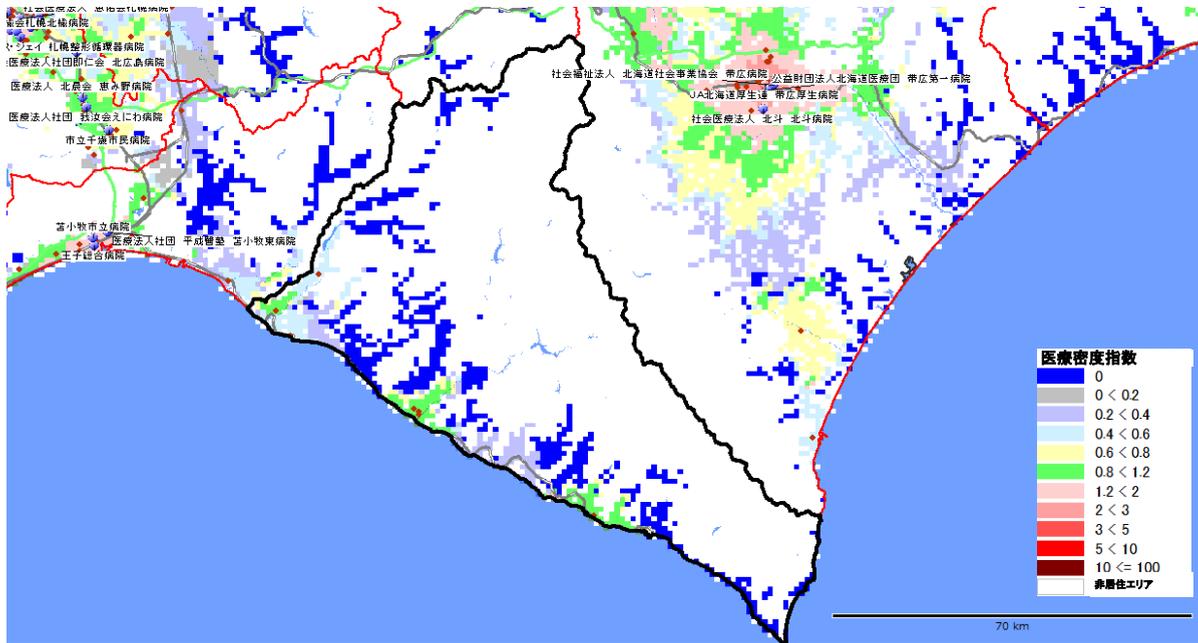
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が351床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に261床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、90床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には162床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

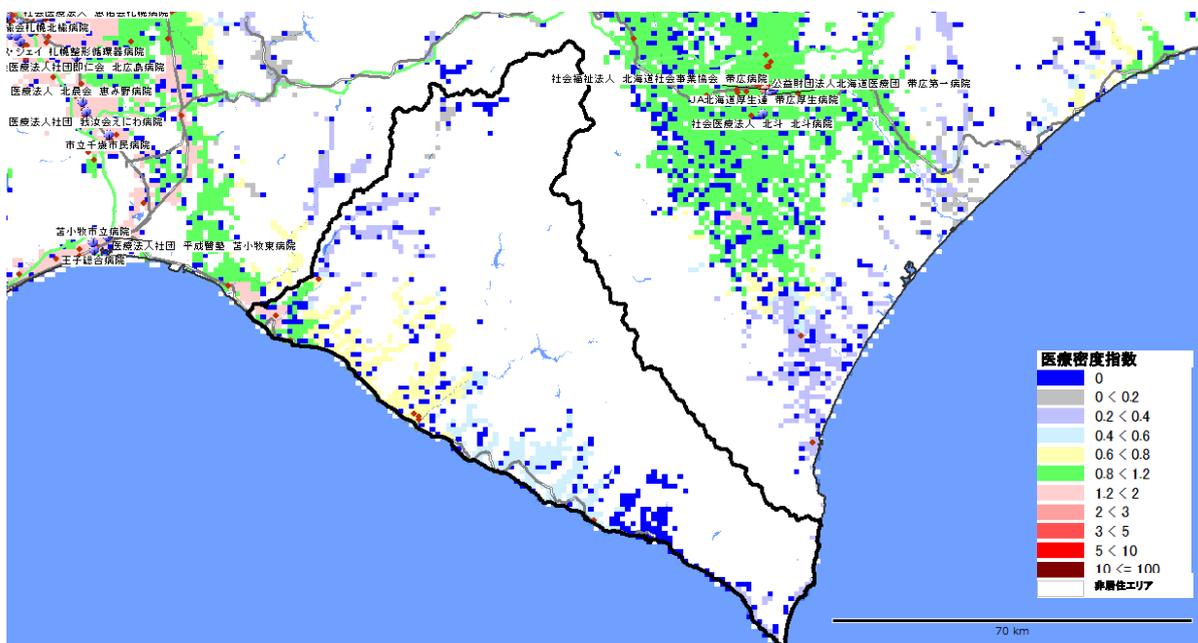


3. 医療密度⁵

図表1-11-1 急性期医療密度指数マップ



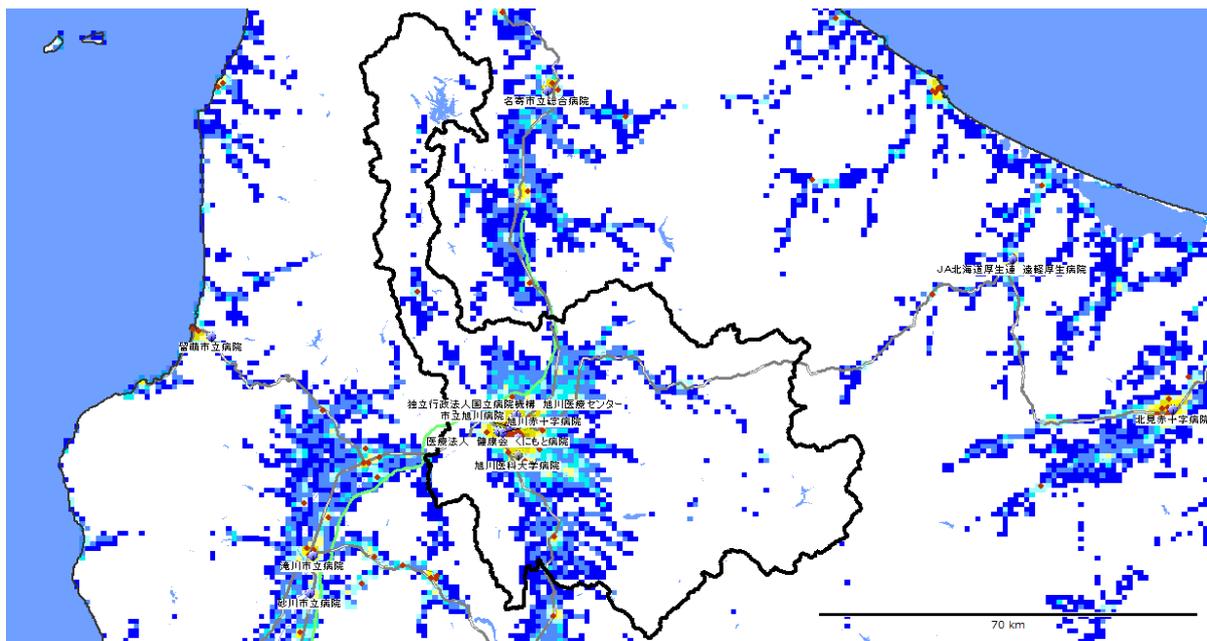
図表1-11-2 慢性期医療密度指数マップ



1-12. かみかわちゅうぶ 上川中部医療圏

構成市区町村¹⁰ [旭川市](#) [鷹栖町](#) [東神楽町](#) [当麻町](#)
[比布町](#) [愛別町](#) [上川町](#) [東川町](#)
[美瑛町](#) [幌加内町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(上川中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上川中部(旭川市)は、総人口約390千人(2015年推計)、面積4238km²、人口密度は92人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上川中部の総人口は2025年に354千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に288千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の63千人が、2025年にかけて82千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には78千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上川中部の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値63)、介護給付費は277千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上川中部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.9、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.61で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が57(病院医師数63、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は71で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は71と非常に多い。上川中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の旭川厚生病院(Ⅲ群)、旭川赤十字病院(Ⅱ群・救命)、旭川医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の市立旭川病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上川中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6625人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3449床(偏差値46)、高齢者住宅等が3176床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4773人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム47、軽費ホーム56、グループホーム72、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1823人(75歳以上1000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上川中部医療圏の総人口は、2005年413468人が、2015年に389605人と6%減少し、2025年の人口が353914人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

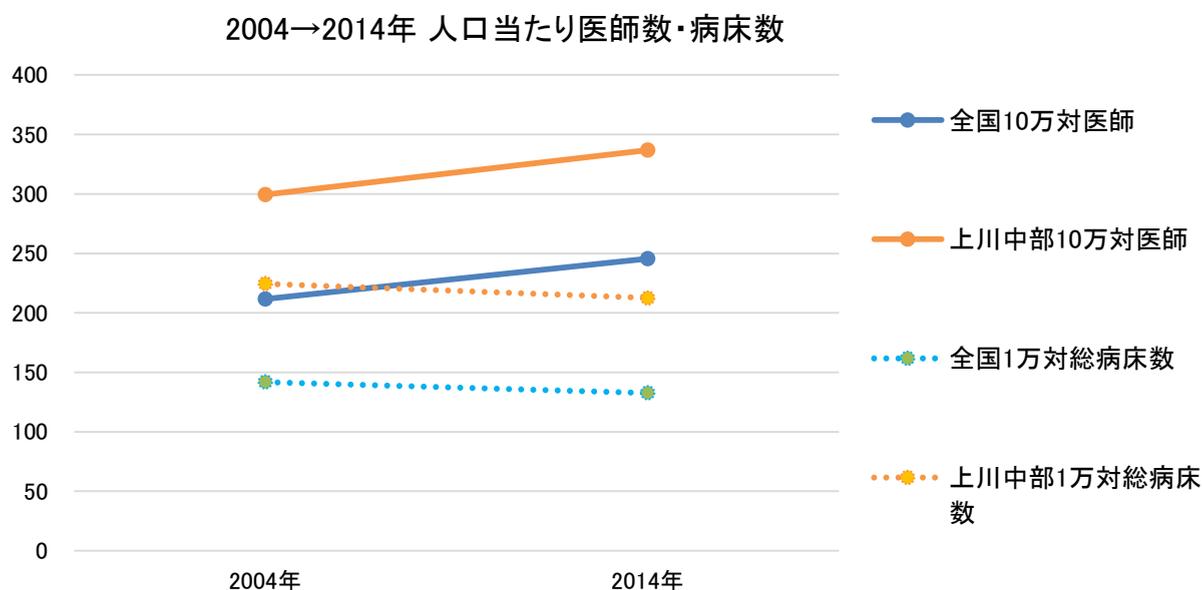
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が46(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に43(人口10万人当たり11病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が291(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に274(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、17診療所が減少した。

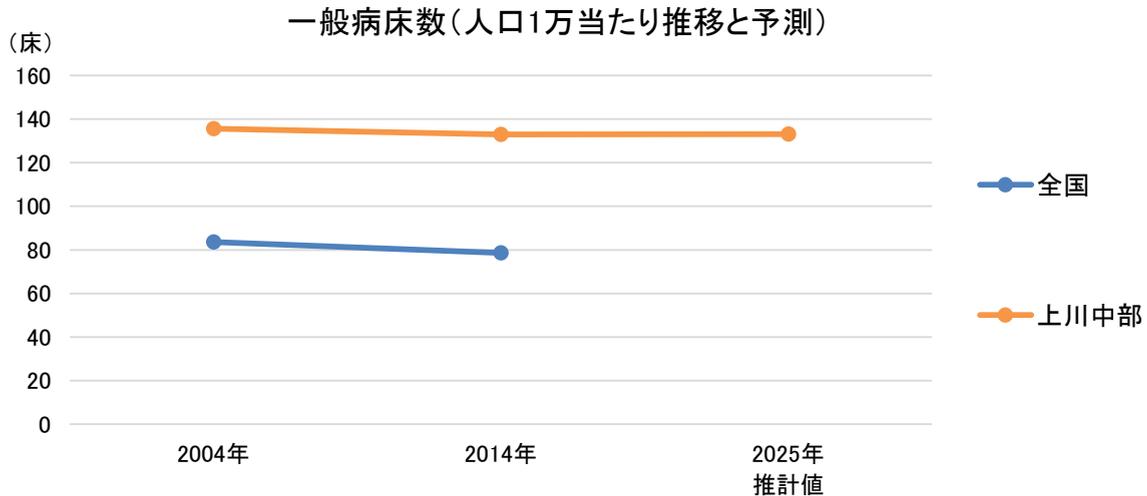
2004年の総病床数が9281床(人口1万人当たり224(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に8279床(人口1万人当たり212(全国平均133)偏差値64)と、1002床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1238人(人口10万人当たり299人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2014年に1312人(人口10万人当たり337人(全国平均246人)偏差値59)と、74人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



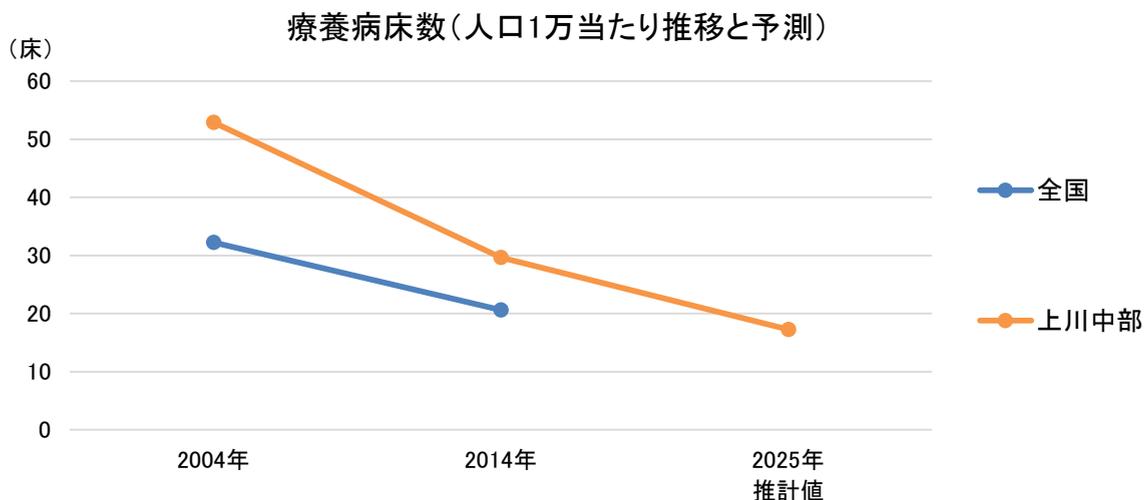
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5609床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に5182床(人口1万人当たり133(全国平均79)偏差値70)と、427床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4712床(2025年の推計人口1万人当たり133)になることが予想される。



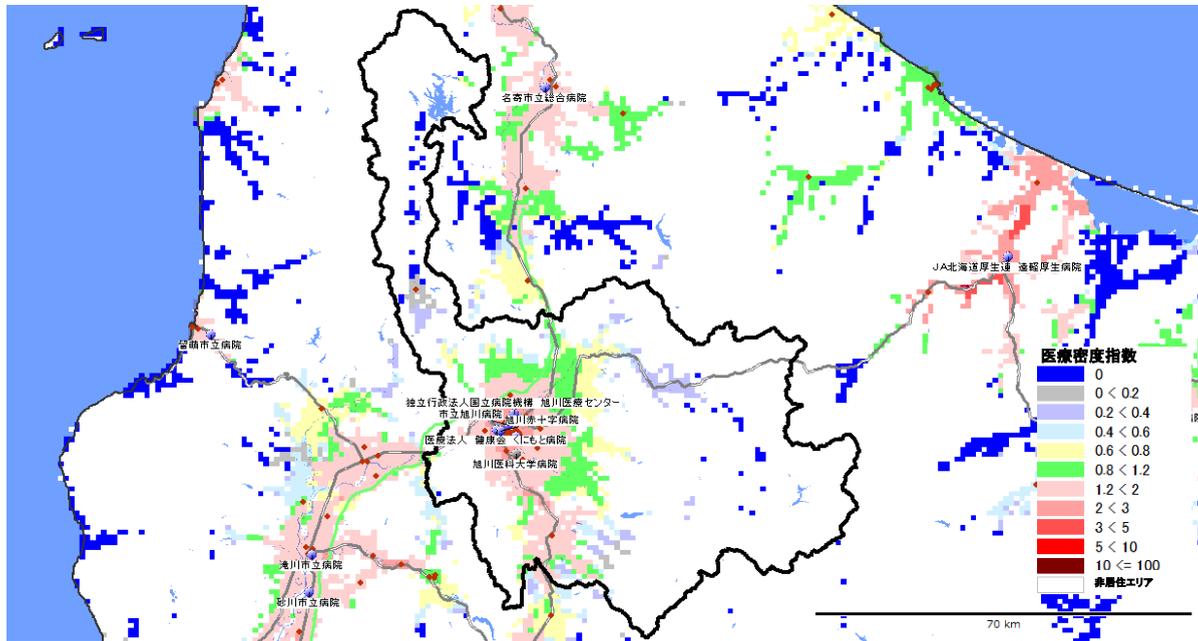
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2272床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に1860床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、412床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1407床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

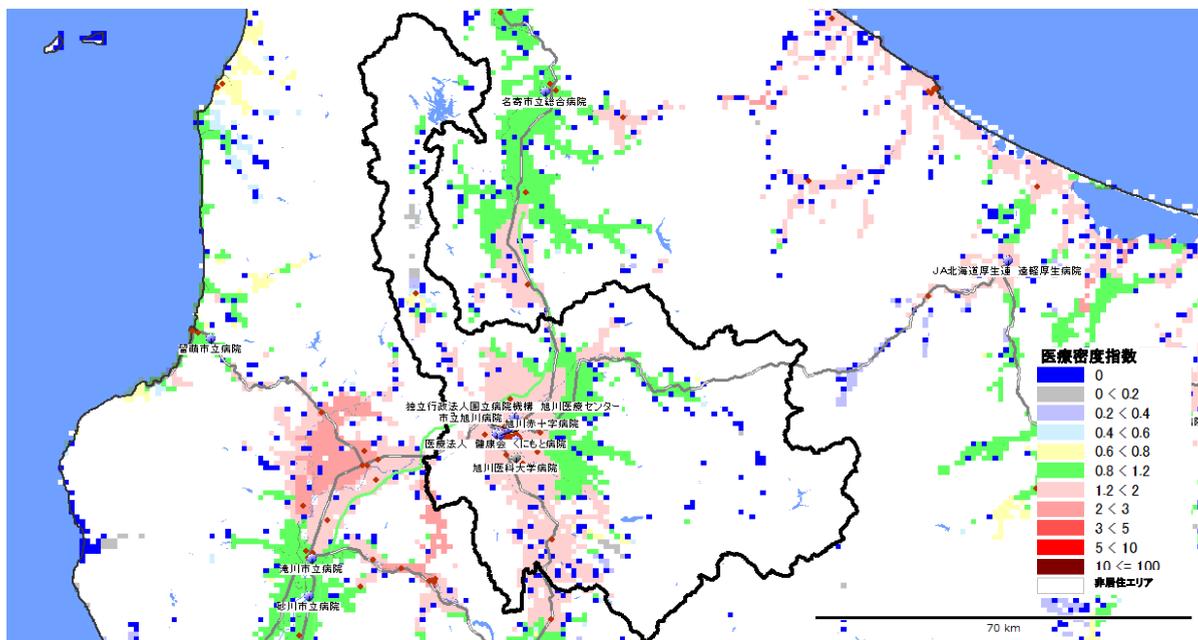


3. 医療密度⁵

図表1-12-1 急性期医療密度指数マップ



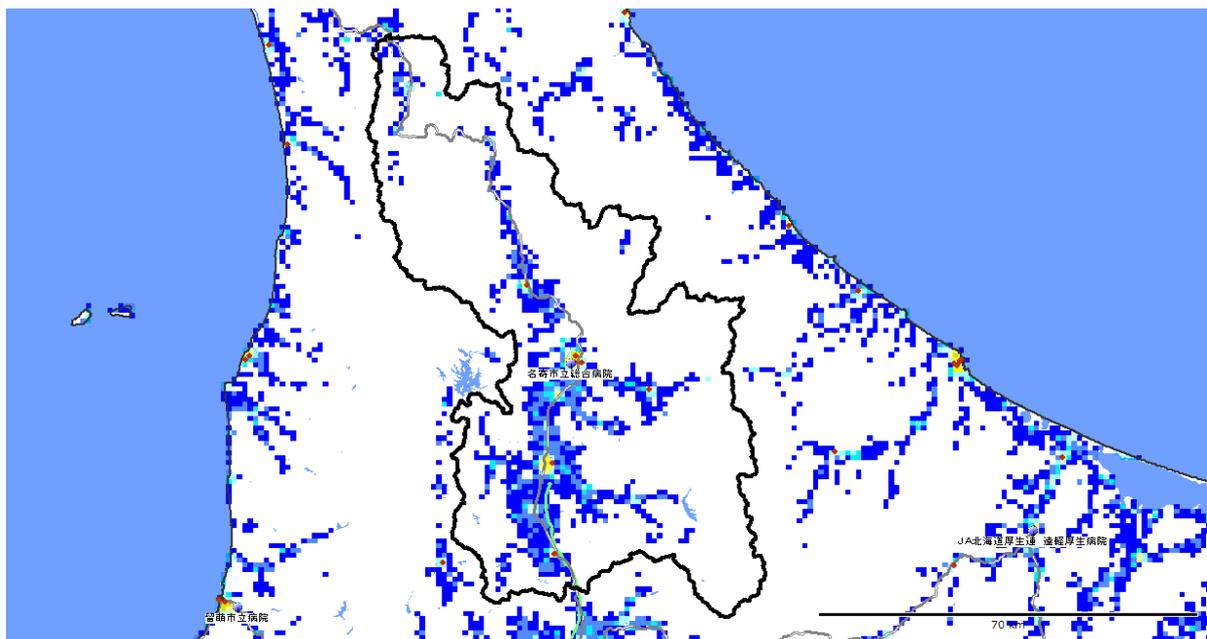
図表1-12-2 慢性期医療密度指数マップ



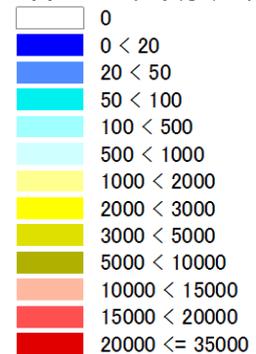
1-13. かみかわほくぶ 上川北部医療圏

構成市区町村¹⁰ [士別市](#) [名寄市](#) [和寒町](#) [剣淵町](#)
[下川町](#) [美深町](#) [音威子府村](#) [中川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（上川北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 上川北部(士別市)は、総人口約67千人(2015年推計)、面積4197km²、人口密度は16人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 上川北部の総人口は2025年に59千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 上川北部の一人当たり医療費(国保)は371千円(偏差値63)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 上川北部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.41、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.82で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数50、診療所医師数34)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。上川北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の名寄市立総合病院(Ⅲ群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 上川北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1196人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が887床(偏差値57)、高齢者住宅等が309床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、895人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム42、軽費ホーム54、グループホーム51、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、97人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上川北部医療圏の総人口は、2005年76063人が、2015年に67399人と11%減少し、2025年の人口が59011人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

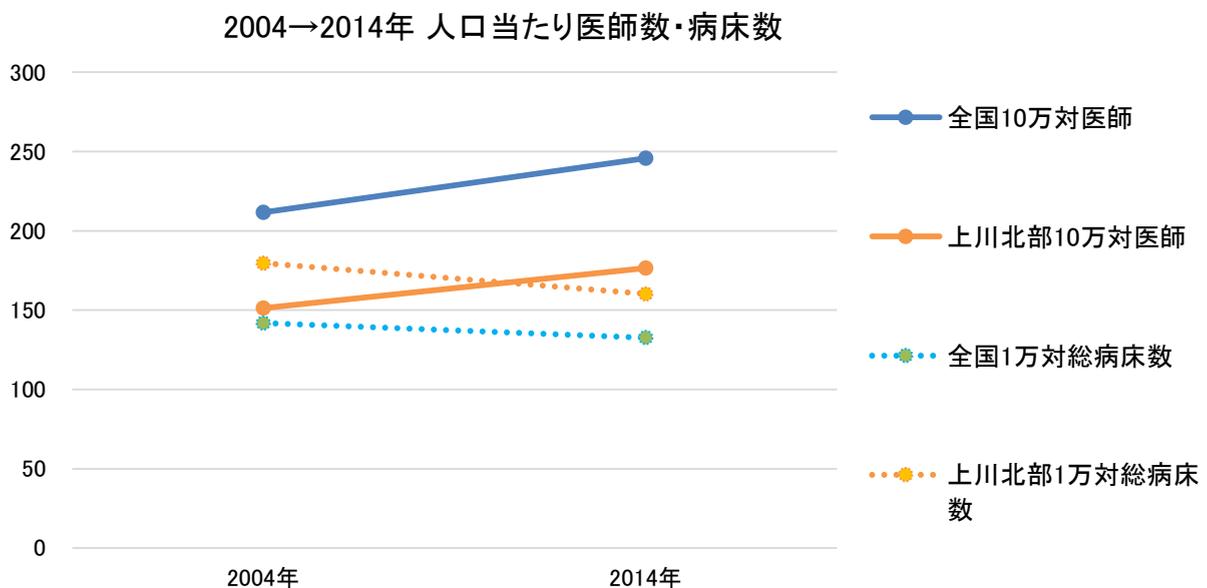
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に40(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値40)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1366床(人口1万人当たり180(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1080床(人口1万人当たり160(全国平均133)偏差値55)と、286床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

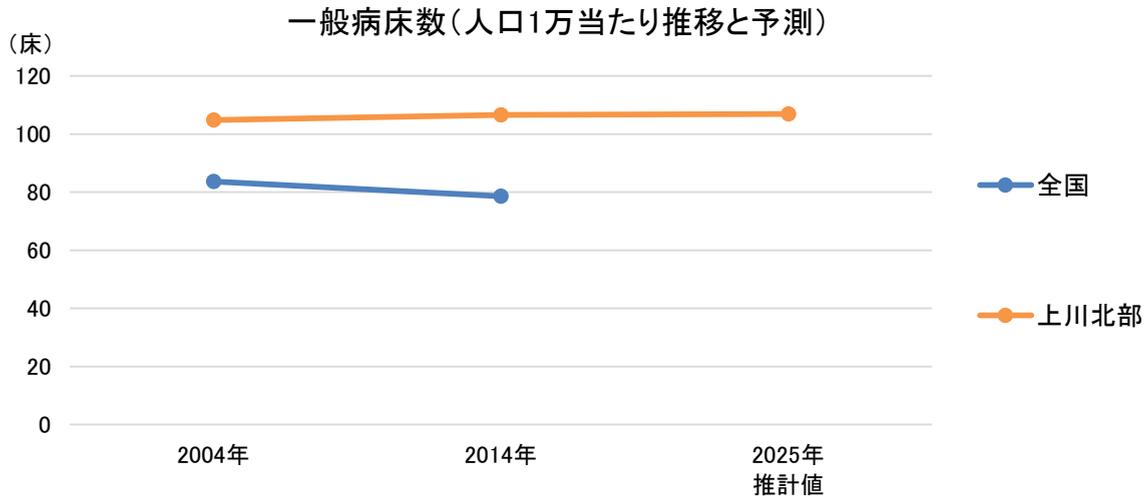
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が115人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に119人(人口10万人当たり177人(全国平均246人)偏差値43)と、4人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

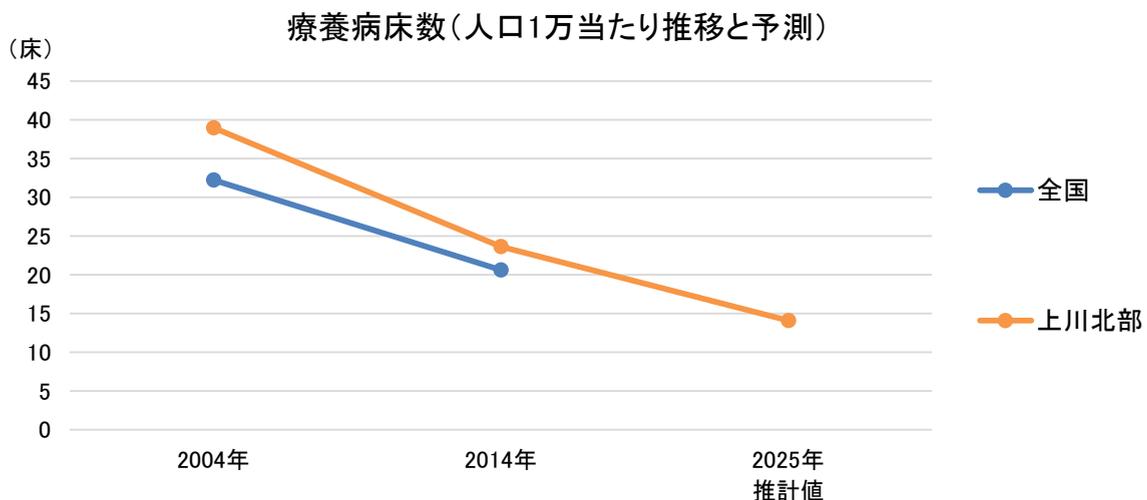
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が797床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に718床(人口1万人当たり107(全国平均79)偏差値60)と、79床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には631床(2025年の推計人口1万人当たり107)になることが予想される。



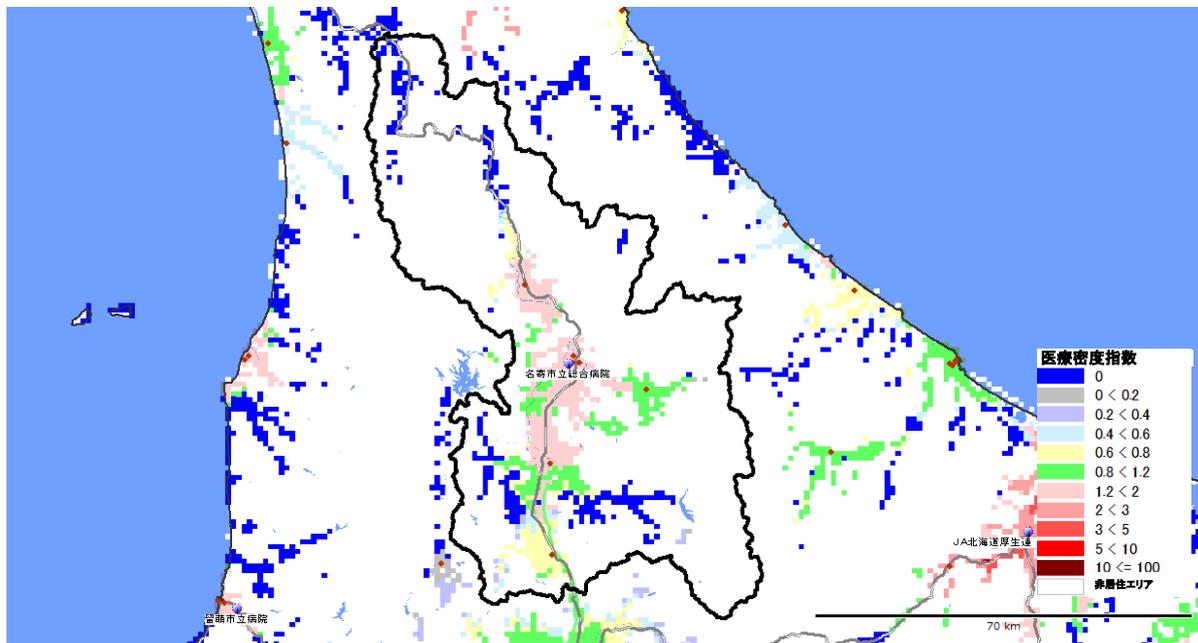
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が400床(75歳以上1000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に303床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値53)と、97床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には196床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

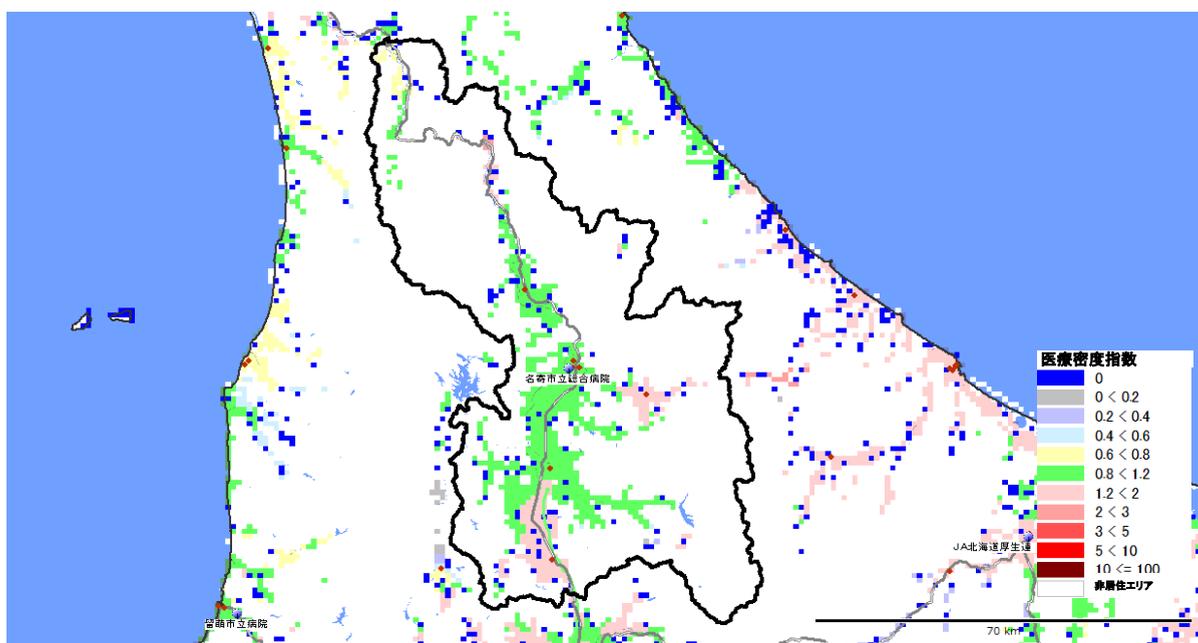


3. 医療密度⁵

図表1-13-1 急性期医療密度指数マップ



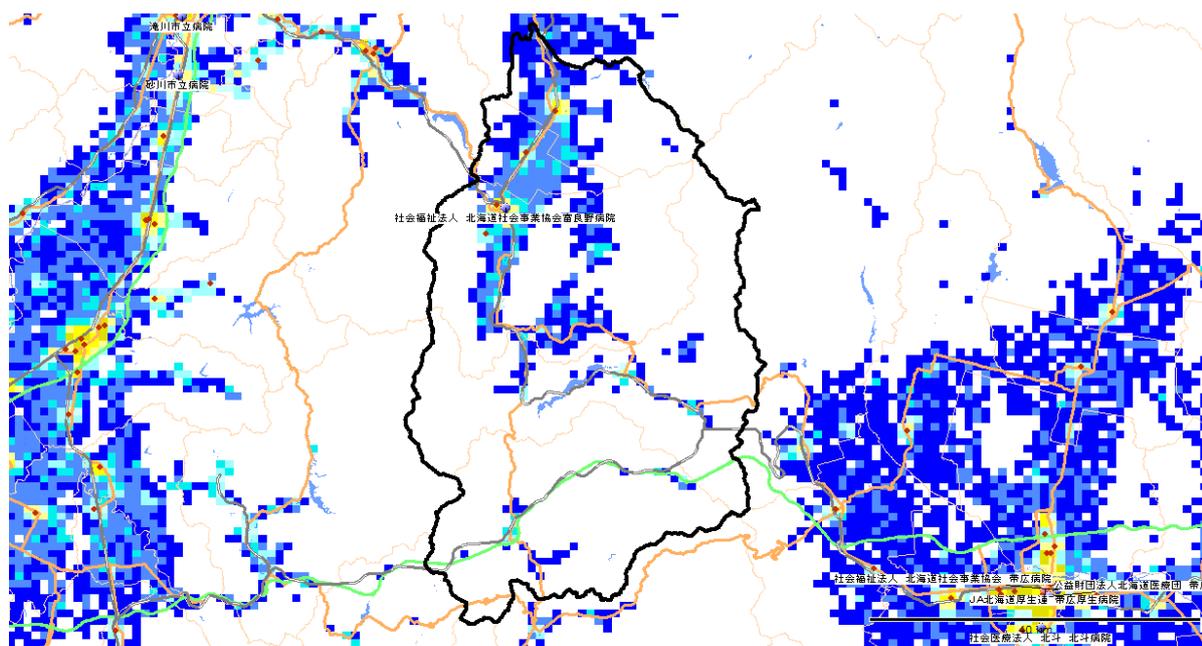
図表1-13-2 慢性期医療密度指数マップ



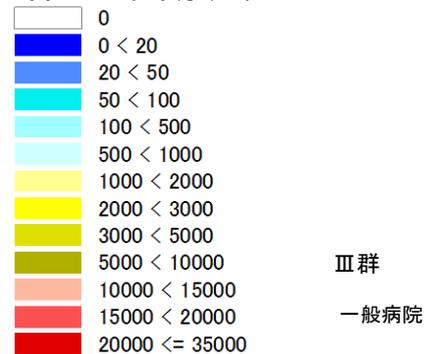
1-14. ふらの 富良野医療圏

構成市区町村¹⁰ [富良野市](#) [上富良野町](#) [中富良野町](#) [南富良野町](#)
[占冠村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



(富良野医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富良野(富良野市)は、総人口約44千人(2015年推計)、面積2184km²、人口密度は20人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富良野の総人口は2025年に39千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に32千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には8千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富良野の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値55)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富良野の一人当たり急性期医療密度指数²は0.83、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。富良野には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富良野の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、758人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が551床(偏差値63)、高齢者住宅等が207床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、627人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム72、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、96人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+7%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

富良野医療圏の総人口は、2005年47901人が、2015年に43516人と9%減少し、2025年の人口が39081人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

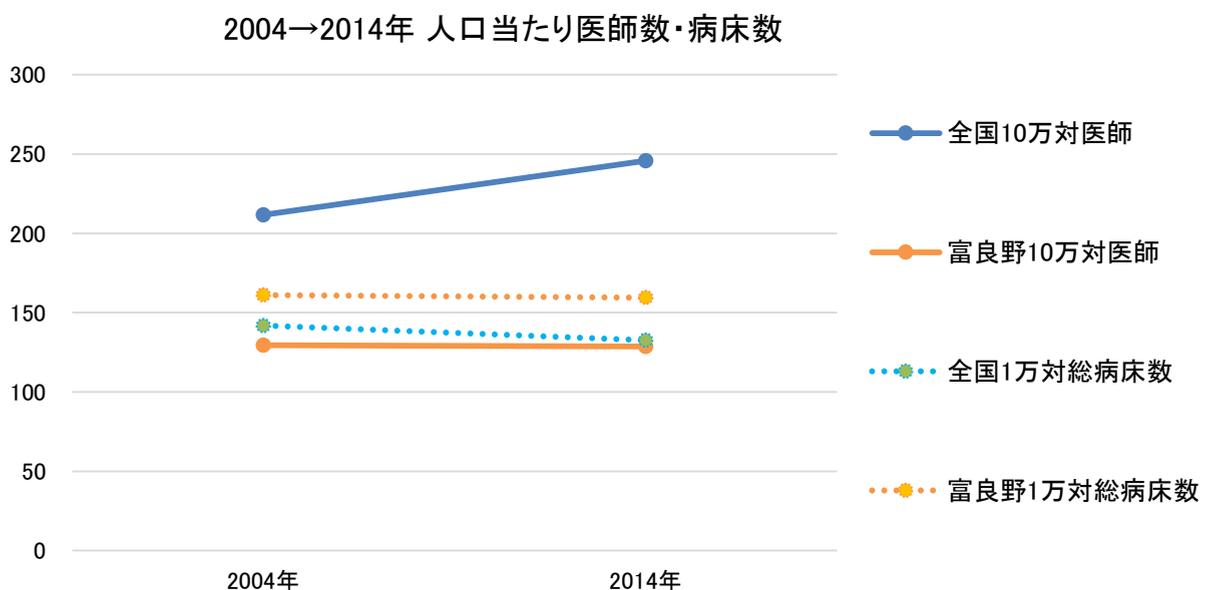
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり10.4病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に5(人口10万人当たり11.5病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が27(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に25(人口10万人当たり57診療所(全国平均79)偏差値39)と、2診療所が減少した。

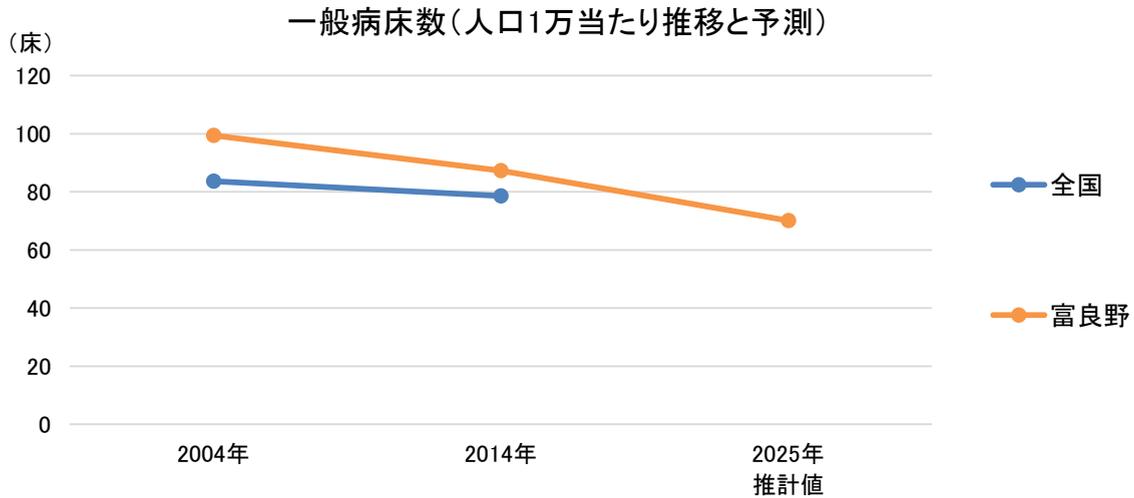
2004年の総病床数が772床(人口1万人当たり161(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に694床(人口1万人当たり159(全国平均133)偏差値55)と、78床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が62人(人口10万人当たり129人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に56人(人口10万人当たり129人(全国平均246人)偏差値38)と、6人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



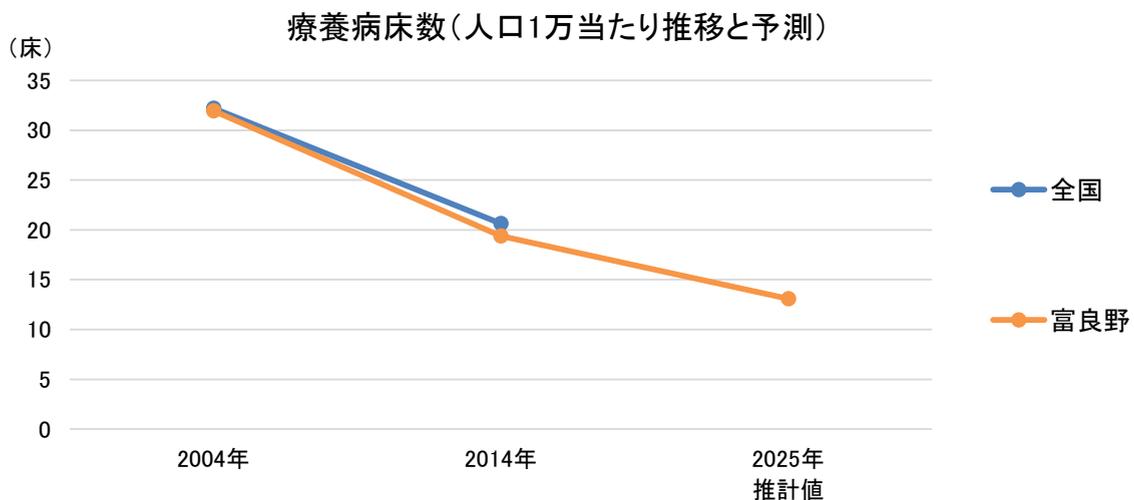
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が476床(人口1万人当たり99(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に380床(人口1万人当たり87(全国平均79)偏差値53)と、96床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には274床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

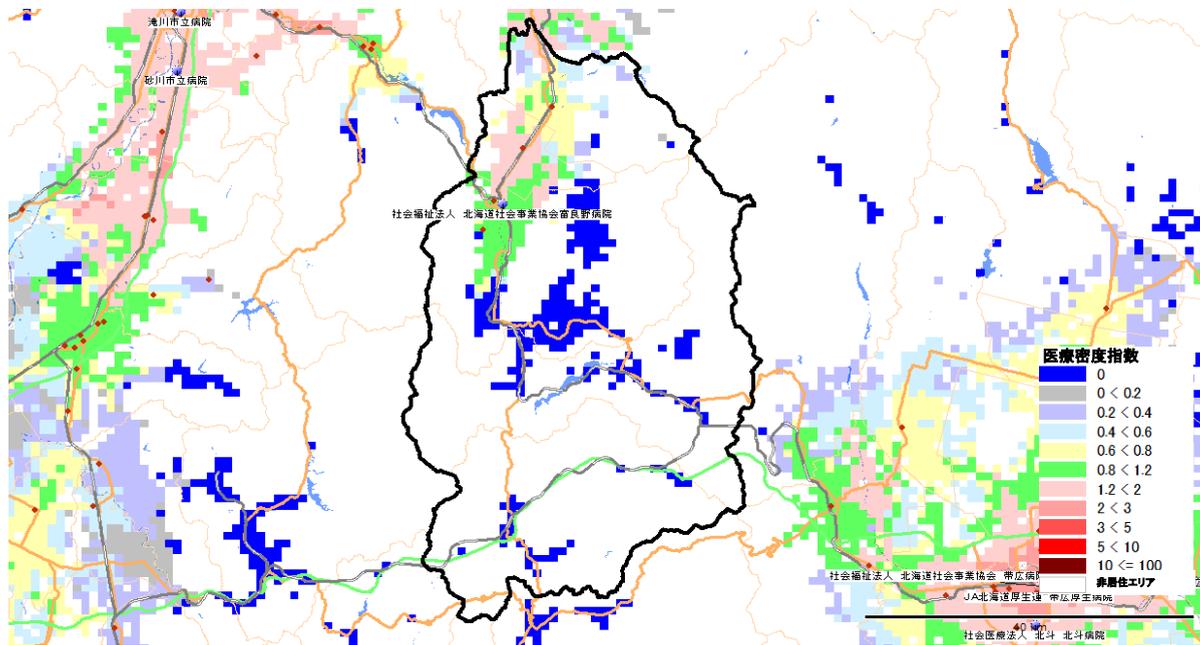
2004年の療養病床(病院+診療所)が172床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に140床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、32床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には105床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



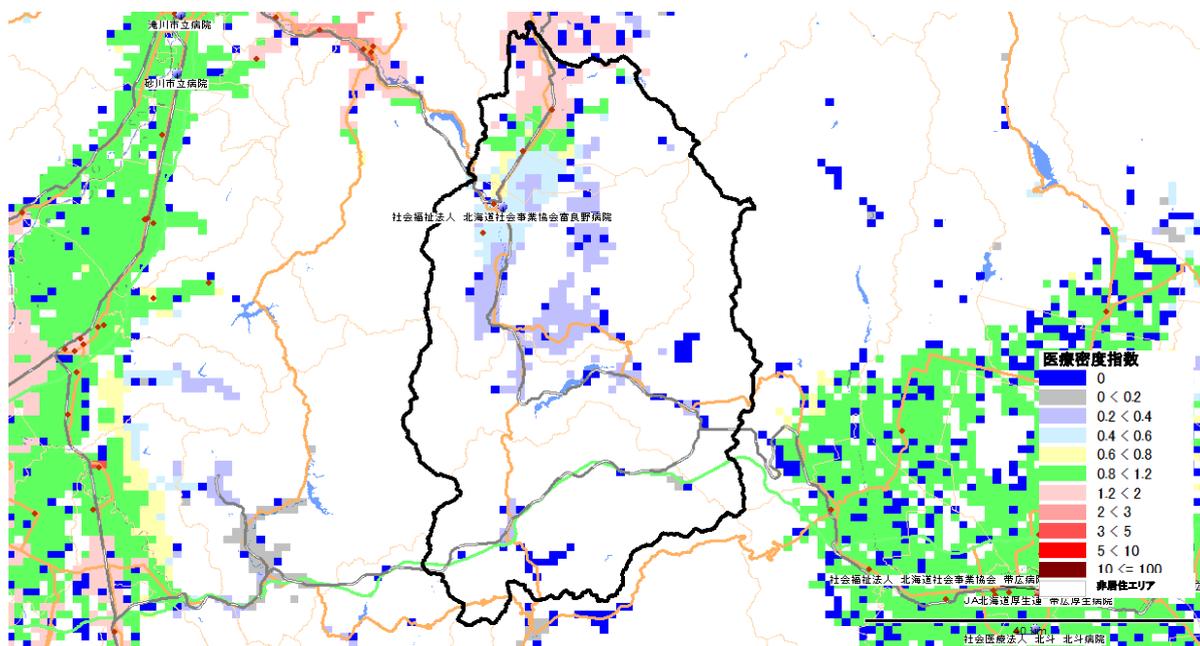
1. 北海道（2016年版）

3. 医療密度⁵

図表1-14-1 急性期医療密度指数マップ



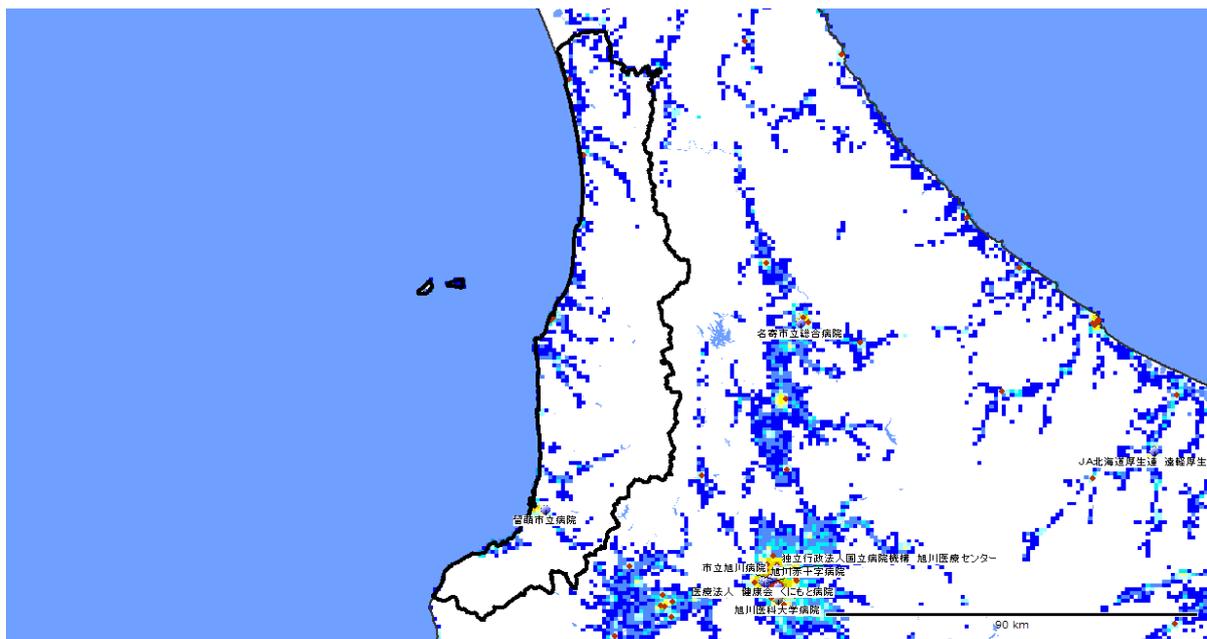
図表1-14-2 慢性期医療密度指数マップ



1-15. るもい 留萌医療圏

構成市区町村¹⁰ [留萌市](#) [増毛町](#) [小平町](#) [苫前町](#)
[羽幌町](#) [初山別村](#) [遠別町](#) [天塩町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（留萌医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 留萌（留萌市）は、総人口約48千人（2015年推計）、面積3446km²、人口密度は14人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 留萌の総人口は2025年に40千人へと減少し（2015年比-17%）、2040年に29千人へと減少する（2025年比-28%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて10千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年には9千人へと減少する（2025年比-10%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 留萌の一人当たり医療費（国保）は424千円（偏差値75）、介護給付費は241千円（偏差値47）であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 留萌の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.01で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が41（病院医師数42、診療所医師数42）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。留萌には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 留萌の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、907人（75歳以上1000人当たりの偏差値47）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が597床（偏差値52）、高齢者住宅等が310床（偏差値45）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、678人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設35、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム45、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム62、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員（在宅）の合計は、164人（75歳以上1000人当たりの偏差値56）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

留萌医療圏の総人口は、2005年58710人が、2015年に48440人と17%減少し、2025年の人口が40151人と予測され、2005年→2025年の間に32%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

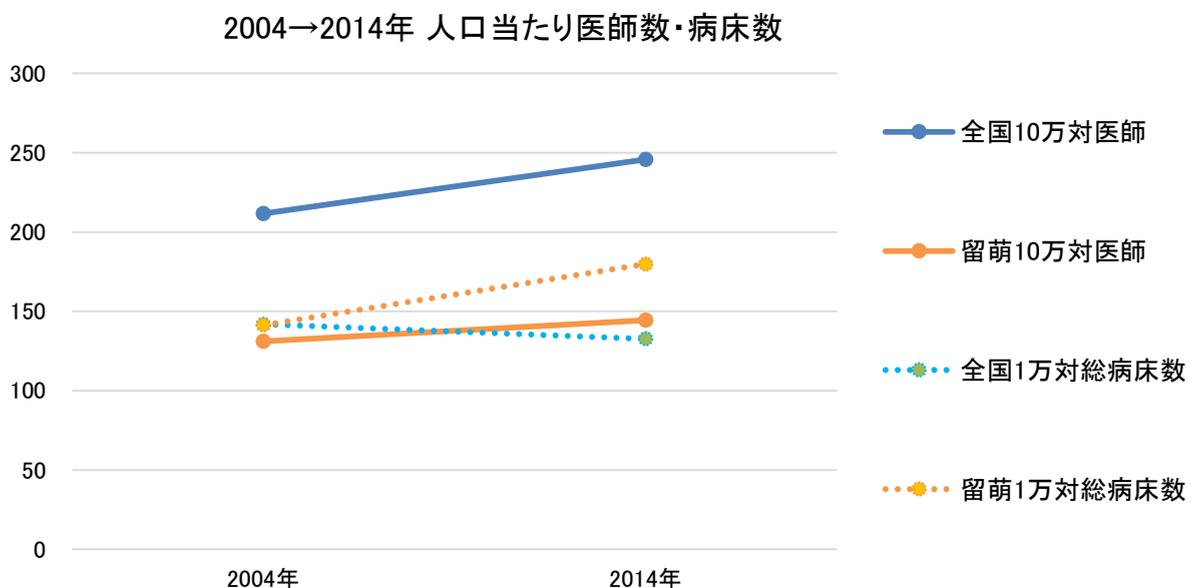
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に7(人口10万人当たり14.5病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に38(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値50)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が830床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に871床(人口1万人当たり180(全国平均133)偏差値58)と、41床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

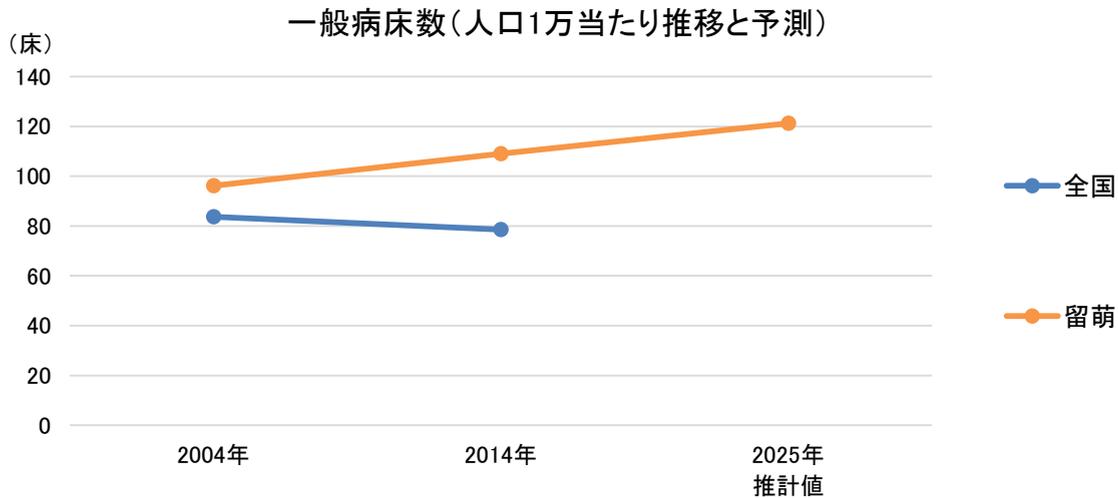
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が77人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に70人(人口10万人当たり145人(全国平均246人)偏差値40)と、7人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

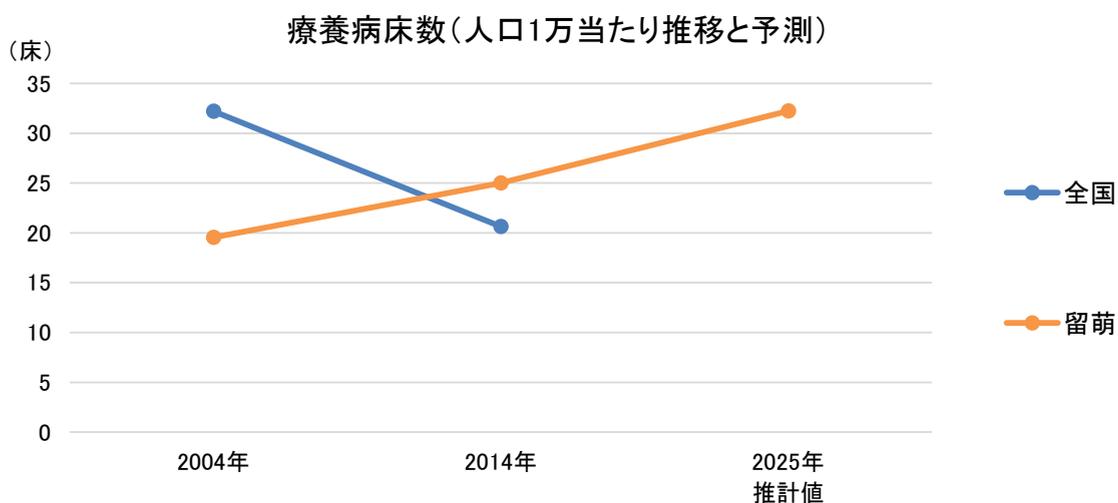
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が565床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に528床(人口1万人当たり109(全国平均79)偏差値61)と、37床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には487床(2025年の推計人口1万人当たり121)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

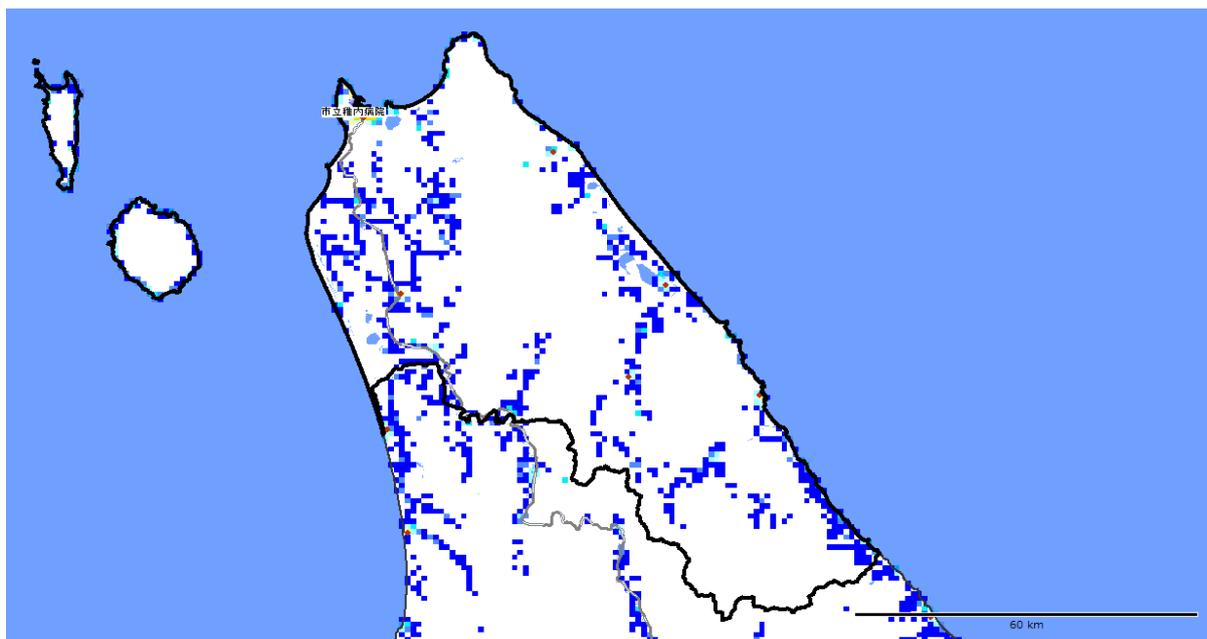
2004年の療養病床(病院+診療所)が151床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に240床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、89床の増加、率にして59%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には338床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。



1-16. そ う や 宗谷医療圏

構成市区町村¹⁰ [稚内市](#) [猿払村](#) [浜頓別町](#) [中頓別町](#)
[枝幸町](#) [豊富町](#) [礼文町](#) [利尻町](#)
[利尻富士町](#) [幌延町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(宗谷医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宗谷(稚内市)は、総人口約69千人(2015年推計)、面積4625km²、人口密度は15人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宗谷の総人口は2025年に60千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には12千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宗谷の一人当たり医療費(国保)は334千円(偏差値54)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宗谷の一人当たり急性期医療密度指数²は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.21で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が35(病院医師数40、診療所医師数30)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。宗谷には、年間全身麻酔件数が500例以上の市立稚内病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宗谷の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1067人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が784床(偏差値60)、高齢者住宅等が283床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、861人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム73、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、66人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+2%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宗谷医療圏の総人口は、2005年78452人が、2015年に68709人と12%減少し、2025年の人口が59908人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

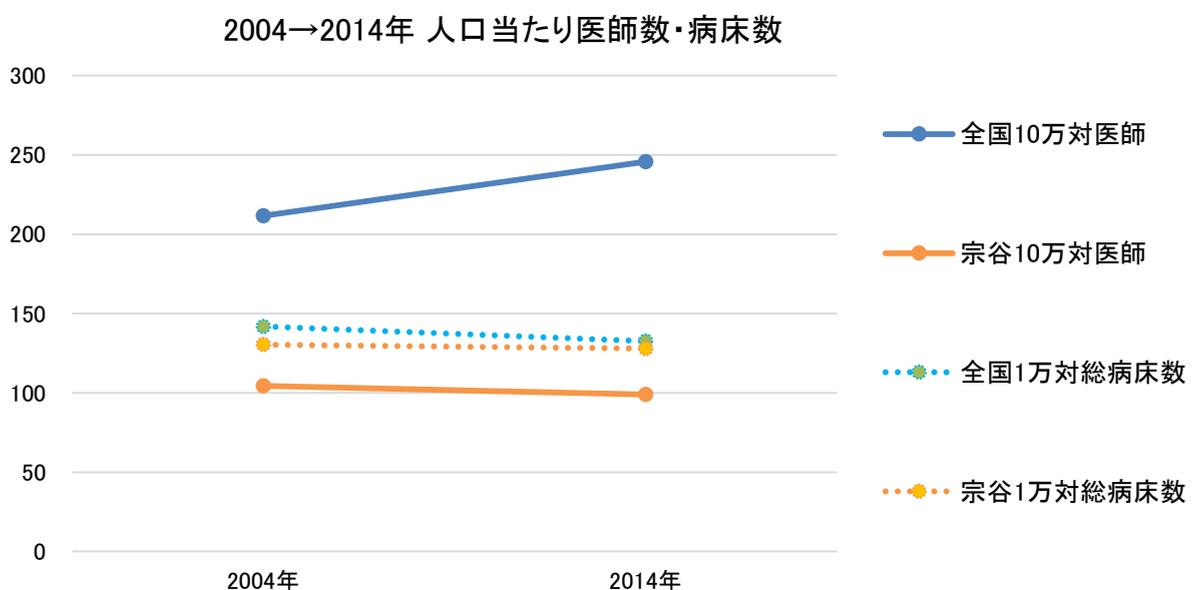
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり14病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2014年に9(人口10万人当たり13.1病院(全国平均6.7)偏差値66)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に42(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値41)と、6診療所が減少した。

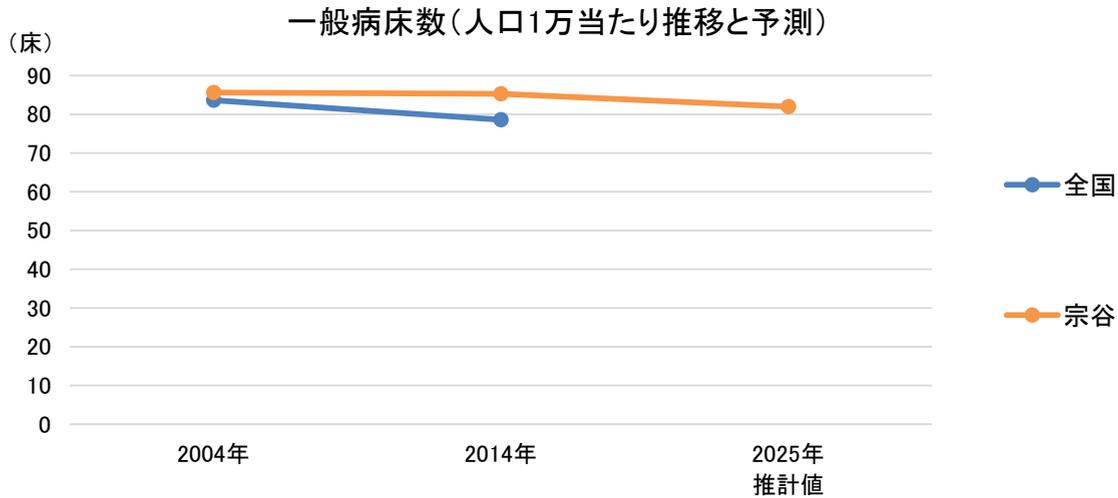
2004年の総病床数が1023床(人口1万人当たり130(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に879床(人口1万人当たり128(全国平均133)偏差値49)と、144床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が82人(人口10万人当たり105人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に68人(人口10万人当たり99人(全国平均246人)偏差値35)と、14人の減少、率にして17%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



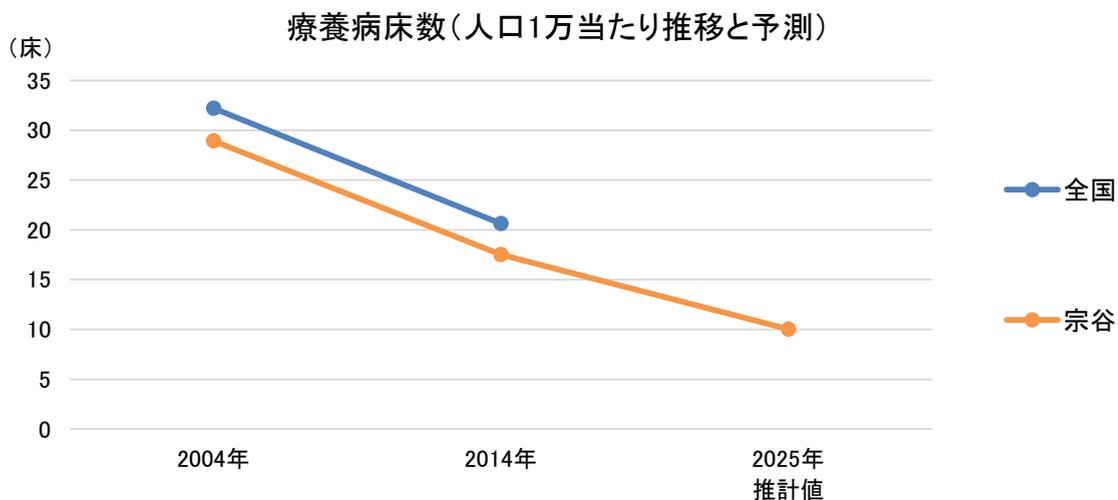
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が672床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に586床(人口1万人当たり85(全国平均79)偏差値52)と、86床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には491床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



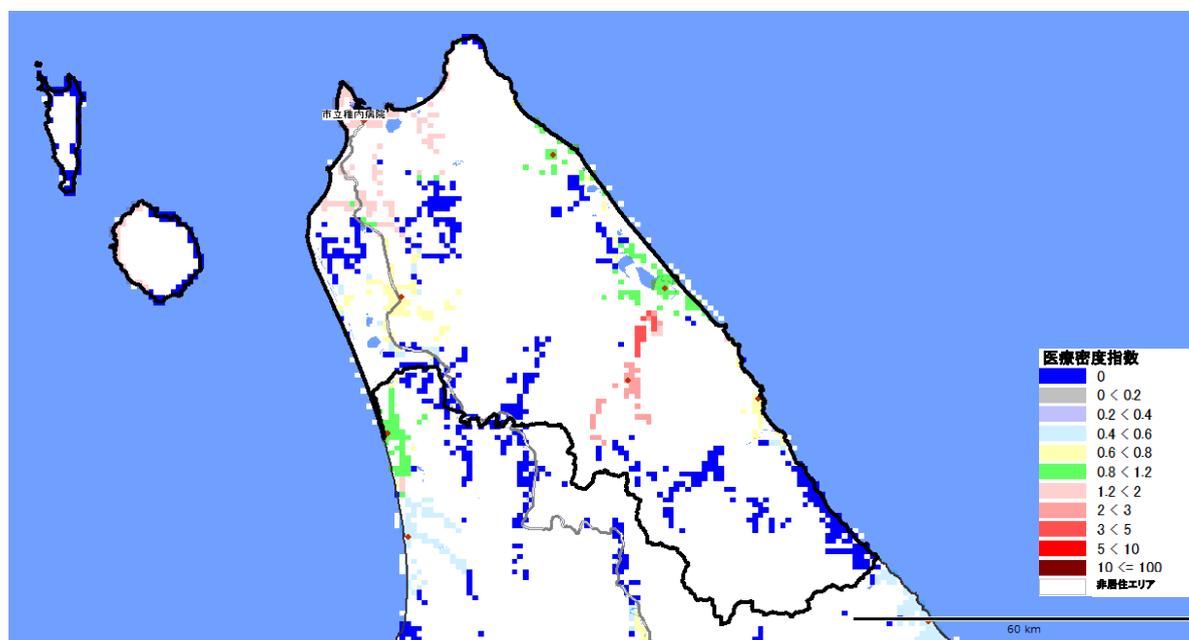
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が247床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に189床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、58床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には125床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

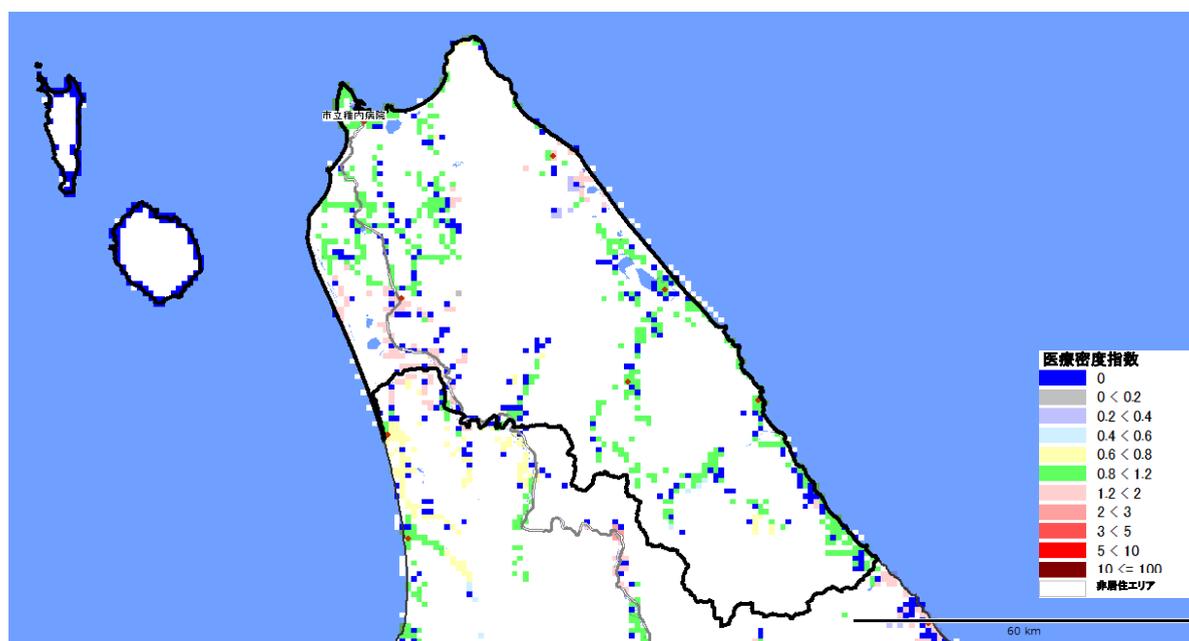


3. 医療密度⁵

図表1-16-1 急性期医療密度指数マップ



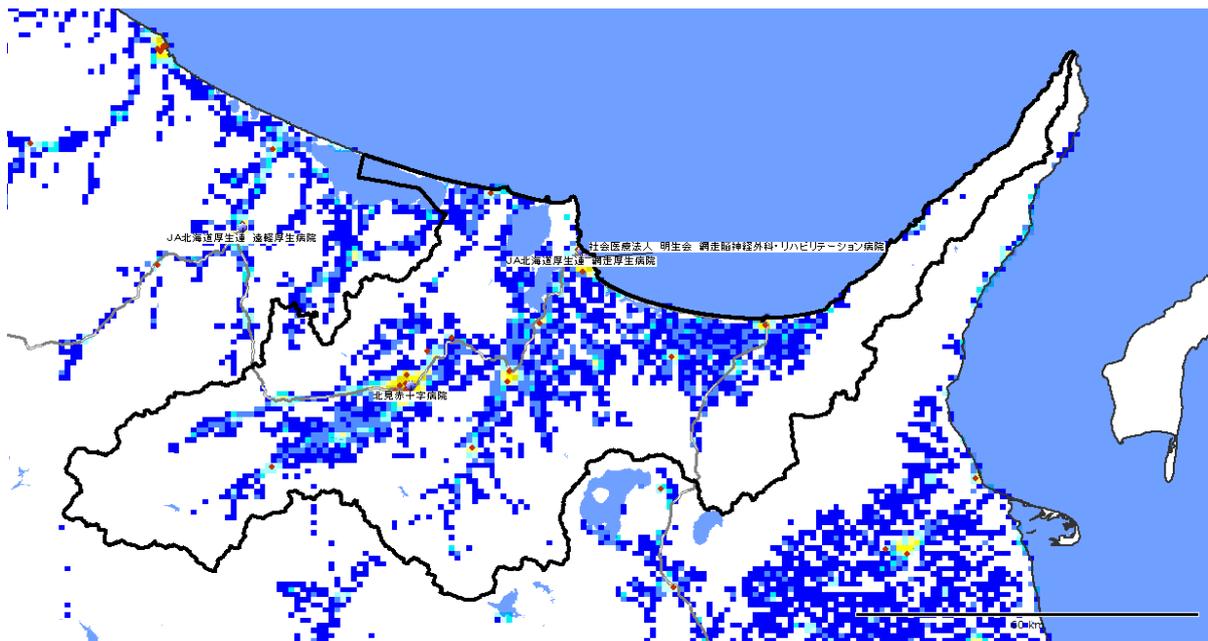
図表1-16-2 慢性期医療密度指数マップ



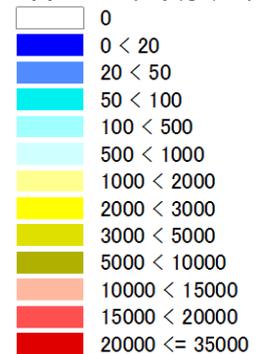
1-17. ほくもう 北網医療圏

構成市区町村¹⁰ [北見市](#) [網走市](#) [美幌町](#) [津別町](#)
 [斜里町](#) [清里町](#) [小清水町](#) [訓子府町](#)
 [置戸町](#) [大空町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（北網医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北網（北見市）は、総人口約224千人（2015年推計）、面積5542km²、人口密度は40人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北網の総人口は2025年に202千人へと減少し（2015年比－10%）、2040年に164千人へと減少する（2025年比－19%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて45千人へと増加し（2015年比＋25%）、2040年には44千人へと減少する（2025年比－2%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北網の一人当たり医療費（国保）は337千円（偏差値54）、介護給付費は246千円（偏差値48）であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北網の一人当たり急性期医療密度指数²は1.51、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が41（病院医師数44、診療所医師数36）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。北網には、年間全身麻酔件数が1000例以上の北見赤十字病院（Ⅲ群・救命）、500例以上の網走厚生病院（Ⅲ群）がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値40と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は34で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北網の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、3382人（75歳以上1000人当たりの偏差値47）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1940床（偏差値45）、高齢者住宅等が1442床（偏差値50）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2810人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム39、軽費ホーム72、グループホーム68、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、548人（75歳以上1000人当たりの偏差値53）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は－12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北網医療圏の総人口は、2005年242732人が、2015年に223983人と8%減少し、2025年の人口が202032人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

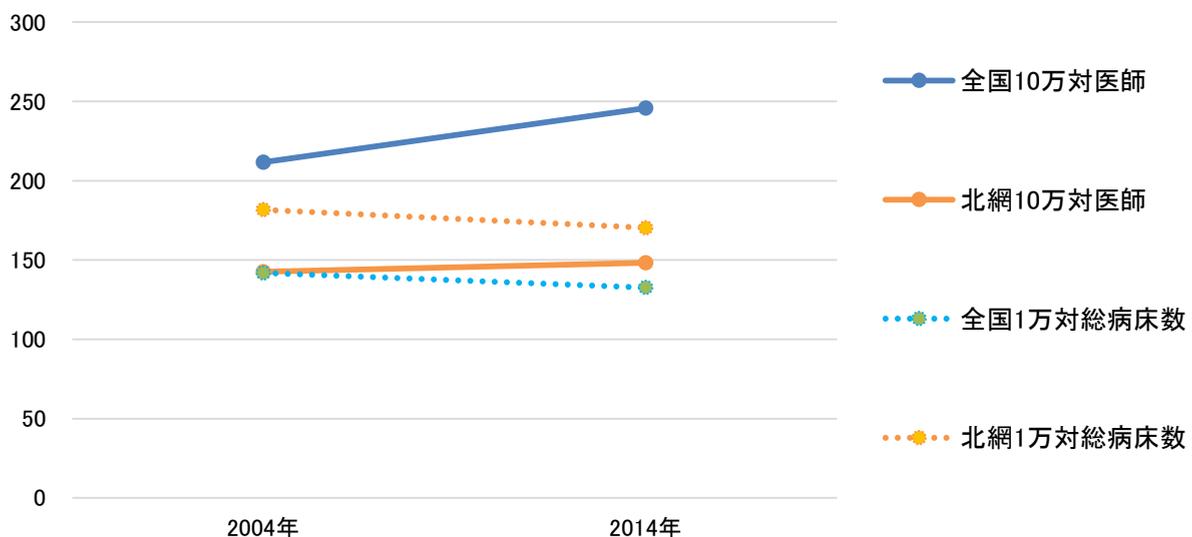
2004年の病院数が27(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に26(人口10万人当たり11.6病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が92(人口10万人当たり38診療所(全国平均76)偏差値31)であったが、2014年に107(人口10万人当たり48診療所(全国平均79)偏差値34)と、15診療所が増加した。

2004年の総病床数が4410床(人口1万人当たり182(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に3814床(人口1万人当たり170(全国平均133)偏差値57)と、596床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が346人(人口10万人当たり143人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に332人(人口10万人当たり148人(全国平均246人)偏差値40)と、14人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

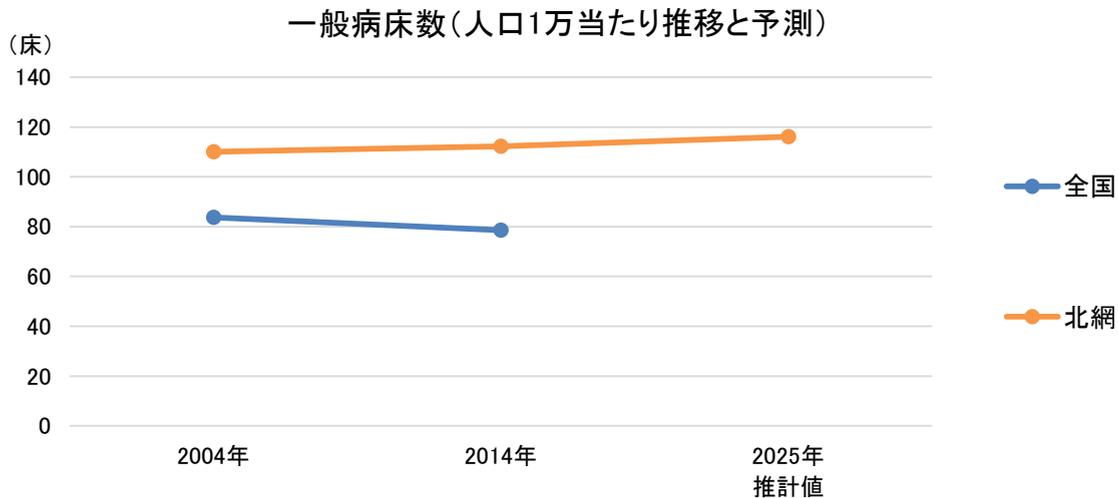
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



1. 北海道（2016年版）

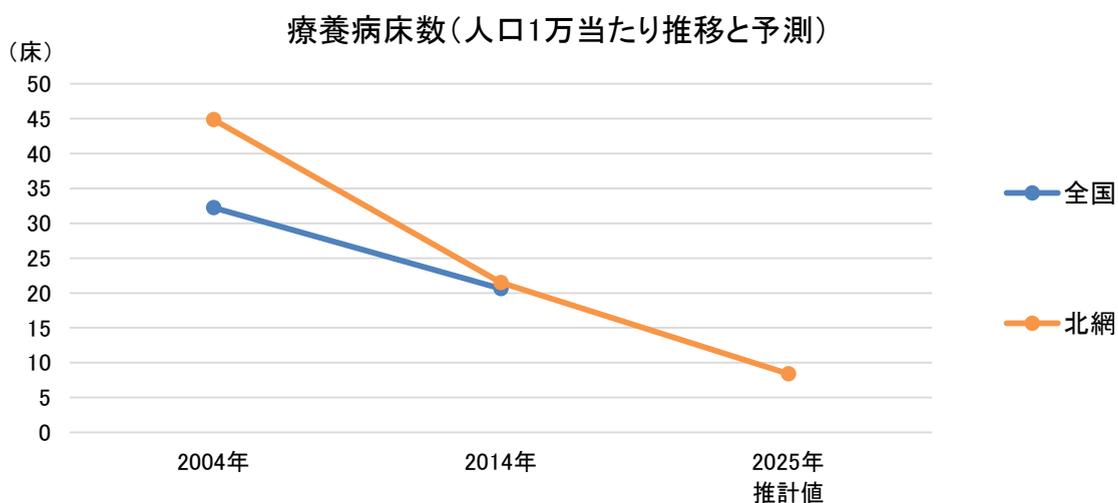
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2670床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に2515床(人口1万人当たり112(全国平均79)偏差値62)と、155床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2345床(2025年の推計人口1万人当たり116)になることが予想される。



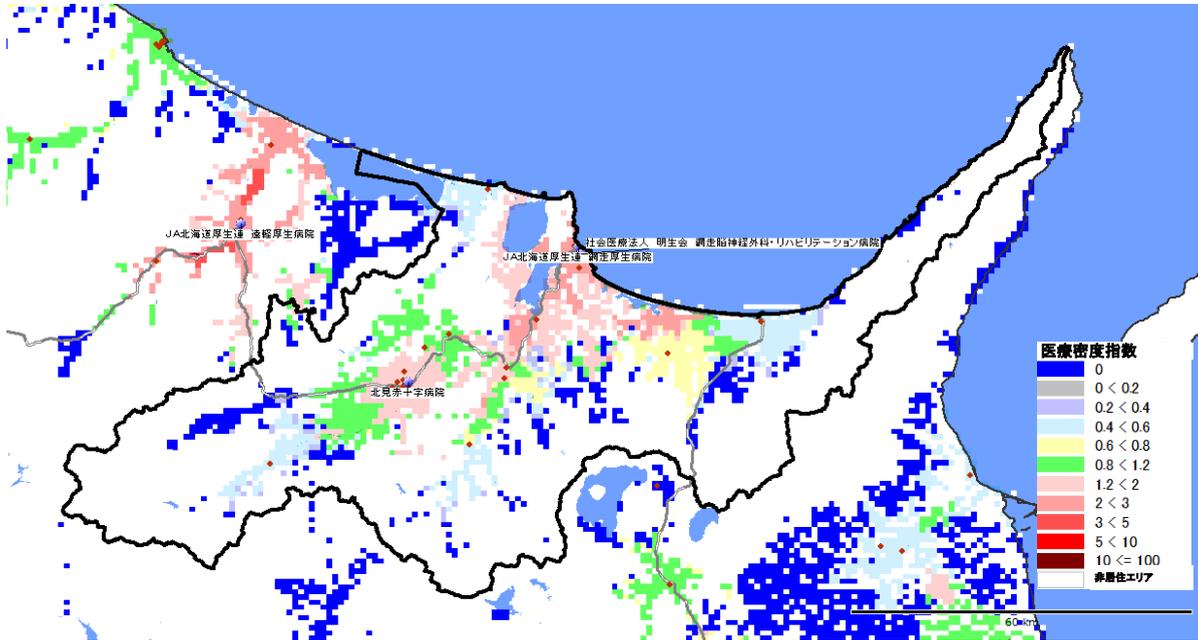
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1134床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に772床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値51)と、362床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には374床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

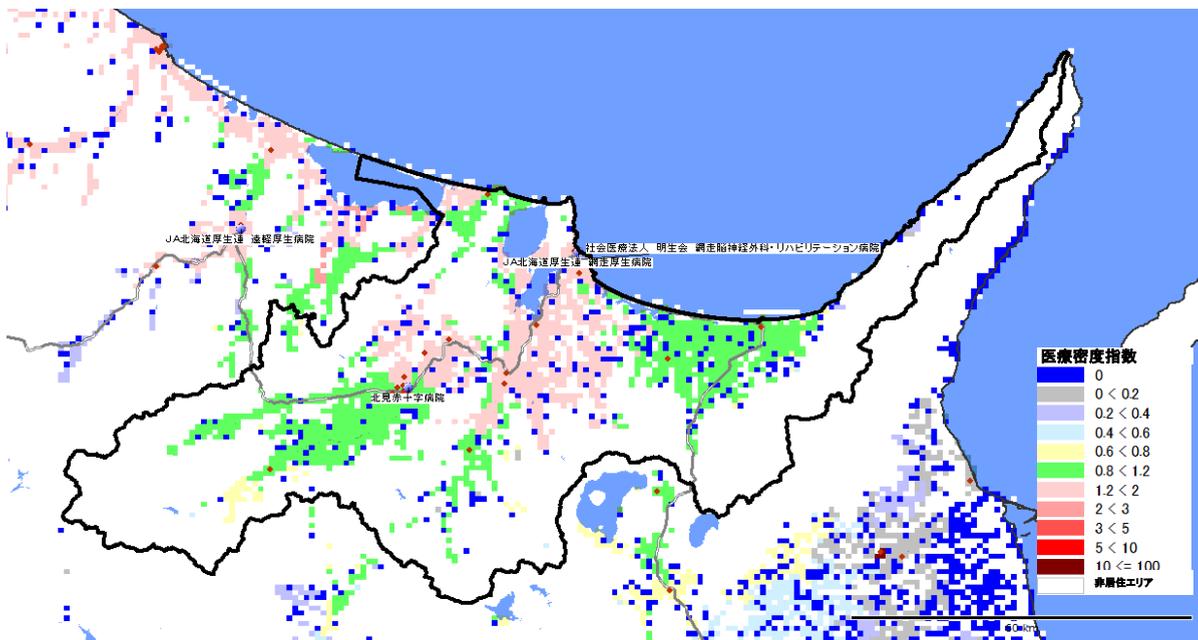


3. 医療密度⁵

図表1-17-1 急性期医療密度指数マップ



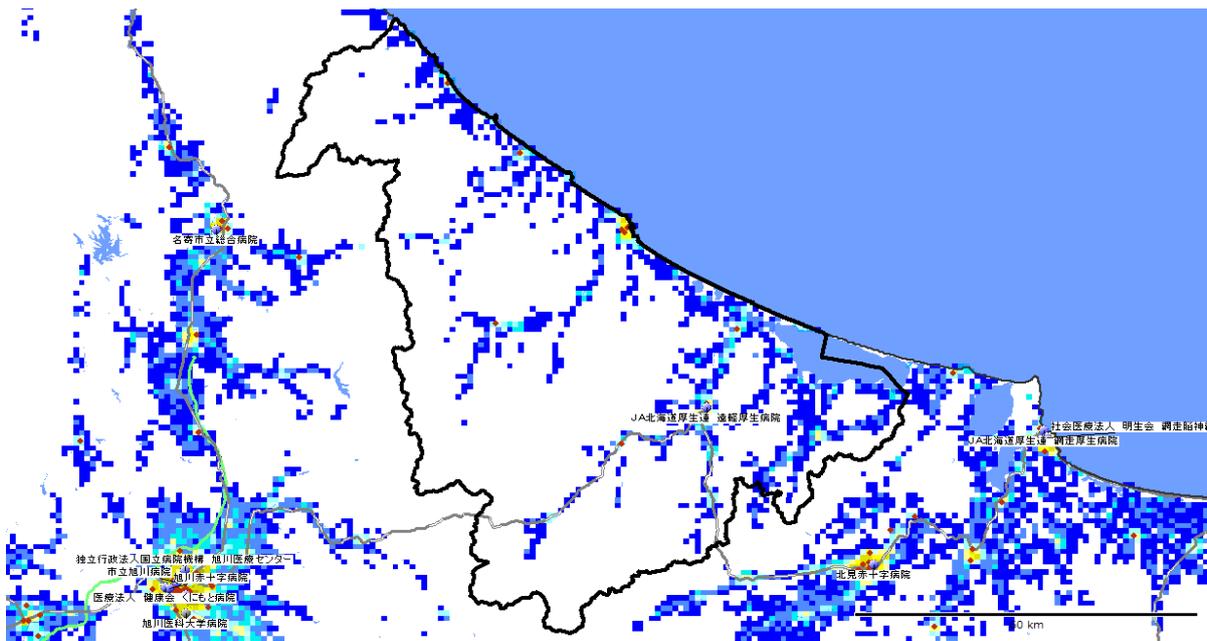
図表1-17-2 慢性期医療密度指数マップ



1-18. えんもん 遠紋医療圏

構成市区町村¹⁰ [紋別市](#) [滝上町](#) [佐呂間町](#) [興部町](#) [遠軽町](#) [西興部村](#) [湧別町](#) [雄武町](#)

人口分布¹（1km²区画単位）



(遠紋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 遠紋(紋別市)は、総人口約71千人(2015年推計)、面積5148km²、人口密度は14人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 遠紋の総人口は2025年に61千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に46千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 遠紋の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値55)、介護給付費は205千円(偏差値37)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 遠紋の一人当たり急性期医療密度指数²は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.22で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が41(病院医師数47、診療所医師数30)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。遠紋には、年間全身麻酔件数が500例以上の遠軽厚生病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値37と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は30で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 遠紋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1058人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が757床(偏差値48)、高齢者住宅等が301床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、835人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム61、グループホーム55、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値30と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、148人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

遠紋医療圏の総人口は、2005年82117人が、2015年に70834人と14%減少し、2025年の人口が60635人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

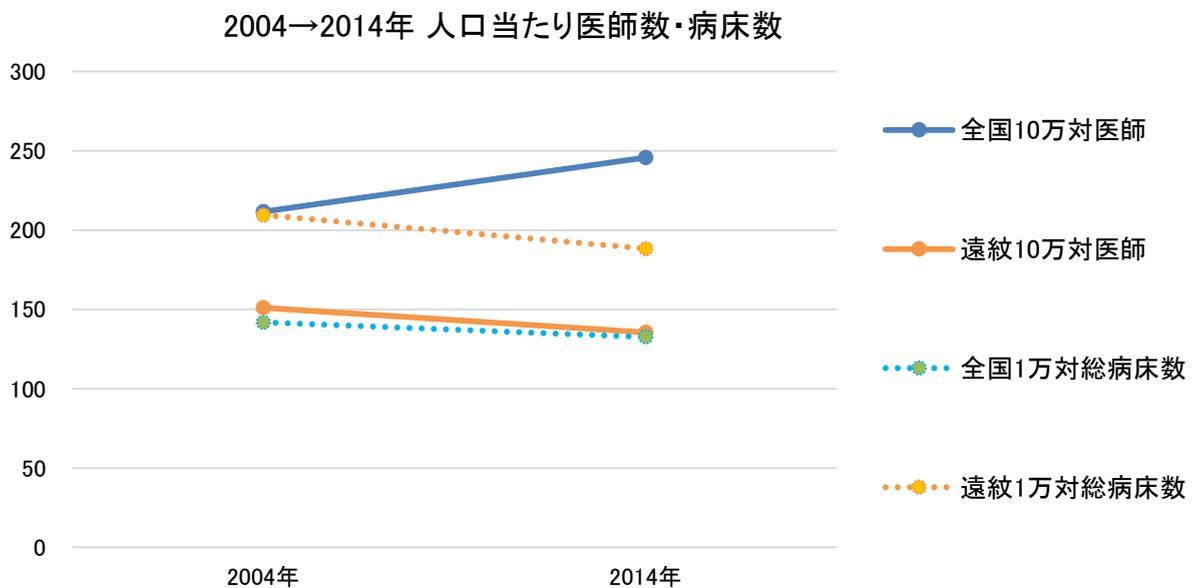
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり18.3病院(全国平均7.1)偏差値79)であったが、2014年に13(人口10万人当たり18.4病院(全国平均6.7)偏差値78)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり40診療所(全国平均76)偏差値32)であったが、2014年に28(人口10万人当たり40診療所(全国平均79)偏差値30)と、5診療所が減少した。

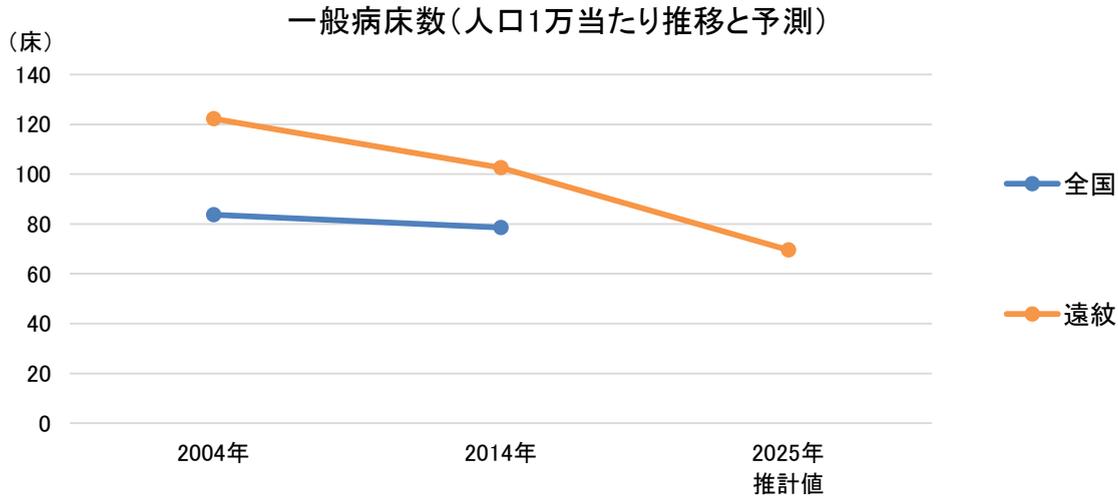
2004年の総病床数が1720床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に1334床(人口1万人当たり188(全国平均133)偏差値60)と、386床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が124人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に96人(人口10万人当たり136人(全国平均246人)偏差値39)と、28人の減少、率にして23%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



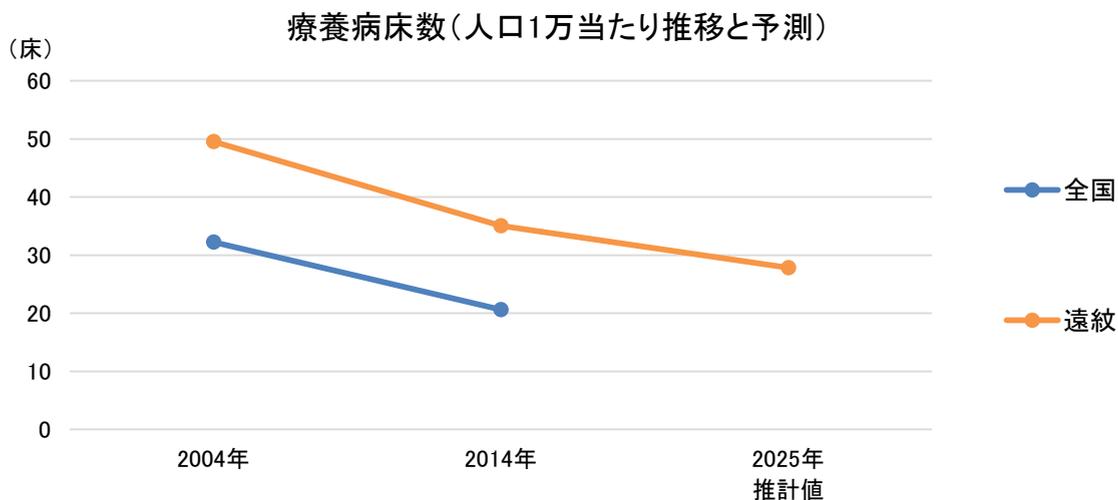
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1004床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に727床(人口1万人当たり103(全国平均79)偏差値59)と、277床の減少、率にして28%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には422床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

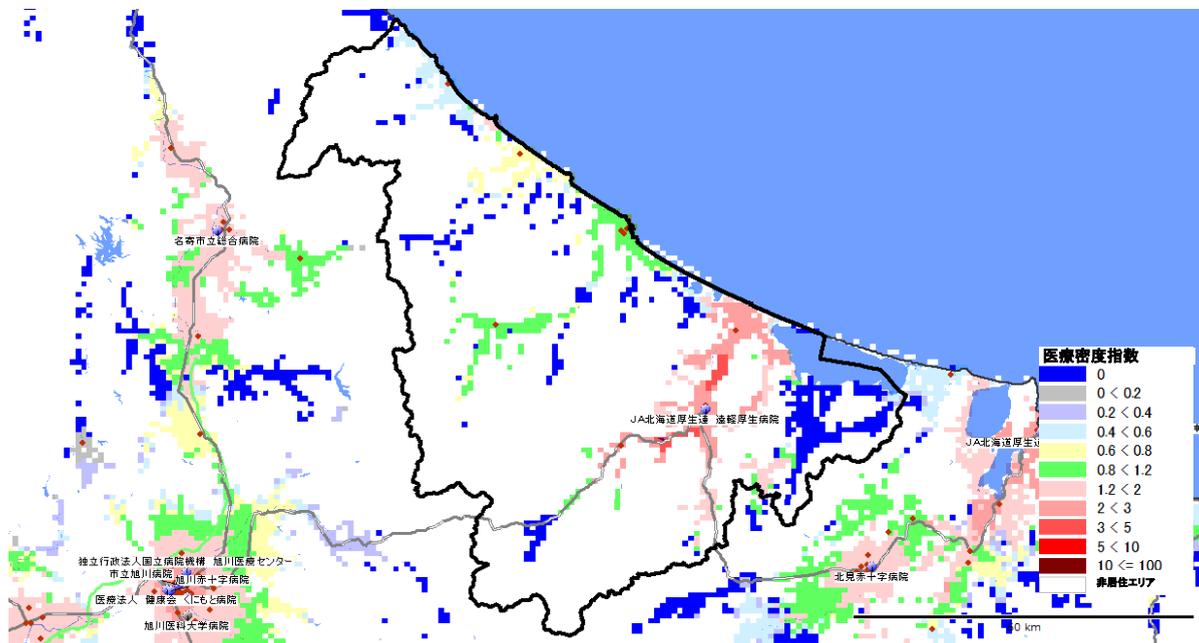
2004年の療養病床(病院+診療所)が525床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に468床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、57床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には405床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



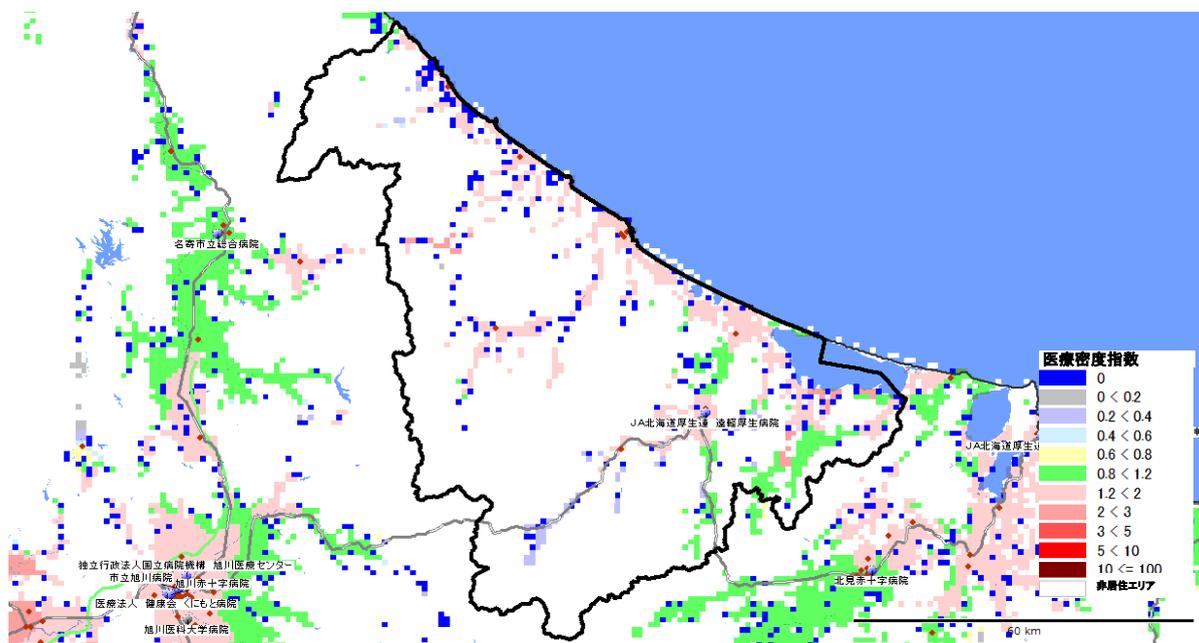
1. 北海道 (2016年版)

3. 医療密度⁵

図表1-18-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-18-2 慢性期医療密度指数マップ

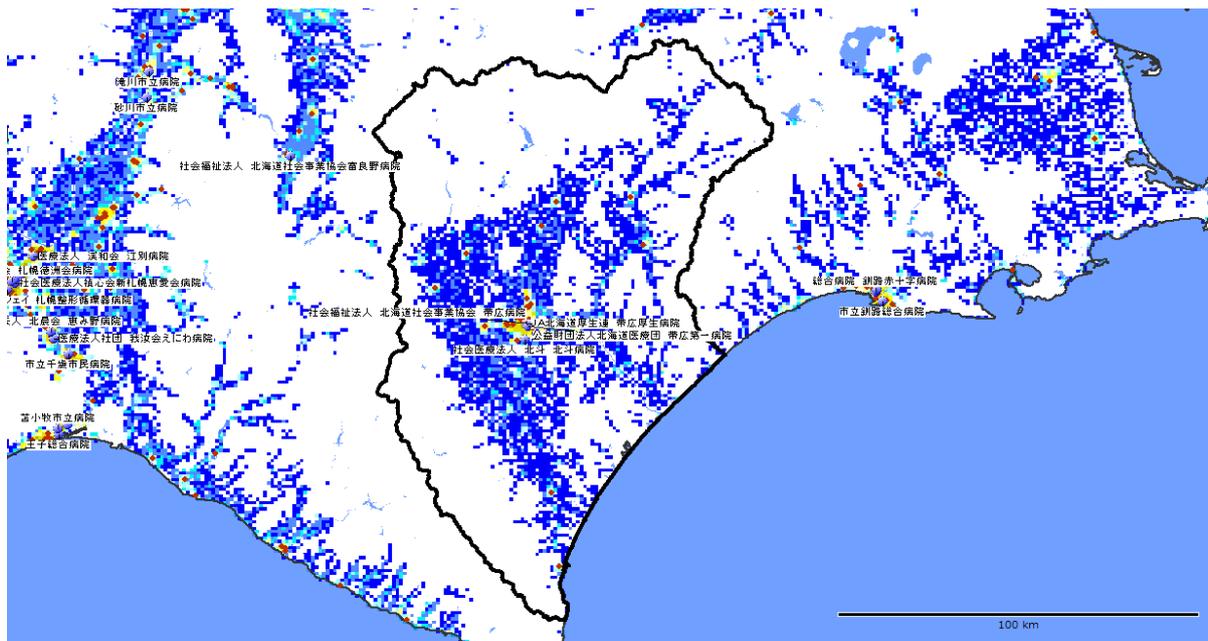


1-19. とかち 十勝医療圏

構成市区町村¹⁰

帯広市	音更町	士幌町	上士幌町
鹿追町	新得町	清水町	芽室町
中札内村	更別村	大樹町	広尾町
幕別町	池田町	豊頃町	本別町
足寄町	陸別町	浦幌町	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（十勝医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 十勝(帯広市)は、総人口約341千人(2015年推計)、面積10828km²、人口密度は31人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 十勝の総人口は2025年に317千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に272千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて65千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には68千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 十勝の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値51)、介護給付費は247千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 十勝の一人当たり急性期医療密度指数²は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.16で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が43(病院医師数46、診療所医師数38)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。十勝には、年間全身麻酔件数が2000例以上の帯広厚生病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の北海道社会事業協会帯広病院(Ⅲ群)、北斗病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 十勝の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5913人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3422床(偏差値56)、高齢者住宅等が2491床(偏差値56)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4678人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム68、サ高住55である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、547人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

十勝医療圏の総人口は、2005年354146人が、2015年に340540人と4%減少し、2025年の人口が317110人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

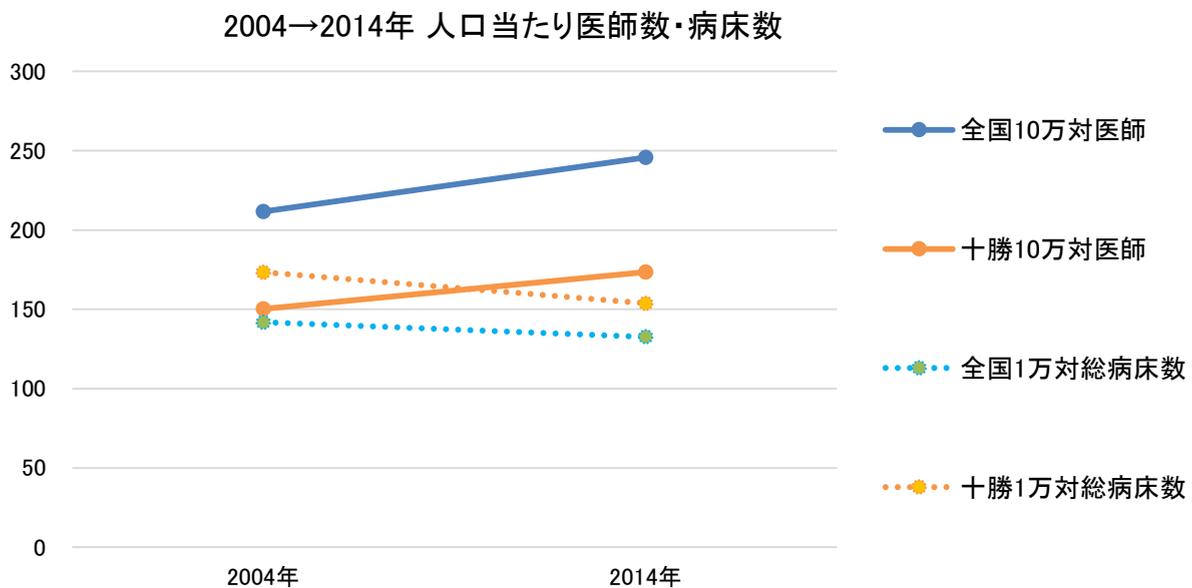
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が36(人口10万人当たり10.2病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に33(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が211(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に206(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が6137床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に5237床(人口1万人当たり154(全国平均133)偏差値54)と、900床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

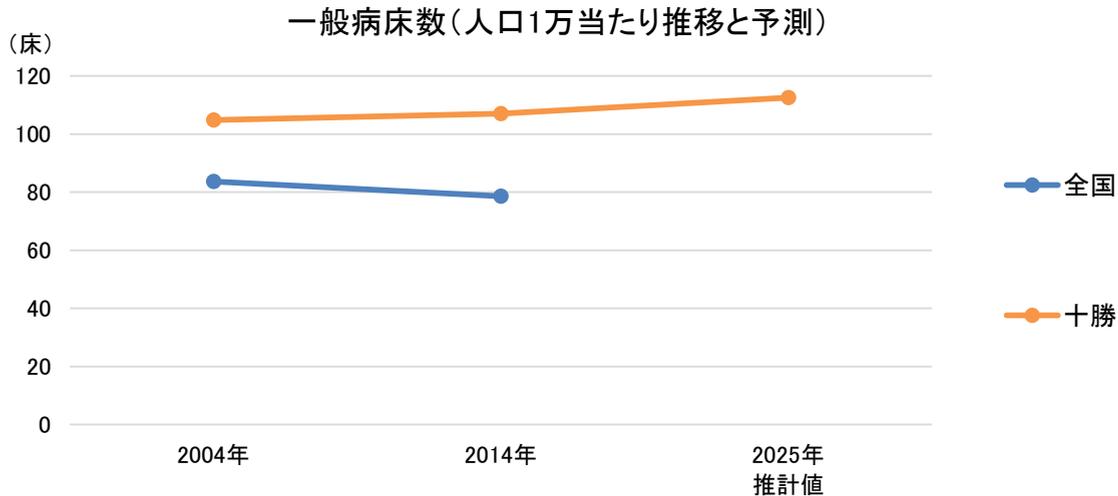
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が532人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に591人(人口10万人当たり174人(全国平均246人)偏差値43)と、59人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

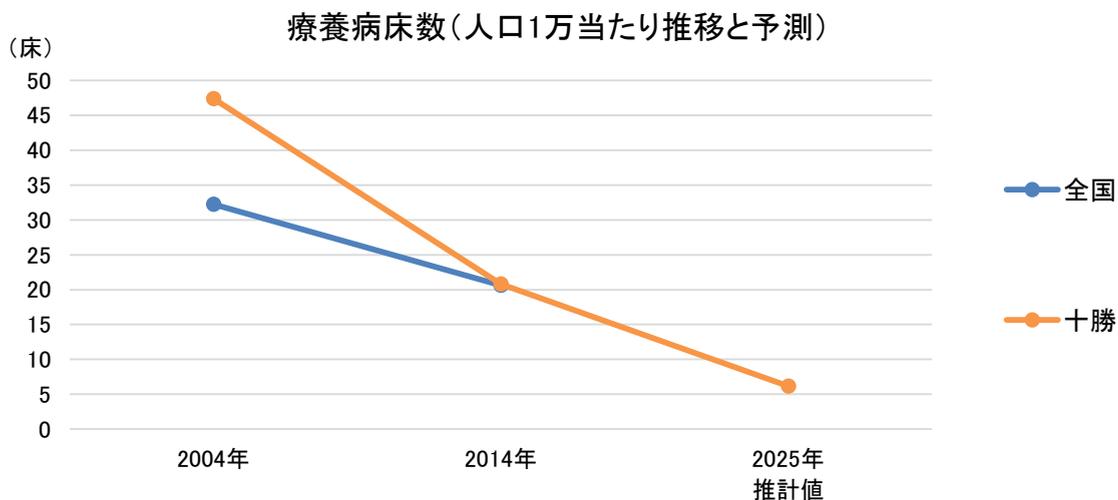
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3712床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に3644床(人口1万人当たり107(全国平均79)偏差値60)と、68床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3569床(2025年の推計人口1万人当たり113)になることが予想される。



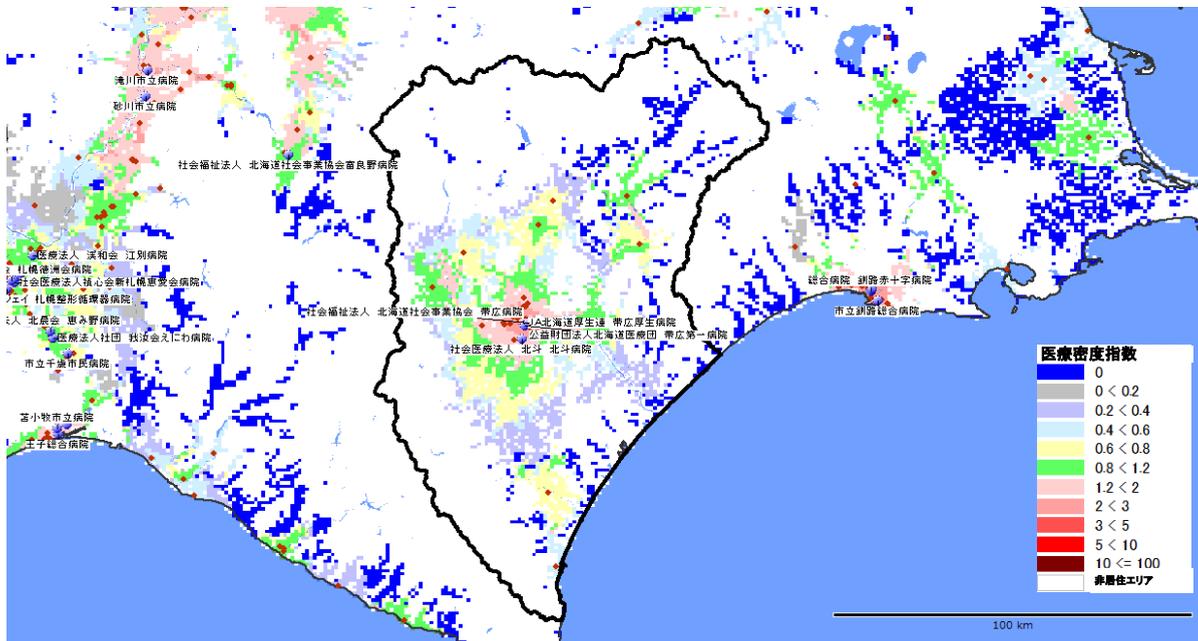
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1665床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に1062床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、603床の減少、率にして36%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には399床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。

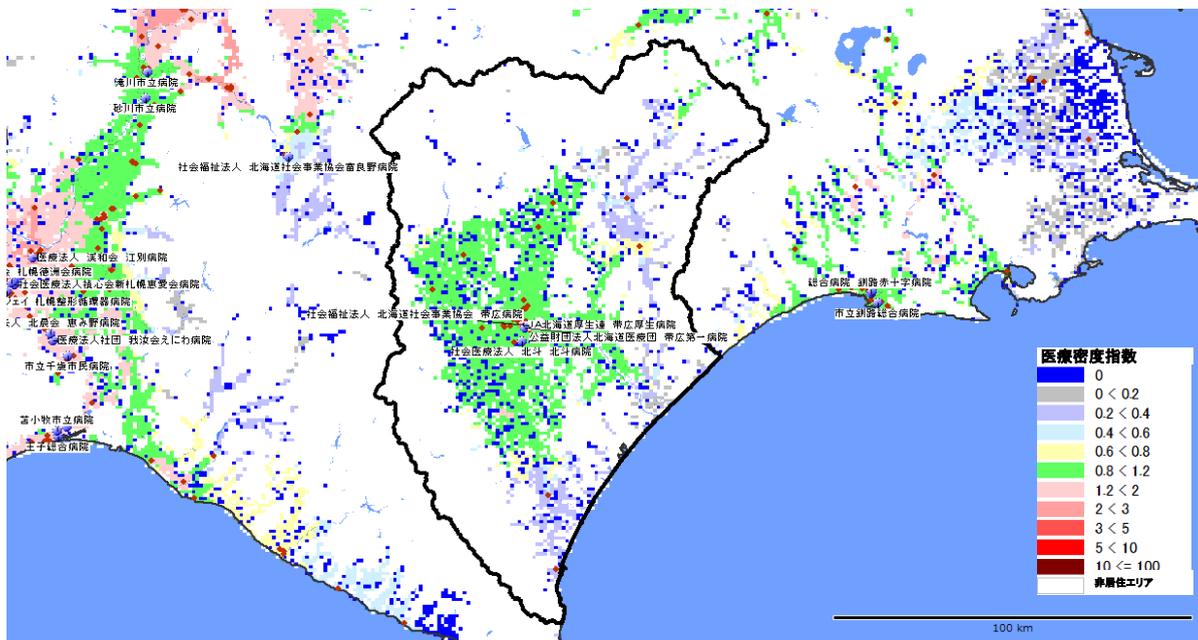


3. 医療密度⁵

図表1-19-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-19-2 慢性期医療密度指数マップ



1-20. くしろ 釧路医療圏

構成市区町村¹⁰

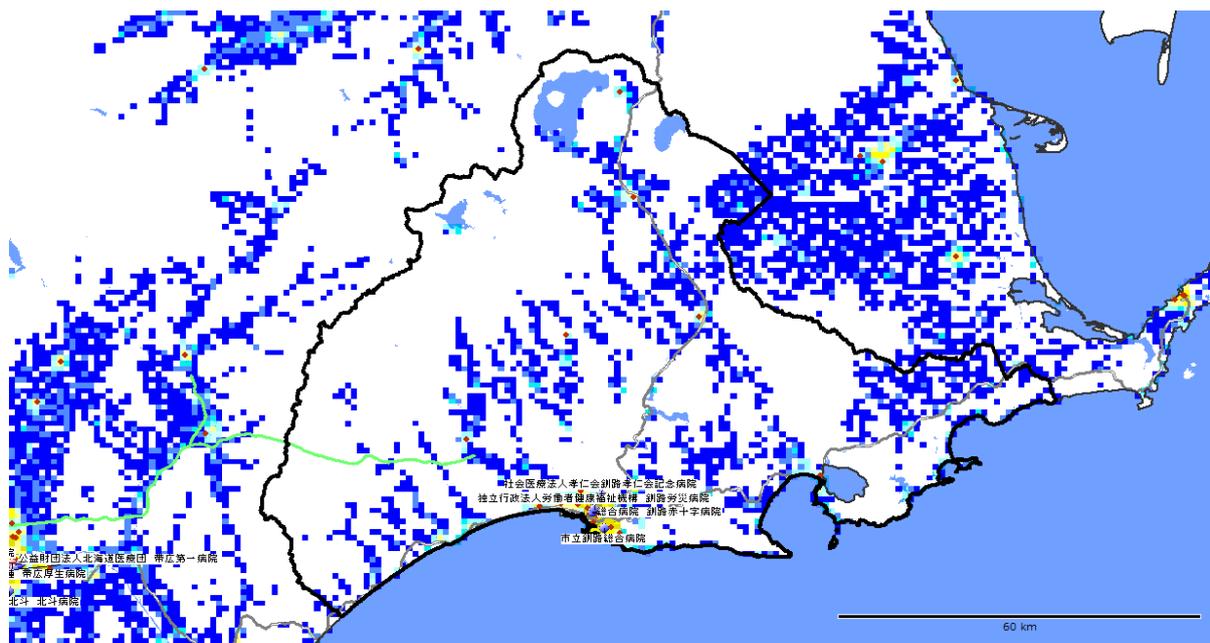
[釧路市](#)
[標茶町](#)

[釧路町](#)
[弟子屈町](#)

[厚岸町](#)
[鶴居村](#)

[浜中町](#)
[白糠町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(釧路医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 釧路(釧路市)は、総人口約233千人(2015年推計)、面積5997km²、人口密度は39人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 釧路の総人口は2025年に204千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に158千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて43千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には41千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 釧路の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値59)、介護給付費は237千円(偏差値45)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 釧路の一人当たり急性期医療密度指数²は1.89、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.21で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数47、診療所医師数36)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は66と非常に多い。釧路には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立釧路総合病院(Ⅲ群・救命)、釧路労災病院(Ⅲ群)、釧路赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の釧路孝仁会記念病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は34で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 釧路の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3324人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1780床(偏差値43)、高齢者住宅等が1544床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2850人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム53、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム66、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、565人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

1. 北海道（2016年版）

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

釧路医療圏の総人口は、2005年261891人が、2015年に232971人と11%減少し、2025年の人口が204457人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

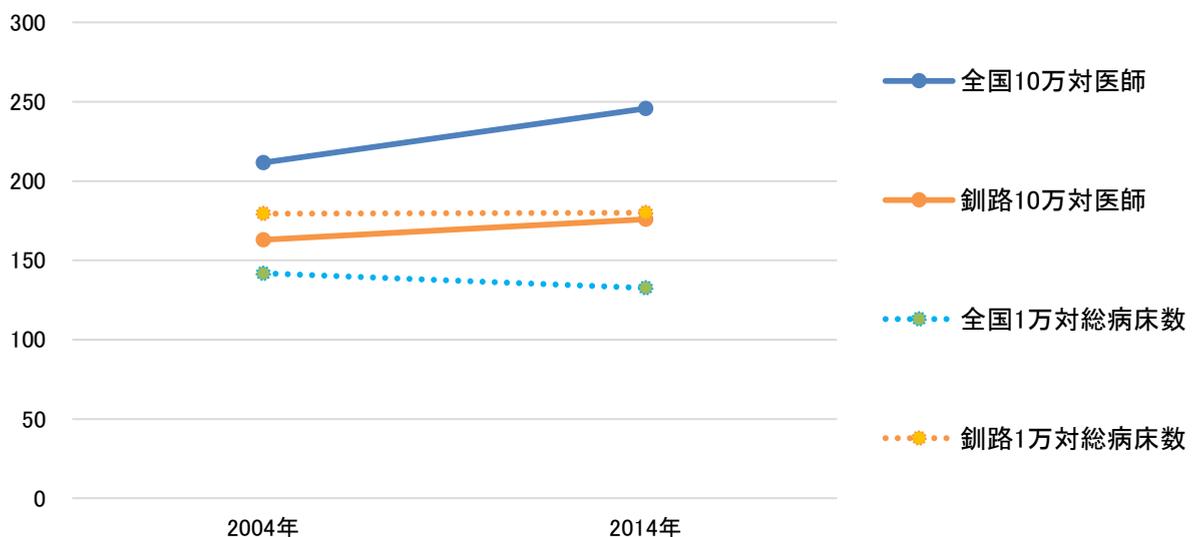
2004年の病院数が25(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に22(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が117(人口10万人当たり45診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2014年に110(人口10万人当たり47診療所(全国平均79)偏差値34)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が4700床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に4196床(人口1万人当たり180(全国平均133)偏差値58)と、504床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

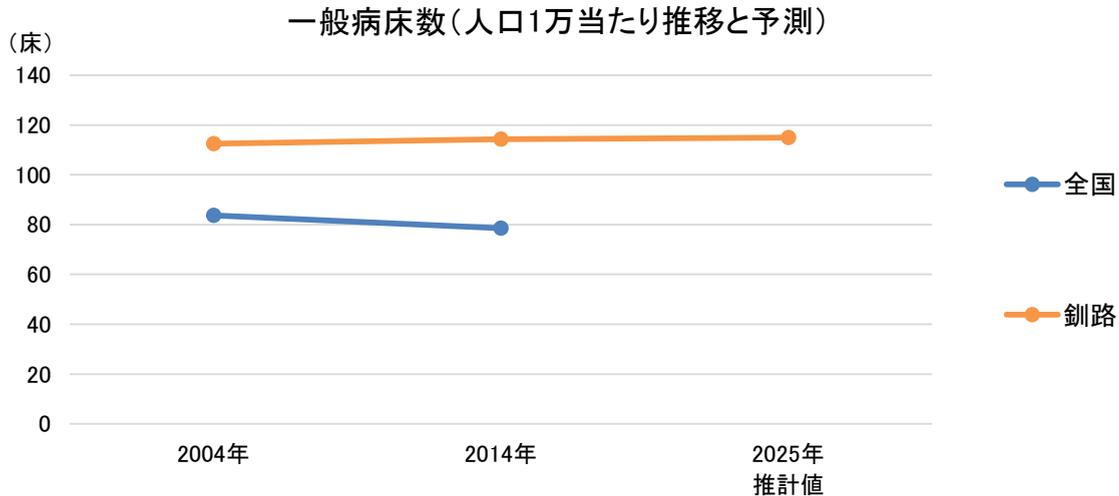
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が427人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に410人(人口10万人当たり176人(全国平均246人)偏差値43)と、17人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



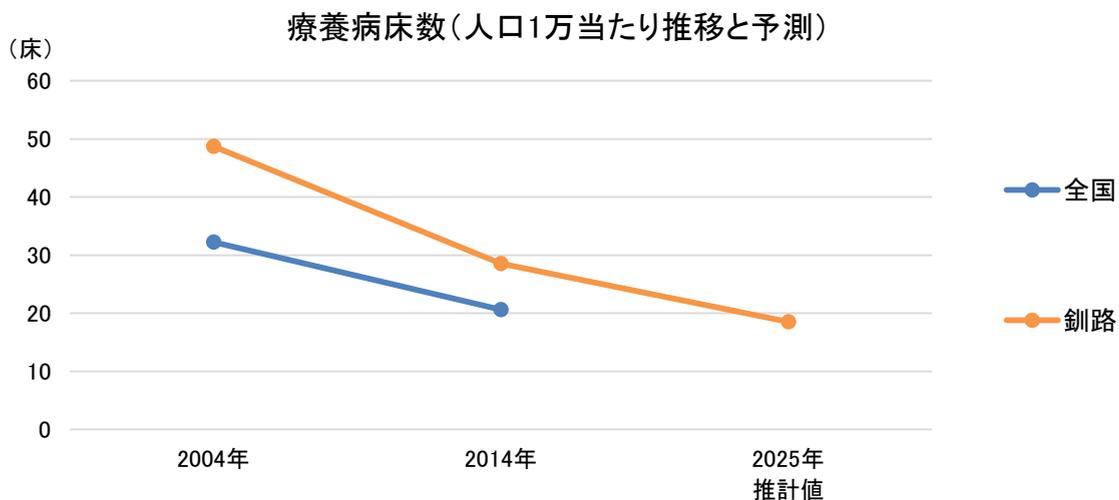
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2947床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に2662床(人口1万人当たり114(全国平均79)偏差値63)と、285床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2349床(2025年の推計人口1万人当たり115)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

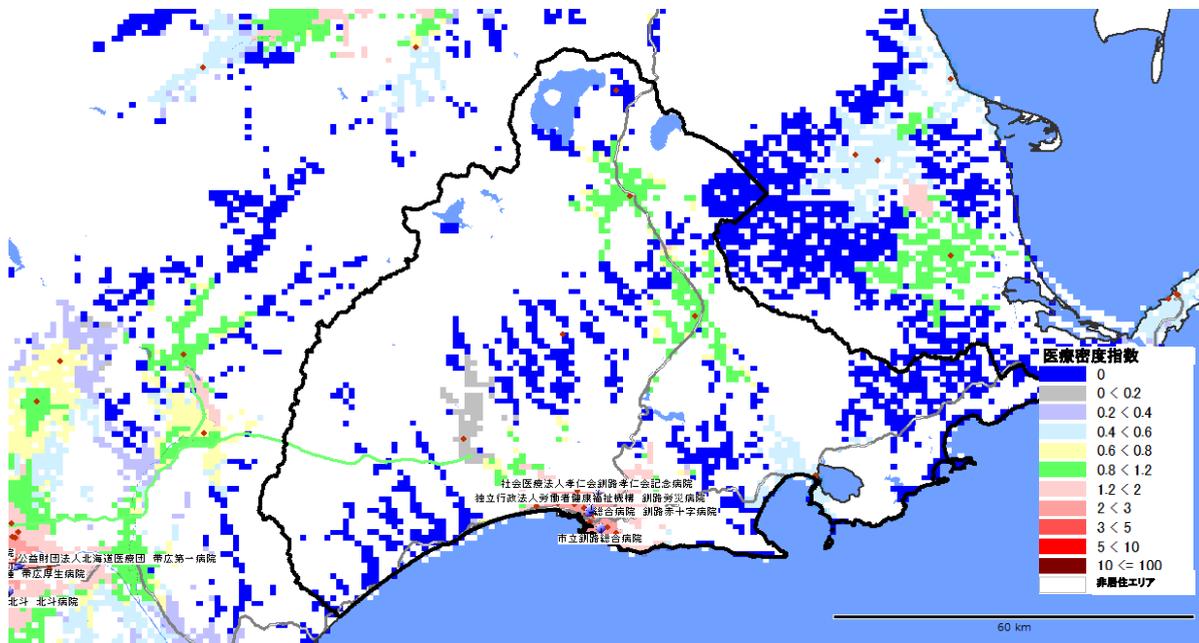
2004年の療養病床(病院+診療所)が1167床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に989床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、178床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には793床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



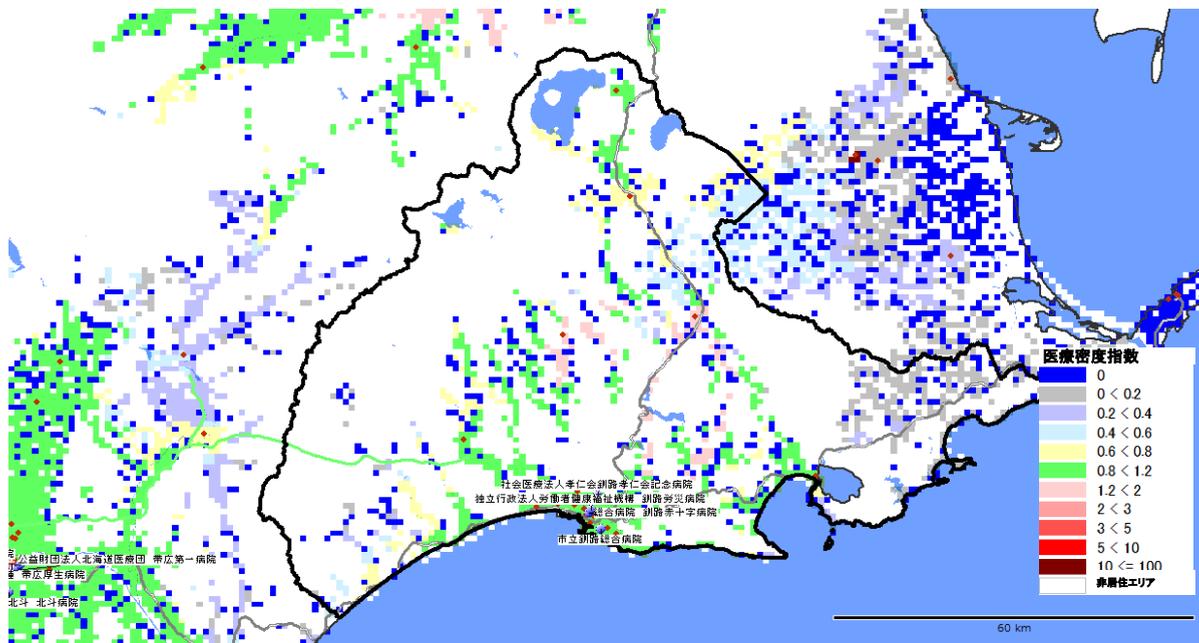
1. 北海道（2016年版）

3. 医療密度⁵

図表1-20-1 急性期医療密度指数マップ



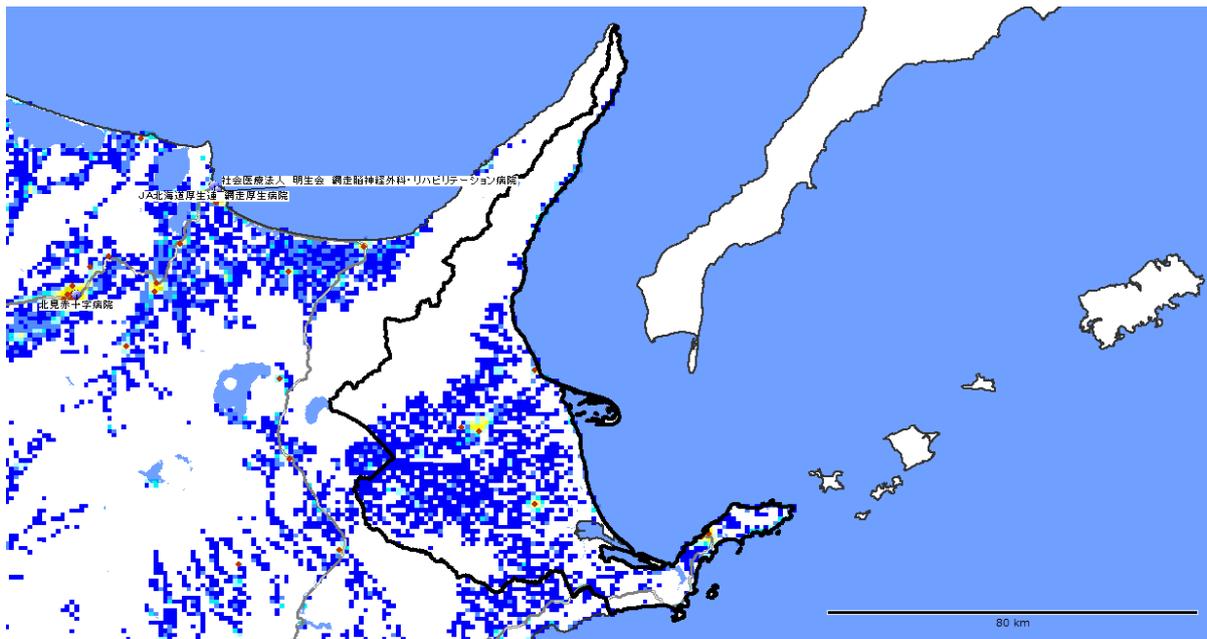
図表1-20-2 慢性期医療密度指数マップ



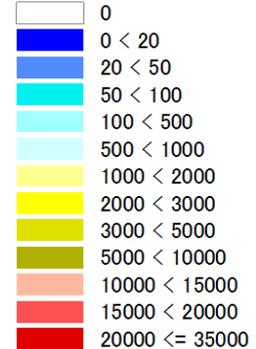
ねむろ 1-21. 根室医療圏

構成市区町村¹⁰ [根室市](#) [別海町](#) [中標津町](#) [標津町](#)
[羅臼町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（根室医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

- *人口、面積など： 根室（根室市）は、総人口約77千人（2015年推計）、面積3540km²、人口密度は22人/km²の過疎地域型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 根室の総人口は2025年に70千人へと減少し（2015年比-9%）、2040年に58千人へと減少する（2025年比-17%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて13千人へと増加し（2015年比+30%）、2040年には13千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 根室の一人当たり医療費（国保）は277千円（偏差値40）、介護給付費は201千円（偏差値36）であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 根室の一人当たり急性期医療密度指数²は0.46、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.3で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は充実している。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が33（病院医師数38、診療所医師数28）と、総医師数と診療所医師数は非常に少なく、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。根室には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値37と少なく、回復期病床数は0である。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は26で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 根室の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、769人（75歳以上1000人当たりの偏差値36）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が527床（偏差値44）、高齢者住宅等が242床（偏差値39）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、693人（75歳以上1000人当たりの偏差値43）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設32、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム58、サ高住37である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、90人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- *介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-48%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

根室医療圏の総人口は、2005年84057人が、2015年に77221人と8%減少し、2025年の人口が70267人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

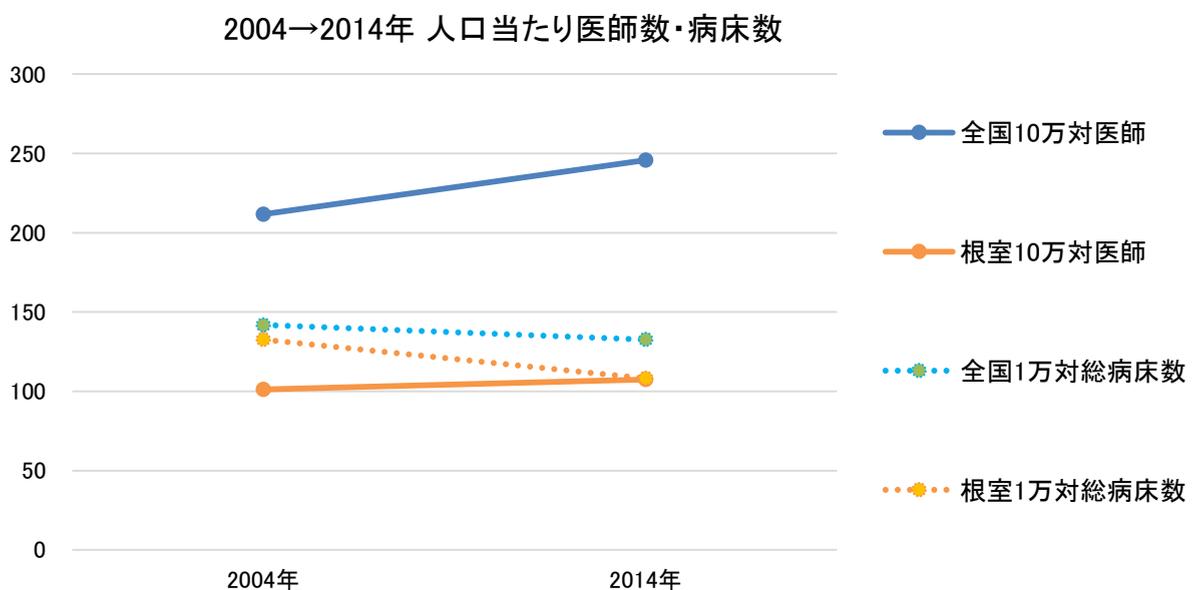
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に7(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が25(人口10万人当たり30診療所(全国平均76)偏差値27)であったが、2014年に25(人口10万人当たり32診療所(全国平均79)偏差値26)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1115床(人口1万人当たり133(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に836床(人口1万人当たり108(全国平均133)偏差値46)と、279床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

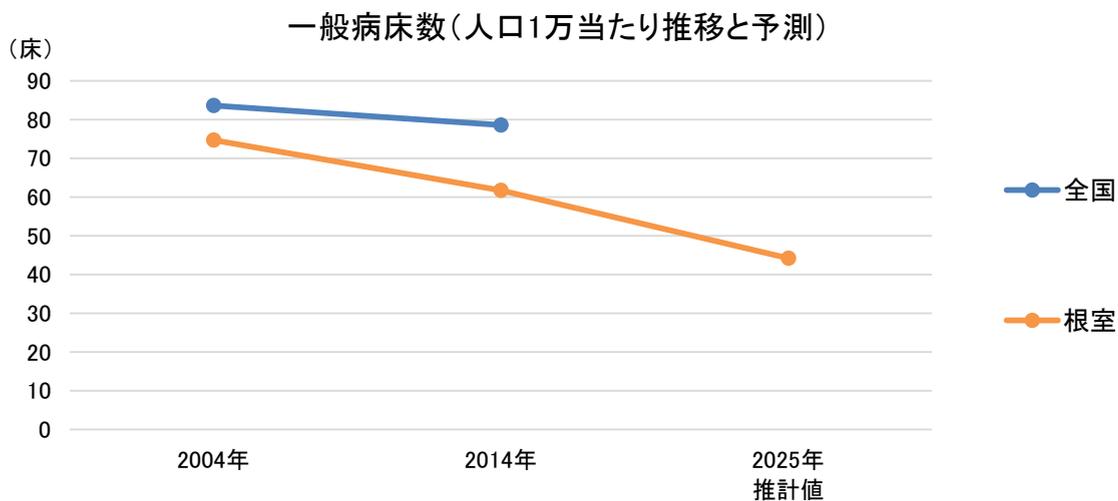
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が85人(人口10万人当たり101人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に83人(人口10万人当たり107人(全国平均246人)偏差値36)と、2人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1. 北海道（2016年版）

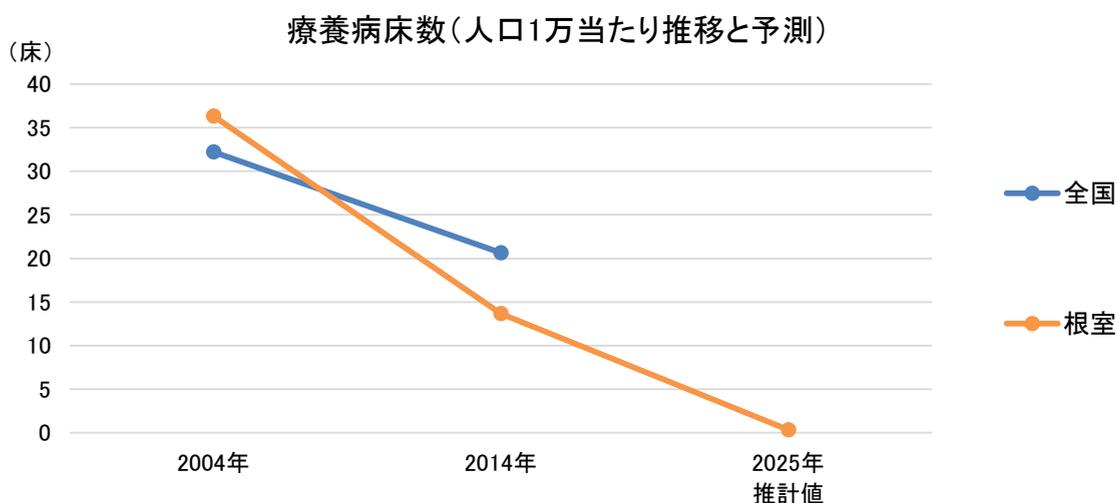
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が628床(人口1万人当たり75(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に477床(人口1万人当たり62(全国平均79)偏差値44)と、151床の減少、率にして24%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には311床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



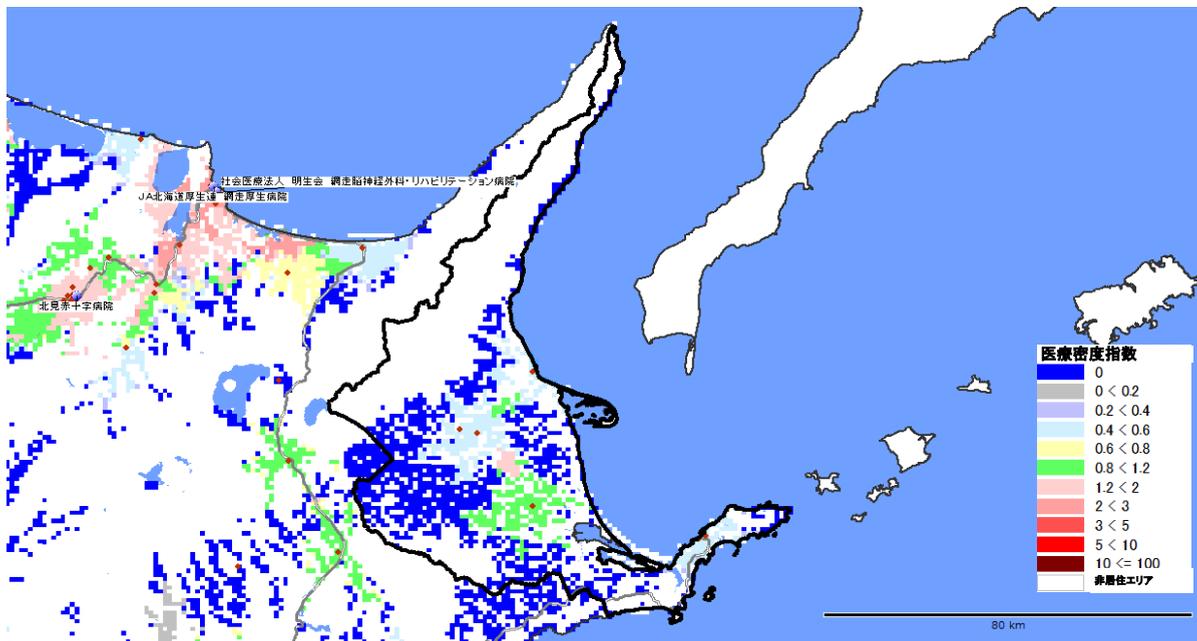
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が262床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に139床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、123床の減少、率にして47%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。

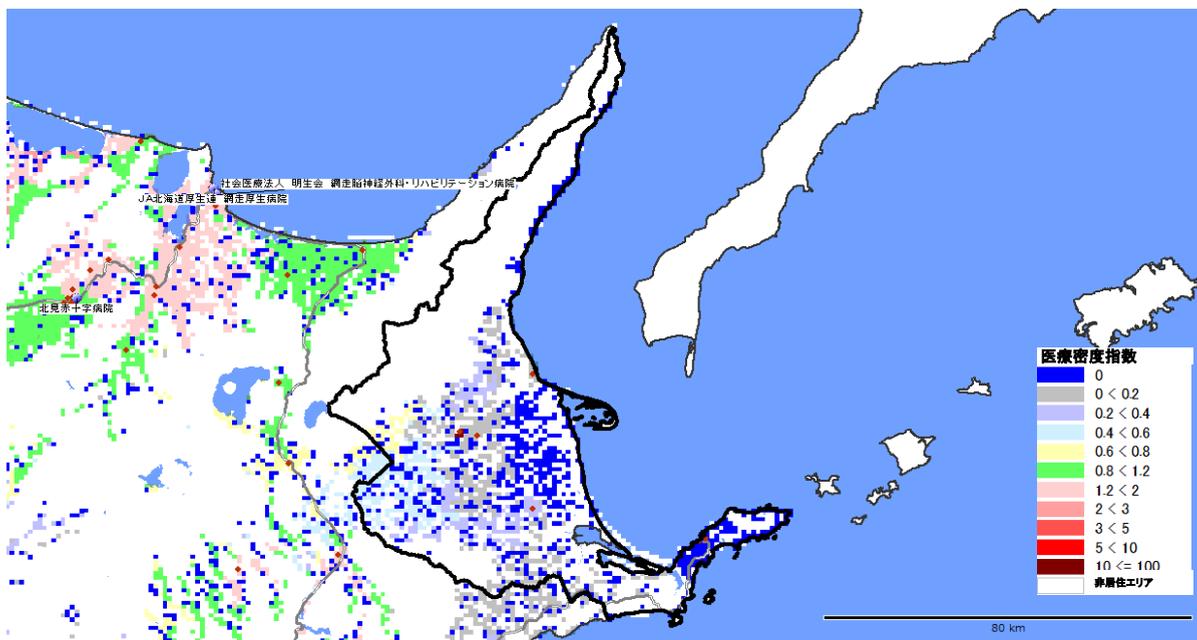


3. 医療密度⁵

図表1-21-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-21-2 慢性期医療密度指数マップ



1. 北海道（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。